龍ケ崎市健康づくり推進協議会

と き:令和5年7月26日(水)

午後3時00分~4時

ところ:龍ケ崎市保健センター

…… 次 第 ……

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議事
- (1) 龍ケ崎市第2次健康増進・食育計画の令和4年度実績報告について
- (2) 龍ケ崎市第3次健康増進・食育計画について

龍ケ崎市健康づくり推進協議会

委嘱期間:令和6年5月31日まで

区分	組織等	氏 名
	龍ケ崎市医師会	山村 邦男
医療機関の代表者	龍ケ崎市歯科医師会	飯岡 茂
	龍ケ崎市長寿会連合会	井川 静雄
各種関係団体の代表者	龍ケ崎市住民自治組織 連絡協議会	田島 俊二
	つくばの里工業団地運営協議会	浜崎 邦仁
	龍ケ崎市住民自治組織 連絡協議会 つくばの里工業団地 運営協議会 竜ケ崎保健所 養護教諭(八原小学校) 栄養教諭(龍ケ崎西小学校) 流通経済大学 龍ケ崎市薬剤師会	石田 久美子
 関係行政機関の職員 	養護教諭(八原小学校)	神吉 典子
	栄養教諭(龍ケ崎西小学校)	関口 倫子
学識経験者	流通経済大学	椎名 純代
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	龍ケ崎市薬剤師会	松野 演之
市議会議員	龍ケ崎市議会	久米原 孝子
公募の市民	公募の市民	阿部 雅江
ム 秀 の印氏	公募の市民	久村 公秀
その他市長が必要と認める者	元気アップ体操普及員	海野 廣

『龍ケ崎市第2次健康増進・食育計画実施状況報告書』

目 次 ~第4章 分野別基本方針と取り組み基本方針1 生活習慣病の発症予防と重症化予防		
(1)健康管理・・・・・・・・・・・・・P	1~	5
(2)循環器疾患・・・・・・・・・・・・・P	6~	14
(3) 糖尿病・・・・・・・・・・・・・・・P	15~	26
(4) がん・・・・・・・・・・・・・P	27~	33
基本方針2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上		
(1) こころの健康・・・・・・・・・・・P	34~	38
(2)高齢者の健康・・・・・・・・・・・・・P	39~	44
基本方針3 健康を支え守るための社会環境の整備		
(1)健康づくり支援・・・・・・・・・・・・P	45~	46
基本方針4 生活習慣及び社会環境の改善		
(1)栄養・食生活・・・・・・・・・・・・・P	47~	72
(2)身体活動・運動・・・・・・・・・・・・・P	73~	83
(3) 飲酒・・・・・・・・・・・・・P	84~	87
(4) 喫煙・・・・・・・・・・・・・・・P	88~	95
(5)休養・・・・・・・・・・・・・・・・P	96~	98
基本方針5 歯科口腔の健康維持		
(1)歯科疾患の予防・・・・・・・・・・・・P	99~1	05
(2)□腔機能の維持の促進・・・・・・・・・・・P1	06~1	07

基本方針1 生活習慣病の発症予防と重症化予防

取り組み分野	(1)健康管理						
重点目標	各種健康診査受診率・保健指導率の	向上					
成果指標				美	養		(%)
	目標値(令和3年度)(2021年度)		平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	① 乳児家庭全戸訪問	98.0%以上	97.7	96.0	91.3	89.4	94.6
	② 3~4か月児健康診査受診率	98.0%以上	98.1	97.2	96.4	96.6	96.9
	③ 1歳6か月児健康診査受診率	98.0%以上	98.1	97.9	97.9	94.4	96.7
	④ 3歳5か月児健康診査受診率	95.0%以上	96.4	93.6	95.8	91.8	93.2
	⑤ 特定健康診査受診率	48.0%	33.3	32.3	24.2	30.6	(速報値) 30.8
	⑥ 特定保健指導実施率	60.0%	50.9	61	52.4	51.9	(速報値) 38.2

具体的取り組み

①健康診査を受けやすい環境の整備

活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 にいる 1年3月末現在) (令和2年3月末現在) (令和3年3月末現在) (令和4年3月末現在) (令和5年3月末現在)
--

1 ・ 個人通知・広報・市公式ホームページ・メール配信等を利用し、健康診査の案内を実施

【健康増進課】

乳幼児健診個別通知の発送率:

乳幼児健診においては、健診日程 の2か月前を目安に対象者全員に個 別通知を送付し、健診日や健診内容

ただし、3~4 か月健診について は、受診率が目標値より低いことか ら、受診率向上に向けての取り組み が今後必要です。

について説明しました。

健康診査対象者全員に、前年の受 診歴の有無に応じて内容を変えた案 内チラシを同封し、受診券を個別送 付しました。(6月)

各乳幼児健診について、個別通知 100% を行いました。

> 健診未受診者については、電話や 訪問等で勧奨を行い、必要に応じて こども家庭課とも連携しながら受診 勧奨を実施しました。

> 健診日に来所できない場合は、別 日を設け個別支援を行いました。

健康診査対象者全員に、前年の受 診歴の有無に応じて内容を変えた案 内チラシを同封し、受診券を5月に 個別送付しました。

各乳幼児健診について、個別通知 を行いました。

健診未受診者については、電話や 訪問等で勧奨を行い、必要に応じて こども家庭課や保育園・幼稚園とも 連携しながら受診勧奨を実施しまし

令和2年度より集団健康診査に 「心電図・眼底検査・貧血検査」を 追加しました。集団健診と医療機関 検診の負担金を統一しました。

国保 14.135 通 後期高齢 9.474 通 ホームページに健康診査のご案内を ↓を5 月末に個別送付しました。 例年6~8月の予約制の健診の予約 掲載しました。集団健診の定員が

各乳幼児健診について、個別通知 を行いました。

健診未受診者については、電話や 訪問等で勧奨を行い、必要に応じて こども家庭課等の関係機関とも連携 しながら受診勧奨を実施しました。 平日の健診日に来所できない方を 対象に土日健診を実施しました。

休日健診受診者数:13人

特定健康診査と高齢者健康診査対 保健センター年間予定表・市公式 | 象者の案内チラシを同封し、受診券 | 象者の案内チラシを同封し、受診券

各乳幼児健診について、個別通知 を行いました。

健診未受診者については、電話や 訪問等で勧奨を行い、必要に応じて 一こども家庭課等の関係機関とも連携 しながら受診勧奨を実施しました。

平日の健診日に来所できない方等 を対象に土日健診を実施しました。 休日健診受診者数:19人

特定健康診査と高齢者健康診査対 を5月末に個別送付しました。

国保 13.717 诵 後期高齢 10.030 诵 | 国保 13.280 诵 後期高齢 10.615 诵

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
<内訳>国保 14,344 通 後期高齢 8,889 通市ホームページ・市広報紙への掲載をしまいた。 佐貫駅・市庁舎・中根台歩道橋に横断幕を設置しました。(6月・9月)各コミュニティセンターの健診前月に健診日程の回覧板を回しました。	者数が少ないため、過去の特定とは、過去の特定との有多とでは、受診を抽出がきを発送した。発送と数:3,786通 10月には、過去の特定健診ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	減よる一、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	9月に過去の特定健診の受診歴・ 健診結果・問診票の内が異なるグループを7グループに分類し、特性の分類通知を発送した。 1月に受診をでは性が回じ、受診をを受診をを発送数である。 発送数である。 発送数である。 発送数である。 発送数である。 発送数である。 発送数である。 発送数である。 発送数である。 第10,934 通	8月に過去の特定健診の受診歴・健診結果・行い、特性が異なるグループに分類し、特性が異し、特性に分類を発送した。9月に受診の可能であるがある。ままでは、9月によりのでは、受診を発送数では、9月に4、296通

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
2 · 乳幼児健康診査の実施 ・特定保健指導の実施	・40 歳から 74 歳までの国民健康(保険被保険者に対する特定健康診	査の実施・高齢者健康診査などの	実施 【健康増進課】
乳幼児健康診査を実施し、乳幼児の成長発達の確認や病気の早期発見、保護者の子育で支援しました。	乳幼児健康診査を実施し、乳幼児の成長発達や病気の早期発見に努めました。子育でに関する悩みの有無も確認し、保護者に寄り添査受診者数 376人(受診率 97.2%) 1歳6か月児健康診査受診者数 428人(受診率 97.9%) 3歳5か月児健康診査受診者数 440人(受診率 93.6%)	乳幼児健康診査を実施発見に対めました。また、保護では、実施では関するとの有ででででででででででである。 3~4か月児健康診査受診者数 235人(受診を多りを1%)6~7か月児健康診査が、169人(受診を98.3%)※乳児集団健診利用者 404人(受診を98.3%)※乳児集団健康診査受診者数 422人(受診を97.9%)3歳5か月児健康診査数 504人(受診を95.8%)	乳のあまり、ぽぽを 乳成・砂に大きない。 乳のあまでは、 乳のあまでは、 乳ののででは、 乳のでは、 乳のでは、 、 乳のでは、 、 、 乳のでは、 、 乳のでは、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	乳幼児健康 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	1
18 歳~39 歳の健康診査について は、乳幼児健診時、保護者へ健診受	早期から生活習慣の見直しを行い、 生活習慣病重症化を予防するため、	早期から生活習慣の見直しを行い、 生活習慣病の重症化を予防するた	特定健康診査・高齢者健康診査・ 生活習慣病健康診査を集団(保健セ	特定健康診査・高齢者健康診査・ 生活習慣病健康診査を集団(保健セ
診券を作成し、健診の案内を実施し	18 歳~39 歳の健康診査を行いました。受診者数: 251 人	め、18歳~39歳の健康診査を集団	ンター・ニューライフアリーナ龍ケ	ンター・ニューライフアリーナ龍ケ 崎・総合福祉センター)及び医療機
ました。 特定健康診査・高齢者健康診査を		及び医療機関で行いました。昨年度 受診者には、申し込み不要で受診券	崎・総合福祉センター)及び医療機 関(茨城県医師会、龍ケ崎市医師会	関(茨城県医師会、龍ケ崎市医師会
集団(保健センター・たつのこア リーナ・各コミュニティセンター)	特定健康診査・高齢者健康診査を 集団(保健センター・たつのこア	を送付したり、医療機関等にポス ターを掲示したり、受診勧奨をしま	加入医療機関)で実施しました。新たにサプラスクエア サプラにおい	加入医療機関)で実施しました。 サプラスクエア サプラが、受診券
及び医療機関(茨城県医師会、竜ケ	リーナ・各コミュニティセンター) 及び医療機関(茨城県医師会、	した。	て健診を実施しました。	送付後、すぐに健診日程が定員いつ
崎市・牛久市医師会加入医療機関) で実施しました。	 電ケ崎市・牛久市医師会加入医療機	特定健康診査・高齢者健康診査を	健診と併せて、早期から生活習慣病の重症化を予防するため、40歳~	ぱいになったため、令和5年度は、 サプラスクエア サプラを2回実施
医療機関と連携を取り、保健指導	関)で実施しました。また、特定健康診査では、かかりつけ医からの情	集団(保健センター・たつのこア リーナ・総合福祉センター)及び医	74 歳だけでなく、18 歳から対象と	することとした。
の要望があった場合は、医師からの 指示カロリーをもとに保健師・管理	報提供制度を実施しました。	療機関(茨城県医師会、龍ケ崎市医	し、特定保健指導を実施しました。	定員をコロナ流行前と同じとした が、大きな混乱なく、健診を実施す
栄養士で保健指導を行いました。	特定健康診査受診者数: 3,366 人	師会加入医療機関)で実施していま す。	特定健康診査受診者数:3,009 人	ることができた。
相談件数延べ:9件	高齢者健康診査受診者数: 1,442 人	^ 。 今年度は、新型コロナウイルス感	高齢者健康診査受診者数:1,176 人	
	かかりつけ医からの情報提供:36人		かかりつけ医からの情報提供:50人	
		健康診査・高齢者健康診査の受診券 は1ヶ月遅らせ6月末に発送しまし	集団健診当日に、腹囲や BMI で保健指導対象となる可能性がある者に	
		た。また、7月より集団健診を実施しています。	対して、保健指導の初回分割面接を	
		しています。 特定健康診査受診者数:2,474 人	実施。生活改善のアドバイスとともに、保健指導の目的について説明を	
		高齢者健康診査受診者数:1,077 人	行いました。また、初回面接日の予 約を健診日に行いました。平日や日	
		かかりつけ医からの情報提供:74人	中来所が難し対象者には、土日や夕	
		N N Y DIY EL N DOVINTE MEIN . Y T Y	方に保健指導を実施したり、電話に て保健指導を行いました。	
		特定保健指導に関しては、参加者	医療機関で健診を受けた方に関し	
		に合わせ、土日に保健指導を実施し	ては、特定保健指導のご案内通知を 送り勧奨しました。	
		ました。また、健診時初回面接の予約が難しかった方には、個別で電話		
		をし、参加者の予定に合わせて実施 しました。		
		医療機関での健診を受けた方に関		
		しては、特定保健指導のご案内通知 を送り勧奨しました。		
		土日の特定保健指導者数:16人		
		特定保健指導初回(個別): 222 人		

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

・健康診査未受診者への受診勧奨

【健康増進課】

特定健診未受診者へ健診時間診票 の記載内容や過去5年間の受診歴の 有無、医療機関受診歴(レセプト) の有無でグループ分けを行い、対象 者に合った内容の勧奨涌知を送付し ました。(10月)

勧奨通知数:11.114 通 (内訳)

① 過去 5 年間で 1 回以上特定健診 受診歴のある人

A4 サイズ圧着通知: 3.088 通 ② 過去 5 年間で 1 回も特定健受診 歴がない人

圧着はがき: 8.026 通

うち 医療機関受診歴なし 3.269 涌

> 医療機関受診歴あり 4.757 涌

12 月時点で特定健診未受診者のう ち、過去の受診歴などから、受診確 率が高い群に年度最後の健診への勧 奨通知を送付しました。(1月) 圧着はがき:4.636 通

各コミュニティセンターで実施さ れる健康診査の案内について、回覧 版を利用して周知することで受診勧 奨を行いました。

例年6~8月の予約制の健診の日程の 予約者数が少ない状況のため、過去 の特定健診受診歴、レセプトの有無 から、対象者を抽出し、受診券発送 直後に受診勧奨はがきを発送しまし た。発送数:3,786 通

10 月には、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 6 グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。発 送数:6.330 通

9月には、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 分析等を行い、特性が異なるグルー 4 グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。ま わせた受診勧奨通知を発送しまし らしたため、医療機関健診も併せて 発送しました。 記載し、受診勧奨を行いました。集 発送数 9月:10,934通 団健診の定員制限、医療機関のキャ パシティの問題からより受診へとつ ながりやすい過去3年間1回でも受 しました。発送数:3.679 通

診者に対し、受診勧奨通知を発送し ました。

新型コロナウイルス感染拡大防止 のため、3密を避ける観点から、集 団健診受付時間や実施場所の変更点 について必要に応じてハガキなどで 通知しました。

6月:松葉地区国保加入者 1.096 人

後期高齢者 753 人

シルバーリハビリ教室、まいん健 幸サポートセンターへ出向き、健診 の受診勧奨を行いました。

9月に過去の特定健診の受診歴・ 健診結果・問診票の内容等のデータ | プを 7 グループに分類し、特性にあ た、新型コロナウイルス感染症感染 一た。また、1月に受診の可能性が高 拡大防止のため集団健診の定員を減い対象者を抽出し、受診勧奨通知を

1月:3,066通

4月上旬に龍ケ崎西地区、10月に 診したことのあるグループへ通知を 川原代地区の特定健診受診対象者の うち、令和元年度受診、令和2年度 1月には、9月発送者のうち未受 未受診者と 40 歳代と 50 歳代で令和 2 年度未受診者へ訪問し、健診の受 診勧奨を行いました。

訪問者数:222人

8月に過去の特定健診の受診歴・ 一健診結果・問診票の内容等のデータ 分析等を行い、特性が異なるグルー 一プをフグループに分類し、特性にあ わせた受診勧奨通知を発送しまし た。また、9月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を 発送しました。

発送数 9月:9.704 通 10月:4,296通

4月上旬に龍ケ崎地区、特定健診 受診対象者のうち、令和2年度受 診、令和3年度未受診者と無料対象 である 41 歳と 51 歳へ訪問し、健診 の受診勧奨を行いました。

取り組み分野	(2)循環器疾患						
重点目標	・メタボリックシンドローム予備群・該当者を減らす ・循環器疾患の有病率を減らす						
成果指標		5	(%)				
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)	
	① しょっぱいものを食べ過ぎると血圧が高くなりやすいことについて知っている児童生徒の割合 小学6年生80.0% 中学3年生90.0%	_	-	-	小学 6 年生: 74.9 中学 3 年生: 91.1	-	
	② カップめんのスープを半分以上飲む児童生徒の割合 小学 6 年生 60.0% 中学 3 年生 55.0%	_	-	-	小学 6 年生: 60.3 中学 3 年生: 54.1	_	
	③ 特定健康診査受診率 48.0%	33.3	32.3	24.2	30.6	(速報値) 30.8	
	④ 特定保健指導実施率 60.0%	50.9	61	52.4	51.9	(速報値) 38.2	
	⑤ メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合 予備軍 8.5% 該当者 12.0%	予備群 8.5 該当者 16.8	予備群 8.8 該当者 16.5	予備群 10.4 該当者 17.9		予備群 9.8 該当者 18.3	
	⑥ I 度高血圧(140/90mg)以上の人の割合(40-74 歳) 18.0%	22.9	23.5	28.4	27.6	26.3	

①健康診査を受けやすい環境の整備【高血圧予防のための取り組み】

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

1・幼児健康診査時に保護者の血圧測定及び減塩指導

【健康増准課】

プレ・ママ教室参加者で、血圧が I 度高血圧以上の方に個別指導を実 施しました。 指導者数:1人

新生児訪問の際に、母親の血圧測 定を実施し、高値の方への受診勧奨 や保健指導を実施しました。

乳幼児健診に来所した保護者全員 に血圧測定と塩分チェックシートを 実施し、減塩のポイントを指導し、 生活習慣の改善ができるよう支援し ました。血圧測定の結果、治療が必 要な保護者については、受診勧奨を 実施しました。

健診受診者保護者の平均塩分摂取 量 : 11.2g (全国平均 9.9g) <全国平均参考文献:平成29年国民 合には、受診勧奨をしました。 健康・栄養調査結果の概要より>

プレ・ママ教室に参加された方 で、血圧が高い方については、減塩 のポイントや体重管理を含めた個別 栄養指導及び保健指導をしました。 指導者数:8人

新生児訪問時には、母親の血圧測 定を行い、血圧が高い方については 受診勧奨すると共に血圧を下げるた めのポイントの指導を実施しまし

乳幼児健診に来所された保護者全 員に血圧測定と塩分チェックシート を実施し、大人とこどもの適正な塩 分摂取量を伝えることで、家族で減 塩に取り組めるよう支援しました、 血圧が高く治療が必要と判断した場 塩分チェックシート実施者数:

842 人

健診受診者保護者の平均塩分摂取 量 : 11.0g (全国平均 9.9g)

プレ・ママ教室に参加された方 で、血圧が高い方については、減塩 のポイントや体重管理を含めた個別 栄養指導及び保健指導をしました。 指導者数:1人

新生児訪問時には、母親の血圧測 定を行い、血圧が高い方については 受診勧奨すると共に血圧を下げるた めのポイントの指導を実施しまし

乳幼児健診に来所された保護者全 員に血圧測定と塩分チェックシート を実施し、大人とこどもの適正な塩 分摂取量を伝えることで、家族で減 塩に取り組めるよう支援しました、 血圧が高く治療が必要と判断した場 合には、受診勧奨をしました。 塩分チェックシート実施者数:

健診受診者保護者の平均塩分摂取 量 : 10.9g (全国平均 9.9g)

プレ・ママ教室では妊娠中の様々 なリスクを回避するために塩分の摂 りすぎを防ぐ工夫について指導を実 施しました。

参加者の中で、血圧が高い方につ いては、減塩のポイントや体重管理 を含めた個別栄養指導及び保健指導 を実施しました。

指導者数: 3人

新生児訪問時には、母親の血圧測 定を行い、血圧が高い方については 受診勧奨するとともに血圧を下げる ためのポイントの指導を実施しまし

訪問後、自宅測定勧奨をした方に ついては、家庭での血圧の経過や受 診状況を乳幼児健診時に確認し、血 1.270 人 圧が高い方に関しては再度受診勧奨 や保健指導を実施しました。

> 乳幼児健診に来所された保護者全 員に血圧測定と塩分チェックシート を実施し、適正な塩分摂取量を伝え ることで、家族で減塩に取り組める よう支援しました。治療が必要な場 合には、資料と血圧記録用紙を配布 し、受診勧奨を行いました。

> > 1.056 人

健診受診者保護者の平均塩分摂取 量:10.4g(全国平均10.1g)

塩分チェックシート実施者数:

プレ・ママ教室では妊娠中の様々 なリスクを回避するために塩分の摂 りすぎを防ぐ工夫について指導を実 施しました。

参加者の中で、血圧が高い方につ いては、減塩のポイントや体重管理 を含めた個別栄養指導及び保健指導 を実施しました。

指導者数:4人

新生児訪問時には、母親の血圧測 定を行い、血圧が高い方については 受診勧奨するとともに血圧を下げる ためのポイントの指導を実施しまし

訪問後、自宅測定勧奨をした方に ついては、家庭での血圧の経過や受 診状況を乳幼児健診時に確認し、血 圧が高い方に関しては再度受診勧奨 や保健指導を実施しました。

乳幼児健診に来所された保護者全 員に血圧測定と塩分チェックシート を実施し、適正な塩分摂取量を伝え ることで、家族で減塩に取り組める よう支援しました。治療が必要な場 合には、資料と血圧記録用紙を配布 し、受診勧奨を行いました。

塩分チェックシート実施者数:

1.040 人

健診受診者保護者の平均塩分摂取 量:10.5g(全国平均10.1g)

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

2. 市広報紙、市ホームページ、メール配信等を利用し、健康診査の案内を実施

【健康増進課】

市広報誌・市公式ホームページ・ 回覧板を活用し案内を行いました。

18 歳~39 歳の健康診査について は、乳幼児健診時、保護者へ健診受 診券を作成し、健診の案内を実施し ました。

特定健康診査・高齢者健康診査の 周知を下記のとおり実施しました。

対象者全員に、前年の受診歴の有 無に応じて内容を変えた案内チラシ を同封し、受診券を個別送付。(6)

市公式ホームページ・市広報紙へ の掲載。

佐貫駅・市庁舎・中根台歩道橋に 横断幕を設置。(6月・9月)

昨年度、健診未受診者等に訪問。 (5月)

特定健診未受診者へ健診時問診票 の記載内容や過去5年間の受診歴の 有無、医療機関受診歴(レセプト) の有無でグループ分けを行い、対象 者に合った内容の勧奨通知を送付し ました。(10月)

勧奨通知数:11,114通 (内訳)

① 過去5年間で1回以上特定健 診受診歴のある人

A4 サイズ圧着涌知: 3.088 涌

② 過去5年間で1回も特定健受 診歴がない人

圧着はがき:8.026 诵

うち 医療機関受診歴なし 3.269 诵

医療機関受診歴あり

4,757 通

12 月時点で特定健診未受診者のう ち、過去の受診歴などから、受診確

市広報紙・市公式ホームページ・ 回覧板等様々な周知方法で案内を行 いました。

18 歳~39 歳の健康診査について は、乳幼児健診時、保護者へ健診受 診券を作成し、一人ひとり健診につ いて説明し健診の案内をしました。

の予約者数が少ないため、過去の特 定健診受診歴、レセプトの有無か ら、対象者を抽出し、受診券発送直 送数:3,679 通 後に受診勧奨はがきを発送しまし た。発送数:3.786 涌

10 月には、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 6 グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。発 送数:6.330 通

市公式ホームページにがん検診等 案内を掲載しました。

9月には、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 4 グループに分類し、特性にあわせ 特定: 13.717 通 た受診勧奨通知を発送しました。ま た、新型コロナウイルス感染症感染 例年6~8月の予約制の健診の日程 拡大防止のため集団健診の定員を減 らしたため、医療機関健診も併せて |健診結果・問診票の内容等のデータ |健診結果・問診票の内容等のデータ 記載し、受診勧奨を行いました。発 分析等を行い、特性が異なるグルー

> 防止のため、3密を避ける観点か ら、集団健診の受付時間や実施場所 の変更点について必要に応じてハガ 発送しました。 キなどで通知しました。

集団健診の定員が減ったため、予 約可能日時が分かるよう、随時メー ル配信や市公式ホームページの更新 を行いました。

市公式ホームページにがん検診等 案内を掲載しました。

5月下旬に特定健診・高齢者健診 の受診券を個別通知しました。

高齢:10.030 涌

9月に過去の特定健診の受診歴・ また新型コロナウイルス感染拡大 わせた受診勧奨通知を発送しまし た。また、1月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を

> 発送数 9月:10.934 涌 1月:3.066 诵

市公式ホームページにがん検診等 案内を掲載しました。

5月下旬に特定健診・高齢者健診 の受診券を個別通知しました。

特定: 13.280 涌

高輪: 10.615 诵

8月に過去の特定健診の受診歴・ 分析等を行い、特性が異なるグルー プを 7 グループに分類し、特性にあ 一プを 7 グループに分類し、特性にあ わせた受診勧奨通知を発送しまし た。また、9月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を 発送しました。

> 発送数 9月:9.704 涌 10月:4.296 诵

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
率が高い群に年度最後の健診への勧 奨通知を送付しました。(1月) 圧着はがき:4,636 通				
3・健康診査の実施 ・40歳から74歳までの国民値 ・特定保健指導の実施	建康保険被保険者に対する特定健	康診査の実施		【健康増進課】
18歳~39歳に対して健康診査、 40歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対する特定健康診査を実施しました。 特定保健指導は参加者に合わせ土日や夜間にも実施しました。 18歳~39歳の健康診査:282人土日の特定保健指導実施者数:15人	18歳~39歳に対して健康を含べる。 18~39歳に対して健康を変更をでいる。 18~39歳の健康診査:251人 を	7 18 2 18 2 19 2 18 2 19 2 18 2 19 2 18 2 19 2 18 2 19 2 19	5月株 40 歳る 40 はの	5月末に 40歳~74歳までの国民健康保険被保険者に対する特定健康健康受診券を送付しました。 集団健診は、6月より開始し、今年度は、新しくサプラスクエア・サプラで健診を1日実施しました。 特定健康診査受診者数:2,980人 高齢者健康診査受診者数:1,324人かかりつけ医からの情報提供:14人

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

4・毎年健康診査開始前月に受診券送付。市広報紙、市ホームページ等で周知

【健康増准課】

(特定健康診查·高齢者健康診查) 対象者全員に、前年の受診歴の有 無に応じて内容を変えた案内チラシ を同封し、受診券を個別送付。(6 月)

(内訳)

国保 14.344 涌 後期高齢 8,889 通

市公式ホームページ・市広報紙へ の掲載。

佐貫駅・市庁舎・中根台歩道橋に 断幕を設置。(6月)

昨年度、健診未受診者等に訪問。 (5月)

特定健診未受診者へ健診時間診票 の記載内容や過去5年間の受診歴の 有無、医療機関受診歴(レセプト) の有無でグループ分けを行い、対象 者に合った内容の勧奨通知を送付し ました。(10月)

勧奨通知数:11.114 通 (内訳)

①過去5年間で1回以上特定健診 受診歴のある人

A4 サイズ圧着通知: 3.088 通

② 過去 5 年間で 1 回も特定健受診 歴がない人

圧着はがき:8.026 通 うち 医療機関受診歴なし 3.269 涌

医療機関受診歴あり

4.757 通

12 月時点で特定健診未受診者のう ち、過去の受診歴などから、受診確 率が高い群に年度最後の健診への勧

(特定健康診查·高齢者健康診查)

対象者全員に、前年度の受診の有 無に応じて内容を変えた案内チラシ を同封し、受診券を個別送付しまし た。(5月)

市公式ホームページ・市広報紙へ の掲載を行いました。

市庁舎・中根台歩道橋に横断幕を 設置しました。(6月・9月)

昨年度の健診未受診者等に訪問を しました。

者数が少ないため、過去の特定健診 ながりやすい過去3年間1回でも受 受診歴、レセプトの有無から、対象 | 診したことのあるグループへ通知を 者を抽出し、受診券発送直後に受診 勧奨はがきを発送しました。発送 数:3.786 通

10月には、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 6 グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。発 送数:6.330 诵

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(6月下旬)

9月に、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 4 グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。まいました。 た、新型コロナウイルス感染症感染 拡大防止のため集団健診の定員を減 らしたため、医療機関健診も併せて 記載し、受診勧奨を行いました。集 団健診の定員制限、医療機関のキャ 例年6~8月の予約制の健診の予約 パシティの問題からより受診へとつ しました。発送数:3.679 通

> 1月には、9月発送者のうち未受 診者に対し、受診勧奨通知を発送し ました。

> 新型コロナウイルス感染拡大防止 のため、3密を避ける観点から、集 団健診の受付時間や実施場所の変更 点について必要に応じてハガキなど で涌知します。

> 全ての集団健診が予約制となった ことに伴い、できるだけ予約可能日 時等を分かりやすく情報提供できる よう、随時メール配信や市公式ホー ムページの更新を行い、より丁寧な 電話応対による健診予約の促しを図 りました。

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(5月下旬)

(内訳)

国保 後期高齢 10,030 通

市公式ホームページへの掲載を行

9月に過去の特定健診の受診歴・ 健診結果・問診票の内容等のデータ 分析等を行い、特性が異なるグルー プを7グループに分類し、特性にあ わせた受診勧奨通知を発送しまし た。また、1月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を 発送しました。

発送数 9月:10.934 通 1月:3,066通

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(5月下旬)

(内訳)

国保 13.280 诵

後期高齢 10,615 通

市公式ホームページへの掲載を行 いました。

8月に過去の特定健診の受診歴・ | 健診結果・問診票の内容等のデータ 分析等を行い、特性が異なるグルー 一プを7グループに分類し、特性にあ わせた受診勧奨通知を発送しまし た。また、9月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を 発送しました。

発送数 9月:9.704 通 10月:4,296通

奨通知を送付しました。(1月) 圧着はがき:4、636通 ③健康診査のフォローの実施 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在) (令和3年3月末現在) (令和4年3月末現在) (令和5年3月末現在) (平成31年3月末現在) 5・健康診査結果説明会の実施(個別健康相談実施) 【健康増進課】 健診結果説明会は移動健康相談に 保健センターだけでなく、松葉・ 健康相談は健診開始後の6月から 健康相談は、特定の日程を設けず 健康相談は、健診開始前6月に1 統合し保健センターだけでなく、そ 八原コミュニティセンターで移動健 実施しています。健康相談実施日以 通年で行いました。 回、健診開始後の7月以降に15回 の他8月に馴柴コミュニティセン 康相談を実施しました。 外にも相談があった場合には随時対 健康相談実施者数:74人 相談日を設定しました。相談は予約 ターで個別健康相談を実施しまし 健康相談:移動健康相談実施者数: 応しています。 血圧が高めの方には、小冊子「血 制で、相談内容に応じて地区担当の 健康相談日実施者数:60人 圧手帳」を配付し、掲載されている 保健師や栄養士が面談を行いまし 71 人 健康相談実施者数:96人 健康相談実施日以外にも相談が 健康相談日外相談者数:60人 正しい血圧測定の方法に従って家庭 あった場合には随時対応していま 健康相談実施者数:135人 血圧が高めの方には、新規に小冊 | 血圧を数週間記録していただいた上 子「血圧手帳」を配付し、掲載され で医師の判断を仰ぐよう勧めまし 健診当日には、「度高血圧 (140/90以上)の方に保健指導を 健康相談実施日以外の相談者:41人 ている正しい血圧測定の方法に従った。 血圧が高めの方には、小冊子「血 行いました。 健診当日には、49歳以下のI度高 | て家庭血圧を数週間記録していただ また、血圧計をお持ちでない方に 圧手帳」を配付し、掲載されている さらに、健診結果返却時に高血圧 血圧(140/90以上)、50歳以上の いた上で医師の判断を仰ぐよう勧めは、血圧計の一時貸出を行いまし 正しい血圧測定の方法に従って家庭 140/90以上、LDL-c140以上、 Ⅲ度高血圧(160/100以上)の方に「ました。市民が記録した血圧手帳を」た。 血圧を数调間記録していただいた上 HbA1c6.5 以上の方、心電図要精密の 保健指導を行いした。また、家庭で 医療機関に持参して受診するという で医師の判断を仰ぐよう勧めまし 方等 1403 人に雷話・訪問・手紙等 の血圧測定を行ってもらうため、血 事で、すぐに内服を開始されるケー で検診後フォローをしました。 圧計のない方には、血圧計の一時貸 スもあり、速やかに治療へつなげる また、血圧計をお持ちでない方に 出を行いました。 支援を行うことができました。ま は血圧計の一時貸出を行いました。 而圧保健指導者数:141人 た、血圧計をお持ちでない方には、 健診結果返却時に高血圧 140/90 血圧計の一時貸出を行うことで、ご 以上、LDL-c140以上、HbA1c6.5以 自身の家庭血圧を知っていただくこ 上の方、心電図要精密の方等電話・ とができ、血圧計の購入を後押しす 訪問・手紙等で保健指導や受診勧奨 ることにつながりました。 をしました。 結果返却時の保健指導者数:1.292

特定保健指導の実施率の向上のた め、今年度より健診当日と健診結果 返却時の2段階で特定保健指導を開 始しました。

市広報誌8月号に特定保健指導の 効果について掲載し、取り組み等の 周知をしました。

特定保健指導対象者数:525人 特定保健指導実施者数(実施率): 285 人 (54.3%)

特定保健指導の実施率向上のため 集団健診当日に、面接予約をとり、 健診結果の返却と当時に保健指導を 実施し、対象者が面接しやすい体制 をとりました。

特定保健指導対象者数(集団健診): 438 人

特定保健指導実施者数(集団健診): 361 人(実施率:82.4%)

特定健診当日と特定健診結果返却 しました。

高血圧指導件数(集団)113人 血圧が高めの方には、新規に小冊 子「血圧手帳」を配付し、掲載され │りました。 ている正しい血圧測定の方法に従っ て家庭血圧を数週間記録していただ 指導及び必要に応じて受診勧奨を実 いた上で医師の判断を仰ぐよう勧め 施しました。 ました、市民が記録した血圧手帳を 医療機関に持参して受診するという 特定保健指導対象者数(集団健診): 事で、すぐに内服を開始されるケー 315人 スもあり、速やかに治療へつなげる |特定保健指導実施者数(集団健診): 支援を行うことができました。ま た、血圧計をお持ちでない方には、 血圧計の一時貸出を行うことで、ご 自身の家庭血圧を知っていただくこ とができ、血圧計の購入を後押しす ることにつながりました。

特定保健指導の実施率向上のため び結果返却日の予約をとり、健診結 果返却と当時に再度保健指導を実施 し、対象者が面接しやすい体制をと

血圧の高めの方には、食事、運動

288 人(実施率:91.4%)

特定保健指導の実施率向上のため 時に高血圧に対する保健指導を実施 │集団健診当日に、分割面接の実施及 │集団健診当日に、分割面接の実施及 び結果返却日の予約をとり、健診結 | 果返却と当時に再度保健指導を実施 し、対象者が面接しやすい体制をと りました。

> 保健指導実施の際には、生活改善の ための目標設定を具体化できるよう リーフレットの活用を行いました。

特定保健指導対象者数(集団健診): 275 人

特定保健指導実施者数(集団健診): 248 人 (実施率: 90.2%)

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

7.母子健康手帳交付時に妊娠高血圧予防についての保健指導

【健康増准課】

母子健康手帳交付時に BMI を算出 し、体重と妊娠高血圧症の関係を説 明し妊娠期の健康管理のために適正 な体重増加やバランスのよい食事・ 休養などについて保健指導を実施し ました。

母子健康手帳交付時に BMI を算出 し、体重と妊娠高血圧症の関係を説 明し、妊娠期の健康管理のために適 正な体重増加について保健指導を実 施しました。

母子健康手帳交付時に BMI を算出 し、体重と妊娠高血圧症の関係を説 明し、妊娠期の健康管理のために適 間し、妊娠期の健康管理のために適 正な体重増加について保健指導を実 □ 正な体重増加について保健指導を実 施しました。

母子健康手帳交付時に BMI を算出 し、体重と妊娠高血圧症の関係を説 施しました。

妊娠前において肥満の方には、血 圧が高くなる可能性が高いため、血 圧が高いことで起こりうるリスクに ついて記した個別健康相談のお知ら せを配付し健康相談の勧奨を行いま した。

妊娠届数:394人(転入者含む) (うち、BMI25 以上:56 人)

母子健康手帳交付時にリスクを確 認。妊娠高血圧症候群の既往のある 方、妊娠前の BMI も考慮しながら、 |体重と妊娠高血圧症候群予防のため の食事を含む生活習慣について保健 指導を実施しました。

妊娠届数:394人(転入者含む) (妊娠高血圧症候群既往 4人)

8 ・児童生徒の健康に関する知識の普及啓発

【指導課】

学校教育指導方針に沿って児童生 徒の発達段階に応じた保健教育、飲 酒や喫煙の害について、薬物乱用防 止教育、性に関する指導等が各学校 で実践されました。特に、城ノ内中 学校では「がん教育講演会」を開催 し、生徒、保護者だけでなく、市内 小中学校の健康教育担当者を集めて 学習会を実施しました。

学校教育指導方針に沿って児童生 徒の発達段階に応じた保健教育、飲 酒や喫煙の害について、薬物乱用防 止教育、性に関する指導等が各学校 で実践されました。

薬物乱用防止に関する講演会や性 に関する講演会等、外部からの講師 を招き、専門的な話を聞くことがで きました。

児童生徒の実態や発達段階に応じ て計画的に保健教育を実施していま す。特に、飲酒・喫煙・薬物乱用の 防止教育や、性に関する指導におい ては、専門的知識を有する外部指導 康への意識が高まるような健康教育 が実践されるよう、学校訪問を通し て指導助言を行いました。

新型コロナウイルス感染症の予防 **| 言しました。** を講じながら、専門的知識を有する 外部指導者を招聘した講演会を実施 招聘し、15 校で対面での講演会を実 できました。

児童生徒の実態や発達段階に応じ た計画的な保健教育を実施していま

特に、飲酒・喫煙・薬物乱用の防 者を効果的に活用し、児童生徒の健 は、専門的知識を有する外部指導者 を効果的に活用し、児童生徒の健康 への意識を高める健康教育が実践さ れるよう、学校訪問を通して指導助

> 今年度は全ての学校で外部講師を 施し、2校はオンラインによる講演 会を行いました。

児童生徒の実態や発達段階に応じ た計画的な保健教育を実施していま

昨年度同様に今年度においても、 飲酒・喫煙・薬物乱用の防止教育 や、性に関する指導においては、専 門的知識を有する外部指導者を効果 的に活用し、児童生徒の健康への意 識を高める健康教育が実践されるよ う、学校訪問を通して指導助言しま した。

今年度は 15 校が薬物乱用防止教室 で、11 校が生(性)の健康教育で外 部講師を招聘し、対面での講演会を 実施しました。

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

- 9 ・ 各種健康教育・講演会の実施
 - ・地域や職域からの依頼による健康教育出前講座に実施
 - ・ポスター、チラシ、市ホームページ等を利用した普及活動
 - ・食生活改善推進員による料理教室等の委託事業に実施
 - ・地元企業へのチラシ配布
 - ・被扶養者への受診勧奨

ヘルス講演会を6回開催しまし た。

食生活改善推進員による料理講習 会等や新たに農業政策課の地域おこ し協力隊と連携し、フードスクエア カスミ龍ケ崎中里店での食育活動を 行いました。

ヘルス講演会

「胃がんについて」:37人 「薬について」:56人

「おとなの眼について」:47人 「こどもの花粉症」:20人

「糖尿病」: 78 人 「COPD」: 47 人 料理講習会:16 回

参加者数延べ:150人

た。 6月「喫煙の害と禁煙について」:

ヘルス講演会を6回開催しまし

24 人

8月「糖尿病の食事について」:82

9月「心臓病について」: 103人 10月「小児の生活習慣病につい て」:12人

食生活改善推進員による主食・主 菜・副菜のそろったメニューの料理 講習会や男性の料理教室では、ポリ 袋で簡単に一品作れる講習会を行い ました。

伝達講習会 4回:37人 親子の料理教室 4回:61人 男性の料理教室 2回:13人 茨城食文化伝承 4回:36人

ヘルス講演会を3回開催しまし た。

6月「眼の成人病について」:中止 8月「子どもの眼について」:20人 9月「胃の病気について」:16人 10月「乳がんについて」:15人 11月「骨粗しょう症ついて」:中止 1月「聴こえについて」:中止

ヘルス講演会は新型コロナウイルス 感染拡大防止のため中止しました。 感染症感染拡大防止のため中止しま した。また、実施したヘルス講演会 は、感染症対策として完全予約制とした。 し、参加者はマスクの着用、検温と 手指消毒、会場は換気を行いながら の実施となりました。

会 16 回開催予定でしたが、調理実 て引き続き話し合いを実施しまし 習は新型コロナウイルス感染症への た。 リスクが高いため中止しました。

ヘルス講演会を、新型コロナウイ ルス感染防止対策を行いながら1回 た。 開催しました。

6月「目の成人病について」:中止 8月「子どもの便秘について」:11

3月「聴こえについて」:中止 6月、3月に予定していたヘルス 6月、11月、1月に予定していた「講演会は新型コロナウイルス感染症 8月の講演会は感染予防の観点か ら、少人数の予約制で実施しまし

食生活改善推進員による活動は、 休会に伴い令和3年度は実施しませ 食生活改善推進員による料理講習 人のでした。今後の新たな活動に向け ヘルス講演会を3回開催しまし

6月「乳がんについて」:15人 8月「こどもの便秘と夜尿症につい て1.10人

【健康増進課】

2月「高血圧について」:23人 新型コロナウイルス感染症対策とし て完全予約制とし、参加者はマスク の着用、検温と手指消毒、会場は換 気を行いながらの実施となりまし た。

2月「高血圧について」講演会で は、現地参加型と Web での視聴がで きるハイブリッド式で講演会を実施 しました。

取り組み分野	(3)糖尿病					
重点目標	目標 ・糖尿病の有病率を減らす					
成果指標		実績			(%)	
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	① 26 週頃の妊婦健康診査の血糖値 100mg/dl 以上の割合 (妊娠糖尿病の早期発見) 33.0%	42.4	45.6	39.9	41.7	43.5
	② 特定健康診査の受診率(再掲) 48.0%	33.3	32.3	24.2	30.6	(速報値) 30.8
	③ 特定保健指導の実施率(再掲) 60.0%	50.9	61	52.4	51.9	(速報値) 38.2
	④ 糖尿病腎症により新規に透析を導入される人数 6人	12 人	19 人	8人	10人	7人
	⑤ 糖尿病有病者の割合 (40-74 歳) 18.0%	9.2	8.5	8.8	9.3	9.1
	⑥ メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合(再掲) 予備群 8.5% 該当者 12.0%	予備群 8.5 該当者 16.8	予備群 8.8 該当者 16.5		予備群 9.7 該当者 18.2	予備群 9.8 該当者 18.3

①妊娠糖尿病予防への取り組み

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 取り組み内容と今後の方向性 (令和5年3月末現在)

1・母子健康手帳交付時の保健指導、プレ・ママ教室時の栄養指導、妊婦の個別栄養指導

【健康増進課】

母子健康手帳交付時に、すべての 妊婦に妊娠中の適正な体重増加量に ついて保健指導するとともに、糖尿 病の既往や家族歴のある方には、妊 娠糖尿病予防のため、食事のポイン トについても保健指導を実施しまし た。

プレ・ママ教室で、妊娠期の食事 について、集団指導を実施し、尿糖 (土)以上の方には個別相談を実施 しました。

母子健康手帳交付時に、すべての 妊婦に妊娠中の適正な体重増加量に ついて保健指導するとともに、糖尿 病の既往や家族歴のある方には、妊 娠糖尿病予防のため、食事のワンポ イントアドバイスをしました。

プレ・ママ教室で、妊娠糖尿病の 理解を深めていただくため、妊娠糖 尿病について説明を行うとともに、 妊娠糖尿病予防のための食事のポイ ントについても説明し、妊娠糖尿病 の予防に努めました。

妊娠糖尿病を予防するために、支 援方法について、糖尿病専門医や産 婦人科医にアドバイスをいただき、 連携しながら支援できるよう、実施 に向けての準備を行いました。

妊婦に妊娠中の適正な体重増加量に ついて保健指導するとともに、糖尿 病の既往や家族歴のある方には、妊 娠糖尿病予防のため、栄養指導を実 施しました。

栄養指導者数:94人

プレ・ママ教室で、妊娠糖尿病の 理解を深めていただくため、妊娠糖 尿病や、妊娠糖尿病予防のための食 | 娠糖尿病の予防に努めました。

援方法について、糖尿病専門医や産した。 婦人科医にアドバイスをいただき、 連携しながら支援できるよう、実施 数:24人 に向けての準備を行いました。

母子健康手帳交付時に、すべての 母子健康手帳交付時に、すべての | 妊婦に妊娠中の適正な体重増加量に ついて保健指導を行いました。ま た、妊娠糖尿病を予防するために、 妊娠糖尿病のリスクがある妊婦に は、栄養相談を行い、相談結果をか かりつけ医と共有・連携しながら支 援しました。

妊娠届数:394人(転入者含む) 栄養指導者数:158人(電話込み) プレ・ママ教室で、妊娠糖尿病の 事のポイントについても説明し、妊 │理解を深めるため、妊娠糖尿病や予 防のための食事のポイントについて 妊娠糖尿病を予防するために、支 |説明し、妊娠糖尿病の予防に努めま

プレ・ママ教室第1講座参加者

母子健康手帳交付時に、すべての 妊婦に妊娠中の適正な体重増加量に ついて保健指導を行いました。

また、妊娠糖尿病を予防するため にリスクのある妊婦(BM≥25.0、 BMI≤18.5、妊娠糖尿病既往、糖尿病 |家族歴、40歳以上)に対し、管理栄 養士が栄養相談を実施しました。そ の後、相談結果をかかりつけ医と共 有・連携しながら支援しました。

妊娠届数:394人(転入者含む) 栄養指導者数:167人(電話込み)

プレ・ママ教室で、妊娠糖尿病の 理解を深めるため、妊娠糖尿病や予 防のための食事のポイントについて 説明し、 妊娠糖尿病の予防に努めま した。

プレ・ママ教室第1講座参加者 数:16人

②妊娠糖尿病から糖尿病に移行させないための取り組み

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)

- 2・乳児家庭全戸訪問時や3~4か月児健康診査時に定期的な健康診査受診または病院受診を勧奨
 - ・3~4 か月児健康診査時における栄養指導

妊娠糖尿病の既往がある方は、糖 尿病を発症するリスクが高いため、 定期的に健診を受けるよう、保健指 導を実施しました。

3~4か月児健診時に管理栄養十 による食事指導を実施しました。

妊娠糖尿病だった産婦には赤ちゃ ん訪問時や3~4か月児健診時に状 況を確認し、定期的に健診を受ける よう保健指導をしました。

3~4か月児健診時には、管理栄 養士による食事指導を実施しまし

妊娠糖尿病だった産婦には赤ちゃ 況を確認し、定期的に健診を受ける よう保健指導をしました。

3~4か月児健診時には、管理栄 ○う保健指導をしました。 養士による食事指導を実施しまし

ん訪問時や3~4か月児健診時に状│訪問時や3~4か月児健診時に状況│訪問時や3~4か月児健診時に状況

理栄養士による食事指導を実施しまして管理栄養士による食事指導を実 した。

【健康増進課】

妊娠糖尿病だった産婦には新生児 妊娠糖尿病だった産婦には新生児 を確認し、経過観察になった場合でした確認し、経過観察になった場合で も定期的に健診を受けて確認するよしも定期的に健診を受けて確認するよ う保健指導をしました。

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

乳児健診時には、必要に応じて管│ 3~4か月健診時には、必要に応 施しました。

A4 サイズ圧着通知:3,088 通 ②過去5年間で1回も特定健受診

③健康診査を受けやすい環境の)整備			
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
3 ・ 市広報紙、市ホームペー	-ジ、メール配信等を利用し、健康	診査の案内を実施		【健康増進課】
市覧た。39 し 18 で 39 し 25 で 39 し 25 で 39 し 25 で 39 し 25 で 39 し 30 の 38 で 39 し 30 の 38 で 39 し 30 の 39 に 30 の 39 し 30 の 39 に 30 の	健康診査受診勧奨を行いました。 (9月)発送数:龍ケ崎地区 1,371 人 八原地区:917人 過去の特定健診の受診歴・健診結果・問診票の内容等のデータ分析等を行い、特性が異なる6グループに分類し、特性にあわせた受診勧奨通知を発送しました。 (10月) 発送数:6,330通	を を を を を を を を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の の の で が に し し の の で が に し の の で が に し の の で が に し の の で が に し の の で が に し の の で が に し の の で が に し の の の で が に し の の の で が に し の の の で が に し の の の で が に し の の が に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が の を か は し に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が に し 、 ら る が の 。 ら る が ら る が の る が に し 、 ら る が の る が に し し 関 診 の の る が し に 、 ら る が ら の る が に し に 、 ら る が ら の で 、 の ら の で 、 の ら の で 、 の の で 、 の の に し に 、 の の に の の に の に の の に の の に の の に の の に の の に の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の に の の に の に の に の に の の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の に の に の の に の に の に の の に の に の の の に の の に の の の の に の の の の の の の の の の の の の	特定健康診査・高齢者とのでは、 特定とのでは、 を個別に送付します。 ののでは、 ののでのでは、 のののでは、 ののののでが、 ののののでが、 ののののでが、 ののののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 のののでが、 ののでが、 ののでのでは、 ののでのでのでのでは、 ののでのでのでのでのでは、 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	特定健康診査を個別に送付します。(5月下旬) 8月に過去の特定健康診券を個別に送けるのでのののでが、特定健診のでののののののでが、特定性ができない。 8月によりのでは、特には、特には、特には、特には、特には、特には、特には、特には、特には、特に

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
歴がない人 圧着はがき:8,026 通 うち 医療機関受診歴なし 3,269 通 医療機関受診歴あり 4,757 通 12 月時点で特定健診未受診者のう ち、過去の受診歴などから、受診確 率が高い群に年度最後の健診への勧 奨通知を送付しました。(1 月) 圧着はがき:4,636 通 診者が増えました。				

4・健康診査(40歳未満)の実施

- ・40歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対する特定健康診査の実施
- 特定保健指導の実施

【健康増進課】

健診診査(40歳未満)の受診者は 健指導を実施しています。

対象者に応じて土日の保健指導を 実施しました。

土日の保健指導実施者数:14人

40 歳未満の健康診査を実施し、保 282 人。40 歳未満の方に対しても保「健指導対象者には 40 歳以上の方と同「康診査を実施し、40 歳未満の方の保「査、保健指導を実施しました。 じように保健指導を実施しました。 対象者が利用しやすいように土日の 保健指導を実施しました。

土日の保健指導実施者数:21人

7月より18歳~39歳に対して健 健指導を実施しました。

しました。

医療機関での健診を受けた方に関 しては、特定保健指導のご案内通知 を送り勧奨しました。

土日の特定保健指導者数:16人

40 歳未満の方にも継続して健康診

集団健診当日に、腹囲や BMI で保 特定保健指導に関しては、参加者 |健指導対象となる可能性がある者に |実施しました。 に合わせ、土日に保健指導を実施し 対して、保健指導の初回分割面接を ました。また、健診時初回面接の予 | 実施し、生活改善のアドバイスとと 約が難しかった方には、個別で電話 │もに、保健指導の目的について説明 をし、参加者の予定に合わせて実施 を行いました。また、初回面接日の 予約を健診日に行いました。平日や 日中来所が難し対象者には、土日や 夕方に保健指導を実施したり、電話 にて保健指導を行いました。

医療機関で健診を受けた方に関し 特定保健指導初回(個別):222人 ては、特定保健指導のご案内通知を 送り勧奨しました。

土日の特定保健指導者数:16人

40 歳未満の方で検査値が特定保健 指導対象者相当の方や肥満者に対し て動機付け支援と同様の保健指導を

また、対象者が利用しやすいよう に土日の保健指導を2日間行いまし

土日の保健指導利用者:12人

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

- 5・ 個人通知、市広報紙、市ホームページ、メール配信等を利用し、健康診査の案内を実施
 - ・ イベントでの広報活動

市広報紙・市公式ホームページ・ 回覧板を活用し案内を行いました。

18 歳~39 歳の健康診査について は、乳幼児健診時、保護者へ健診受 診券を作成し、健診の案内を実施し ました。

特定健康診査・高齢者健康診査の 周知を下記のとおり実施しました。 (内訳)

国保 14.344 通 後期高齢 8,889 通

- 無に応じて内容を変えた案内チラシ を同封し、受診券を個別送付。(6) 月 · 9月)
- ・市公式ホームページ・市広報紙へ の掲載。
- ・佐貫駅・市庁舎・中根台歩道橋に 横断幕を設置。(6月・9月)
- ・昨年度、健診未受診者等に訪問。 (5月)
- ・特定健診未受診者への勧奨通知を 送付しました。健診時間診票の記載 内容や、過去5年間の受診歴の有 無、医療機関受診歴(レセプト)の 有無でグループ分けをし、対象者に 合った内容の勧奨通知を送付。(10 月)。

A4 サイズ圧着通知 3.088 通 過去5年間で1回も特定健診受診歴 がない方

圧着はがき 8.026 涌 医療機関を受診していない人:

3.269 涌

医療機関を受診している人:

4.757 涌

(特定健康診查·高齢者健康診查) 対象者全員に、前年度の受診の有 無に応じて内容を変えた案内チラシ を同封し、受診券を個別送付しまし た。(5月)

国保 14.135 通 後期高齢 9.474 通 市公式ホームページ・市広報紙へ の掲載を行いました。

市庁舎・中根台歩道橋に横断幕を設 置しました。(6月・9月)

例年6~8月の予約制の健診の予約 ・対象者全員に、前年の受診歴の有 | 者数が少ないため、過去の特定健診 受診歴、レセプトの有無から、対象 者を抽出し、受診券発送直後に受診 勧奨はがきを発送しました。発送 数:3,786 通

> 10月には、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 6 グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。発 |送数:6.330 诵

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(6月下旬)

9月に、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の た受診勧奨通知を発送しました。ま わせた受診勧奨通知を発送しまし らしたため、医療機関健診も併せて 発送しました。 記載し、受診勧奨を行いました。

発送数: 3.679 诵

新型コロナウイルス感染症感染拡 大防止のため、3密を避ける観点か ら、集団健診の受付時間や実施場所 の変更について必要に応じてハガキ などで通知します。

全ての集団健診が予約制となった ことに伴い、できるだけ予約可能日 診勧奨を行いました。 時等を分かりやすく情報提供できる よう、随時メール配信や市公式ホー ムページの更新を行い、より丁寧な 電話応対により健診の予約を促しま した。

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(5月下旬)

9月に過去の特定健診の受診歴・ データ分析等を行い、特性が異なる │分析等を行い、特性が異なるグルー 4 グループに分類し、特性にあわせ プを7 グループに分類し、特性にあ た、新型コロナウイルス感染症感染 た。また、1月に受診の可能性が高 拡大防止のため集団健診の定員を減 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を

> 発送数 9月:10.934 涌 1月:3.066 通

4月上旬に龍ケ崎西地区、10月に 川原代地区の特定健診受診対象者の うち、令和元年度受診、令和2年度 未受診者と 40 歳代と 50 歳代で令和 2年度未受診者へ訪問し、健診の受

訪問者数: 222 人

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(5月下旬)

【健康増進課】

8月に過去の特定健診の受診歴・ 健診結果・問診票の内容等のデータ │健診結果・問診票の内容等のデータ 分析等を行い、特性が異なるグルー プをフグループに分類し、特性にあ わせた受診勧奨通知を発送しまし |た。また、9 月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を 発送しました。

> 発送数 9月:9.704 诵 10月:4.296 通

4月上旬に龍ケ崎地区、特定健診 受診対象者のうち、令和2年度受 診、令和3年度未受診者と無料対象 である 41 歳と 51 歳へ訪問し、健診 の受診勧奨を行いました。

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

6・毎年健康診査開始の前月下旬に受診券送付。広報、市ホームページ等で周知

【健康増進課】

対象者全員に、前年の受診歴の有 無に応じて内容を変えた案内チラシ を同封し、受診券を個別送付。

(6月)(内訳)

国保 : 14,344 通 後期高齢: 8,889 通

市公式ホームページ・市広報紙への掲載。

佐貫駅・市庁舎・中根台歩道橋に 横断幕を設置。(6月・9月) 対象者全員に、前年度の受診の有無に応じて内容を変えた案内チラシを同封し、受診券を個別送付しました。(5月)

国保 14,135 通 後期高齢 9,474 通 市公式ホームページ・市広報紙へ の掲載を行いました。

市庁舎・中根台歩道橋に横断幕を設置しました。(6月・9月)

特定健康診査・高齢者健康診査対象者へ受診券を個別に送付しました。(6月下旬)

9月に、過去の特定健診の受診 歴・健診結果・問診票の内容等の データ分析等を行い、特性が異なる 4グループに分類し、特性にあわせ た受診勧奨通知を発送しました。ま た、新型コロナウイルス感染症感染 拡大防止のため集団健診の定員を減 らしたため、医療機関健診も併せて 記載し、受診勧奨を行いました。

発送数: 3,679 通

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密を避ける観点から、集団健診の受付時間や実施場所の変更点について必要に応じてハガキなどで通知しました。

特定健康診査・高齢者健康診査対 象者へ受診券を個別に送付しまし た。(5月下旬)

国保 13,717 通 後期高齢 10,030 通

9月に過去の特定健診の受診歴・ 健診結果・問診票の内容等のデータ 分析等を行い、特性が異なるグルー プを7グループに分類し、特性にあ わせた受診勧奨通知を発送しまし た。また、1月に受診の可能性が高 い対象者を抽出し、受診勧奨通知を 発送しました。

発送数 9月:10,934通 1月:3,066通

市公式ホームページへ掲載しました。

特定健康診査・高齢者健康診査対象者へ受診券を個別に送付しました。(5月下旬)

国保 13.280 诵

後期高齢 10,615 通

8月に過去の特定健診の受診歴・健診結果・問診票の内容等のデータ分析等を行い、特性が異なるグループを7グループに分類し、特性にあわせた受診勧奨通知を発送しました。また、9月に受診の可能性が高い対象者を抽出し、受診勧奨通知を発送しました。

発送数 9月:9,704通

10月:4,296通

市公式ホームページへ掲載しました。

⑤健康診査のフォローの実施

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

7・40歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対する特定健康診査の実施

【健康増准課】

特定健康診査・高齢者健康診査を 集団(保健センター・たつのこア リーナ・各コミュニティセンター) 及び医療機関(茨城県医師会、竜ケ 崎市・牛久市医師会加入医療機関) で実施しました。

また、特定健康診査では、かかり つけ医からの情報提供制度を実施し ました。

【受診者数】

【単位:人】

	特定 健康 診査	高齢 者 健康 診査	計
集団 健診	3,216	1,152	4,368
医療 機関 健診	392	197	579
情報 提供	16	_	16
計	3,624	1,349	4,993

特定健康診査・高齢者健康診査を 集団(保健センター・たつのこア リーナ・各コミュニティセンター) 及び医療機関(茨城県医師会、竜ケ 崎市・牛久市医師会加入医療機関) で実施しました。また、特定健康診 **査では、かかりつけ医からの情報提** 供制度を実施しました。

【受診者数】 【単位:人】

	特定健康診査	高齢 者 健康 診査	計
集団 健診	2,985	1,229	4,214
医療 機関 健診	381	213	594
情報 提供	36	_	36
計	3,402	1,442	4,844

7月より40歳~74歳の国民健康 保険被保険者に対する特定健康診査 │自分の体調の変化を経年的に見るこ │集団(保健センター・たつのこア を実施しました。

特定健康診査・高齢者健康診査を 集団(保健センター・たつのこア リーナ・総合福祉センター)及び医 見られた者に対して個別に指導を行 療機関(茨城県医師会、龍ケ崎市医 い、生活習慣改善へのアドバイスを 師会加入医療機関)で実施しまし

新型コロナウイルス感染拡大防止 のため、3密を避ける観点から、集 団健診の受付時間や実施場所の変更 点について必要に応じてハガキなど で通知しました。

【受診者数】

【単位:人】

	特定 健康 診査	高齢者 健康診 査	計
集団 健診	1,792	804	2,596
医療機関 健診	682	273	955
情報 提供	74	_	74
計	2,548	1,077	3,625

健康診査を毎年受診することで、 とができるため、治療中の人も含め 健診受診勧奨を実施しました。

集団健康診査当日、尿糖に所見が 実施しました。

【受診者数】

【単位:人】

	特定 健康 診査	高齢者 健康診 査	計
集団 健診	2,449	914	3,363
医療機関 健診	560	262	822
情報 提供	50		50
計	3,059	1,176	4,235

特定健康診査・高齢者健康診査を リーナ・各コミュニティセンター) 及び医療機関(茨城県医師会、竜ケ 崎市・牛久市医師会加入医療機関) で実施しました。

また、特定健康診査では、かかり つけ医からの情報提供制度を実施し ました。

【受診者数】 【単位:人】

高齢 特定 者 健康 計 健康 診査 診査 集団 2.454 1.045 3.499 健診 医療 512 279 791 機関 健診 14 14 情報 提供 4.304 2.980 1.324

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

8 ・ 健康診査結果説明会の実施(個別健康相談実施) 特定保健指導等の実施

移動健康相談を馴柴コミュニティ センター、長山コミュニティセン ターの2か所で実施しました。 移動健康相談実施者数:14人

特定保健指導は、対象者に応じて 土日や夜間時間も実施しました。 土日の特定保健指導者数:15人

移動健康相談を松葉・八原コミュ ニティセンターの2か所で実施しま した。

移動健康相談実施者数:6人 特定保健指導は、対象者が利用し やすいように土日や夜間時間も実施 しました。

土日の特定保健指導者数:17人

今年は移動健康相談というかたち ではなく、相談があった方に面接・ 訪問等で随時対応しました。

健康相談日以外の健康相談実施 者:60人

特定保健指導は、対象者の生活に 合わせて、土日に実施しました。 土日の特定保健指導者数:16人

健康相談希望者には面接・訪問等 で随時対応しました。

要因となるため、特定保健指導にお、保健師や栄養士が面談を行いまし いて、適正な体重管理のためのアドト。 バイスを実施しました。対象者の生 活に合わせ、管理栄養士・保健師が 個別に栄養指導、運動指導を行いま した。

健康相談は、健診開始前6月に1 回、健診開始後の7月以降に15回 相談日を設定しました。相談は予約 肥満は糖尿病発症の最大のリスク|制で、相談内容に応じて地区担当の

【健康増准課】

健康相談実施者数:135人

⑥牛活習慣病、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

【指導課】

9・児童生徒の健康に関する知識の普及啓発

バランスよく栄養摂取できる学校 給食の提供と体力アップ推進プラン に基づいた各校の取組により、児童 生徒の健康増進と体力の向上を目指 しました。

発達段階に応じた食に関する正し い知識と望ましい食習慣の育成に関 する情報提供を推進しました。

学校で健康診断を実施し、疾病の 早期発見、早期治療を推進しまし

児童生徒の現状分析、評価を行 い、対象者及び内容について「ヘル シ-スク-ル(小児生活習慣病)」 【新規事業】の企画書を作成しまし た。

バランスよく栄養摂取できる学校 給食の提供と体力アップ推進プラン に基づいた各校の取組により、児童 生徒の健康増進と体力の向上を目指 しました。

保健の授業では、栄養教諭や養護 教諭の指導のもと、生活習慣病につ いて学習し、望ましい食生活習慣や 生活習慣病の予防法について学びま した。

発達段階に応じた食に関する正し い知識と望ましい食習慣の育成に関 する情報提供を推進しました。

学校で健康診断を実施し、疾病の 早期発見、早期治療を推進しまし た。

感染症対策を行いながら、現在ま で栄養教諭や養護教諭による専門的 知識を生かした食に関する指導を行 い、児童生徒の望ましい食生活習慣 を形成、生活習慣病の予防に努めま した。

学校訪問を通して健康診断結果を 確認し、疾病の早期発見、治療勧 告、受診完了報告の状況確認を行い ました。

今年度は新型コロナウイルス感染 状況から健康診断等が遅れました が、全校無事終了できました。

栄養教諭による専門的知識を生か した食に関する指導を行い、児童生 徒の望ましい食生活習慣を形成、生 活習慣病の予防に努めました。今年 | 度は 14 校が市内の栄養教諭を講師と | 度は 9 校が市内の栄養教諭を講師と して招聘し、対面での授業を実施し ました。3つの学校は養護教諭が チーム・ティーチングとして授業に 参加しました。

保健師・管理栄養士が、学校訪問 を诵して健康診断結果を確認し、疾 病の早期発見、治療勧告、受診完了 報告の状況確認を行いました。

栄養教諭による専門的知識を生か した食に関する指導を行い、児童生 徒の望ましい食生活習慣を形成。生 活習慣病の予防に努めました。今年 して招聘し、対面での授業を実施し ました。また、3校で養護教諭が チーム・ティーチングとして授業に 参加しました。さらに、生産者(漁 業組合・(株)ヤクルト)を外部講師 として招聘するなど各校で工夫した 活動が見られました。

学校で健康診断を実施し、疾病の 早期発見、早期治療を推進しまし た。

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

10・各種健康教育の実施

- ・地域や職域からの依頼による健康教育・出前講座の実施
- ・市広報紙、ポスター、チラシ、市公式ホームページ等を利用した普及活動
- ・食生活改善推進員による料理教室等の委託事業の実施
- ・地元企業を通してのチラシ配布

ヘルス講演会を6回開催しまし た。

ヘルス講演会

「胃がんについて」:37人 「薬について」:56人

「おとなの眼について」:47人 「こどもの花粉症」: 20 人

「糖尿病」: 78 人 「COPD」: 47 人

6月の糖尿病講演会では、

HbA1c6.5%以上の方を対象とした講 演会を実施しました。

参加者数:60人

また、市広報紙8月号に講演会の 内容を掲載しました。

12月に糖尿病について(飯野クリ ニック 小林和人先生)、平成31年 数:124人 2月には、市広報紙に糖尿病講演会 の内容を掲載しました。

糖尿病重症化予防に向けた連絡会議 を内科医、歯科医、眼科医の参加の もと平成31年1月28日に実施しま わせ、市広報紙に糖尿病連携手帳に L.t.

食生活改善推進員による料理講習 会等や新たに商業施設での食育活動 を2回実施しました。

健診結果が以下の方々に対して保 健師・管理栄養士による電話や訪問 での受診勧奨及び保健指導を実施し ました。

- · HbA1c6.5~6.9 の未受診の方
- ·HbA1c7.0~7.9 で未治療の 74 歳ま での方
- ・HbA1c8.0 以上の方(年齢制限な

ヘルス講演会を5回開催しまし た。(新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため3月は中止)

「喫煙の害と禁煙について」:11人 「糖尿病の食事について」:81人 「動脈瘤 静脈瘤について」:103

「小児の生活習慣病について」:12

「大腸がんについて」: 75 人

7月・11月に糖尿病重症化予防の ために、前年度の健診結果(ヘモグ ロビンA1c6.5%以上とヘモグロビ ンA1c6~6.4%) をもとに、対象 者に通知を出し、糖尿病専門医によ る講演会を実施しました。参加者

糖尿病重症化予防連絡会議を9月 に実施し、糖尿病連携手帳活用等に ついて協議しました。

11月14日の世界糖尿病デーに合 ついての記事を掲載しました。

健診結果が以下の方々に対して保 健師・管理栄養士による電話や訪問 での受診勧奨及び保健指導を実施し ました。

- ·HbA1c6.5~6.9 の未受診の 69 歳ま | 断者に対して、受診勧奨通知を送付 | での方
- · HbA1c7.0~7.9 で未治療の 74 歳ま での方
- ・HbA1c8.0 以上の方(年齢制限な
- ·LDL-c180 以上の 74 歳までの方

ヘルス講演会を3回開催しまし た。(新型コロナウイルス感染症感 染拡大防止のため6、11、1月は中 止)

8月「子どもの眼について」:20人 9月「胃の病気について」:16人 10月「乳がんについて」:15人

実施したヘルス講演会は、感染症 はマスクの着用、検温と手指消毒、 会場は換気を行いながら実施しまし

前年度の健診結果がヘモグロビン た。 A1c6.5%以上及びヘモグロビン A1c 6.0~6.4%の方を対象とした糖尿病 重症化予防講演会を予定していまし たが、新型コロナウイルス感染症感 染拡大防止のため中止となりまし た。対象の方には、血糖改善や合併 症予防に関するリーフレットを送付 しました。

9月に糖尿病重症化予防連絡会議 を実施し、糖尿病専門医、眼科医、 歯科医との情報共有と、糖尿病連携 手帳を普及するための計画について 協議しました。

しました。

11 月に市広報紙にて糖尿病につい ての記事を掲載しました。糖尿病予 防のためのポイントとともに、新型 コロナ感染症重症化予防のために血 糖コントロールが重要であること

ヘルス講演会を、新型コロナウイ ルス感染防止対策を行いながら1回 開催しました。

6月「目の成人病について」:中止 8月「子どもの便秘について」:11

3月「聴こえについて」:中止

対策として完全予約制とし、参加者 | 講演会は新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため中止しました。 8月の講演会は感染予防の観点か ら、少人数の予約制で実施しまし

> |糖尿病重症化予防の取り組みとし て、11月と12月のりゅうほーに記 事を掲載しました。

11 月糖尿病連携手帳の活用について 12 月糖尿病と歯周病の関連について

前年度の健診結果がヘモグロビン A1c6.5%以上及びヘモグロビン $A1c6.0\sim6.4\%$ の方を対象とした、糖 π 尿病重症化予防講演会を予定してい ましたが、新型コロナウイルス感染 症感染拡大防止のため中止しまし 10 月に糖尿病の未治療者または中 | た。そのため上記の対象者に糖尿病 重症化予防のためのリーフレットを 郵送しました。

> A1c6.5%以上: 282人 ヘモグロビン A1c6.0~6.4%の方 131 人

糖尿病の未治療者または治療中断 者に対し、糖尿病の重症化を防ぐた 【健康増進課】

ヘルス講演会を3回開催しまし た。

6月「乳がんについて」:15人 8月「こどもの便秘と夜尿症につい て」:10 人

2月「高血圧について」:23人 新型コロナウイルス感染症対策とし 6月・3月に予定していたヘルス て完全予約制とし、参加者はマスク の着用、検温と手指消毒、会場は換 気を行いながらの実施となりまし た。

> 糖尿病重症化予防の取り組みとし て、11月と2月のりゅうほーに記事 を掲載しました。

- 11 月世界糖尿病デーの紹介 糖尿病連携手帳の周知・配布の お知らせ
- 2月糖尿病と歯周病の関連について (歯科講演会のお知らせにて)

A1c6.5%以上及びヘモグロビン A1c6.0~6.4%の方を対象とした、糖 尿病重症化予防講演会を行いまし た。

10月: ヘモグロビン A1c6.5%以上 保健センターにて

「糖尿病重症化予防(特に腎症)に ついて」出席者 25 人

講演会終了後に糖尿病連携手帳の周 知を行いました。また、希望者8名 に個別健康相談を実施しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
し) ・LDL-c180以上の74歳までの方 ・ II 度高血圧(160/100)以上で74歳までの方 また、以下の方々には、健診結果に資料を同封し、受診勧奨を行いました。 ・HbA1c6.0以上の方 ・LDL-c160~179で74歳までの方 ・I 度高血圧(140/90)以上の方	した。 ・LDL-c160~179 で74 歳までの方 ・I度高血圧(140/90)、中性脂肪 300以上、LDL140~159、尿酸8~	知しました。 健診結果が以下の方々に対して保健師・管理栄養士による電話や訪問での受診勧奨及び保健指導を実施しました。。	めた、受診勧果 29 人	12月: YouTube 動にのでは、 YouTube 動にの下り、 YouTube 動にのでは、 YouTube 動にのでは、 YouTube 動にのでは、 YouTube 動にのでは、 YouTube 動にのでは、 YouTube 動にのでは、 YouTube 動にののを

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
				また、以下の方々には、健診結果に資料を同封し、受診勧奨を行いました。 ・LDL-c160~179 (74歳以下)・I度高血圧(140/90~150/99)、中性脂肪300以上、LDL140~159、尿酸7.1~8.9 (69歳以下)保健指導実施者数:1,200人

取り組み分野	(4) がん										
重点目標	・がんの死亡者を減らす										
成果指標	目標値(令和3年度)(2021年度)		実績							(%)	
			平成 30 (2018 年)		令和元 (2019 年)		令和 2 (2020 年)		令和 3 (2021 年)		令和 4 (2022 年)
	①胃がん検診受診率 40~64歳 男性 16.4% 女性 12.2% 65~74歳 男性 18.6% 女性 14.1%	男性 12.0 11.6	女性 9.8 7.8	男性 9.3 9.8	女性 7.6 6.3	男性 6.3 7.2	女性 4.4 4.5	男性 6.2 9.2	女性 6.2 6.0	男性 5.9 7.9	女性 5.5 4.6
	②肺がん検診受診率 40~64 歳 男性 23.0% 女性 20.3% 65~74 歳 男性 37.4% 女性 36.6%	21.4 27.0		18.6 24.5	15.6 25.3	11.3 16.7	10.5 15.1		15.1 20.7	11.7 20.9	15.0 20.1
	③大腸がん検診受診率 40~64 歳 男性 27.0% 女性 20.3% 65~74 歳 男性 28.4% 女性 26.8%	19.3 19.6	19.4 19.2	16.7 17.4	16.4 18.7	12.4 13.7	11.7 12.9	9.2 16.9	13.8 16.9	9.4 16.3	12.6 16.3
	④乳がん検診受診率 40~64 歳 35.1% 65~74 歳 13.7%	42.0	10.3	37.4	12.2	35.9	6.7	42.6	7.8	43.4	8.8
	⑤子宮頸がん検診受診率 20 歳代 19.5% 30 歳代 35.3% 40~64 歳 29.8% 65~74 歳 17.1%		12.3 36.6 35.4 12.9		7.0 26.9 31.8 13.6		9.1 22.7 32.0 11.9		10.6 27.0 36.9 13.0		11.7 27.7 37.8 13.7
	⑥要精密検査受診率 胃がん検診: 88.3% 肺がん検診: 84.3% 大腸がん検診:77.9% 乳がん検診: 91.5% 子宮頸がん検診:81.2%		91.7 92.6 84.5 88.4 97.6		92.4 88.3 77.9 93.3 86.2		84.1 93.1 84.4 84.2 83.0		85.5 83.3 83.6 90.0 83.3		80.0 93.8 89.4 84.7 81.4
	⑦標準化死亡比 現状維持		: 0.95		: 0.97 : 0.99		生:0.97 生:1.00		: 0.98 : 1.01		性: 0.99 性: 1.08

①がんと生活習慣病との関係性の周知

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

- 1・がん予防推進員への研修会実施
 - ・がん予防推進員による「がん予防チラシ」の配布
 - ・市広報紙、市公式ホームページ等の活用
- ・健康診査結果説明会の有効活用

がん予防推進員の中央研修会を、 6月に実施しました。

その中で、市の新規事業(胃がん 医療機関健診) 等について説明する とともに、チラシの配布等を通して 市民への健診受診勧奨を依頼しまし

研修会欠席者には、郵送等でチラ シの配布を依頼しました。

参加者:17人(推准員数:50人) ヘルス講演会「胃がんについて」 (講師:龍ケ崎済牛会病院消化器内 科佐藤巳喜夫先生)を6月4日 (木)に実施しました。

参加者:47人

市公式ホームページに各がん検診 のお知らせを掲載し、受診勧奨をし ました。

がん予防推進員の中央研修会を. 6月に実施しました。がん検診やが ん予防に関する知識を深めるととも に、チラシの配布等を通して市民へ の健診受診勧奨を依頼しました。 内容:

- ・市が実施するがん検診について
- がん予防推進員によるがん体験談
- 乳がんセルフチェックデモンスト レーション(講師:看護学生)

研修会欠席者には、郵送等でチラ シの配布を依頼しました。

参加者:19人(推進員数:55人)

6月26日の婦人科検診において. 看護学生による乳がんセルフチェッ クデモンストレーションを実施し、 がん検診を定期的に受けると同時に セルフチェックを実施する重要性と その方法について説明しました。

市公式ホームページ、市広報紙に 各がん検診のお知らせを掲載し、受 診勧奨をしました。

例年実施している、がん予防推進 員の中央研修会については、新型コ □ナ新型コロナウイルスの感染拡大 ロナウイルスの感染拡大防止の観点 防止の観点から中止としました。 から中止としました。

予定の周知用チラシを作成し、推進 けていたがん検診(胃がん、肺が 員の通知に同封しました。

進員養成講習会は中止となりまし た。

がんの集団健診の予約人数が制限 されたことに伴い、できるだけ予約 できるよう、随時メール配信や市公 式ホームページの更新を行い、より 丁寧な電話応対による健診予約の促 しを図りました。

がん予防推進員研修会は、新型コ

令和2年度は新型コロナウイルス その際、がん検診が7月から実施 │の影響もあり、特定健診と同時に受 │進員養成講習会 1名出席 ん、大腸がん)も受診者が減少と 県の疾病対策課主催のがん予防推 なったため、令和3年度は、訪問し 受診勧奨を実施しました。

> 龍ケ崎西地区:133人 川原代地区:89人

可能日時等を分かりやすく情報提供 │市公式ホームページ、市広報紙に各 がん検診のお知らせを掲載し、受診 勧奨をしました。

がん予防推進員研修会は、新型コ ロナ新型コロナウイルスの感染拡大 防止の観点から中止としました。

【健康増進課】

県の疾病対策課主催のがん予防推

市公式ホームページ、市広報紙に 各がん検診のお知らせを掲載し、受 診勧奨をしました。

	平成30年度
	活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)
2	・がん予防推進員への研修

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

- 研修会実施
 - がん予防推進員による検診普及啓発のための「がん検診受診勧奨チラシ」の配布
 - ・市広報紙、市公式ホームページの活用
 - ・国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者への受診勧奨用チラシの同封
 - ・成人式において子宮頸がん検診のパンフレット配布
 - ・がん検診チラシの全戸配布
 - ・働く世代(地元企業)へのチラシ配布

【健康増進課】

現会員向けに6月に研修会を開催 しました。「胃がん医療機関健診」 についての説明、意見交換会を実施 しました。

参加者 17 人(推進員:50 人)

県主催のがん予防推進員養成講座 に9人の方が参加しました。

市民の参加を増やすために、市広 報紙などで参加者を募集しました。 (市広報紙10月号に掲載)

市公式ホームページに各がん検診 のお知らせを掲載し、受診勧奨をし ました。

成人式で子宮頸がん検診のパンフ レットを配布しました。

現会員向けに6月に研修会を開催 し市で実施するがん検診について説 明しました。

参加者:19人(推進員数:55人) 県主催のがん予防推進員養成講座に 3人の方が参加しました。市民の参 加を増やすために、市広報紙にて参 加者を募集しました。

市公式ホームページに各がん検診 のお知らせを掲載し、受診勧奨をし ました。

大腸がん検診の未受診者勧奨通知 を過去5年間で一度でも大腸がん検 診を受けた国民健康保険加入者以外 の未受診者に送付し、勧奨しまし た。勧奨者数:2、481人

例年実施している、がん予防推進 ロナウイルスの感染拡大防止の観点 から中止としました。

その際、がん検診が7月から実施 予定の周知用チラシを作成し、推進 員の通知に同封しました。

県の疾病対策課主催のがん予防推 進員養成講習会は中止。

広報紙にてがん検診の周知を行 い、市公式ホームページ、市広報紙 に各がん検診のお知らせを掲載し、 受診勧奨を行いました。

国民健康保険、後期高齢者医療保 険加入者への健康診査受診券郵送時 にがん検診の受診勧奨用チラシを同 封しました。

がん予防推進員の中央研修会につ 員の中央研修会については、新型コ │いては、新型コロナウイルスの感染 拡大防止の観点から中止としまし

> 国民健康保険被保険者、後期高齢 者医療被保険者へ特定健康診査・高 齢者健診の案内とがん検診の案内を 5月下旬に送付しました。

> 市公式ホームページに各がん検診 のお知らせを掲載しています。

> 市内の商業施設等に検診ポスター 掲示やチラシの設置を行いました。

がん予防推進員の中央研修会につ いては、新型コロナウイルスの感染 拡大防止の観点から中止としまし

県の疾病対策課主催のがん予防推 准員養成講習会 1名出席

国民健康保険被保険者、後期高齢 者医療被保険者へ特定健康診査・高 齢者健診の案内とがん検診の案内を 5月下旬に送付しました。

市内の商業施設等に検診ポスター 掲示やチラシの設置を行いました。

③がん予防啓発のための講座等の実施

③かんア防啓発のための講座寺	100天旭			
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 取り組み内容と今後の方向性 (令和5年3月末現在)
3. がんに関する講演会の実	· · · · ·			【健康増進課】
下記のとおり講演会を実施しました。 平成30年6月4日(木) 「胃がんについて」 講師:龍ケ崎済生会病院 消化器内科 佐藤巳喜夫 先生 参加者:47人	下記のとおり講演会を実施しました。 令和元年 12 月 11 日(水) 「便秘と検診と大腸がんについて」 講師:龍ケ崎済生会病院 消化器内科 佐藤巳喜夫先生 参加者:83 人 同日に大腸がんクイズラリーをが ん予防推進員 8 人の協力のもと実施 し、知識の普及と大腸がん検診受診 勧奨をしました。	下記のとおり講演会を実施しました。 令和2年9月10日(木) 「胃の病気について」 講師:斎藤クリニック 院長:斎藤 隆晴 先生 参加者:16人 令和2年10月8日(木) 「乳がんについて」 講師:牛尾病院 外科部長 田中 秀行 先生 参加者:15人	がんに関する講演会は、令和3年 度は実施していません。	下記のとおり講演会を実施しました。 令和4年6月9日(木) 「乳がんについて」 講師: 牛尾病院 診療部長 田中秀行 先生 参加者: 15人

加しました。

④がん検診受診率向上への取り組み								
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)				
・利用しやすい検診体制の引 ・未受診者への受診勧奨通9	田 散室での婦人科検診の受診勧奨 ジ等の活用	事業の実施		【健康増進課】				
6月十二年 1,058 通 11 知 12 1 3 1 3 1 3 1 4 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	中の婦人 一でも がいいる。 一の場別である。 一の場別である。 一でもがいいる。 一の場別である。 一のが検お対して、 一のでもでが、 のが検お対して、 大のでもできでする。 一のが検お対して、 にまでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	5 月下のでは、一次では、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	5月下旬、対象者にがん検診無料クラを記される。 子宮頸がん:846通 門がん:846通 門がん:846通 大子ですいいる。は、大子ですいいた。のう間また、に特定をしまり、大きでは、土地では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地				

に婦人科検診の受診券を配布し受診

指針の変更に伴い、平成 30 年度よ	勧奨しました。		
り 50 歳以上の方で偶数年齢の方を対			
象に新規事業で胃がん医療機関検診			
(内視鏡検査:50人)や胃がんリス			
ク検査を開始しました。			
特に、胃がん検診の勧奨を重点的			
に実施しました。また、乳幼児健康			
診査の通知に婦人科がん検診の案内			
通知を同封し、受診勧奨を実施しま			
した。			
婦人科検診での、お子さんの預か			
り保育を3回実施しました。(10人			
定員)			
8月:11人 9月:9人 3月:8			
人 保育実施			
3~4か月児健診、1歳6か月児			
健診、3歳5か月児健診にて、母親			
に婦人科検診の受診券を配布しまし			
た。			
市内の医療機関・商業施設等(飲			
食店、理容室、イトーヨーカ堂)へ			
検診ポスター掲示やチラシの設置を			
依頼しました。			

⑤がん検診要精密受診率の向上

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
5・要精密検査対象者へのパン・個別通知や電話による受診勧		_	【健康増進課】	
要精密検査対象者へは個人通知とともに必要に応じてパンフレットを同封し、受診勧奨しました。 勧奨しても未受診者の方に対しては、電話や再通知による勧奨をしました。	要精密検査対象者への個人通知とともに、茨城県登録医療機関の案内文を同封し、受診勧奨しました。また、個人通知の内容を見直し、7月からは新しい勧奨通知を送付しました。県のがん検診推進協議会ワーキンググループ会議に参加し、大腸がん検診精密検査受診率向上に向け、研究しました。	要精密検査対象者への個人通知とともに、茨城県登録医療機関の案内文を同封し、受診勧奨を行いました。 3か月程度を目途に受診の状況が確認できない未受診者へは再度受診勧奨を行いました。	要精密検査対象者への個人通知と ともに、茨城県登録医療機関の案内 文を同封し、受診勧奨をしました。 また、受診状況の確認できない方に は、電話や再通知による勧奨を行い ました。	要精密検査対象者への個人通知と ともに、茨城県登録医療機関の案内 文を同封し、受診勧奨をしました。 また、受診状況の確認できない方 には、電話や再通知による勧奨を行 いました。

基本方針2 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

取り組み分野	(1)こころの健康					
重点目標	自殺による死亡者をなくす					
成果指標				実績		(%)
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	①産後アンケート調査で9点以上だった人の割合 10.0%	5.7%	6.1%	4.5%	3.2%	5.2%
	②困った時に相談できる人がいない児童生徒の割合 小学 6 年生: 4.0% 中学 3 年生: 4.0%	_	_	_	小学6年生:6.5 中学3年生:6.3	_
	③最近1か月の間に、ストレスやイライラを感じたことがある 者の割合 60.0%	_	_	_	66.0%	_
	④自殺者数 0人	11 人	7人	16 人	14 人	14 人

具体的取り組み

①こころと体の悩みの相談体制を充実するための取り組み

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在) 令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在) 令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

1.妊娠中からメンタルヘルスの支援を電話や訪問により実施

【健康増進課】

子育て世代包括支援センターの 母子保健コーディネーターを中心 に、妊娠中からメンタルヘルスの 支援を電話や訪問により実施し、 安心して出産・育児ができるよう 支援しました。

なお、支援が必要な妊婦に対しては、ケアプランに沿って関係各課や関係機関等と連携を図りながらきめ細やかな支援につなげていきました。

妊娠8か月時電話訪問等(リスク無)延件数:

495 件

要支援妊婦電話訪問延件数:

594 件

要支援妊婦訪問指導延件数:

32件

不在等で電話や訪問で直接お話しができなかった場合には、手紙を出すことで 100%のフォローを実施しました。

子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターを中心に、 妊娠中からメンタルヘルスの支援を 電話や訪問により実施し、安心して 出産・育児ができるよう支援しまし た。

また、妊娠届出の際に、子育て世代包括支援センターの役割、出産後のフォロー体制や相談窓口をまとめた資料を配布し妊娠期から子育てを通して支援していくことを周知しました。

今年度からは、プレパパ教室の中で産後うつ、マタニティブルーへの家族でできる予防方法や早期発見方法について講話しました。

妊娠8か月時電話訪問等(リスク無)延件数:

524 件

要支援妊婦電話訪問延件数:

要支援妊婦訪問指導延件数:

16件

不在等で電話や訪問で直接お話しができなかった場合には、手紙を出すことで100%のフォローを実施しまた。した。

子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターを中心に、 妊娠中からメンタルヘルスの支援を 電話や訪問により実施し、安心して 出産・育児ができるよう支援しました。

また、妊娠届出の際に、子育て世代包括支援センターの役割、出産後のフォロー体制や相談窓口をまとめた資料を配布し妊娠期から子育て期を通して支援していくことを周知しました。

プレパパ教室の中で産後うつ、マ タニティブルーへの家族でできる予 防方法や早期発見方法についてお伝 えしました。

妊娠8か月時電話訪問等(リスク無)延件数:324件

要支援妊婦電話訪問延件数:

446 件

要支援妊婦訪問指導延件数: 24 件

不在等で電話や訪問で直接お話できなかった場合には、手紙を出すことで100%のフォローを実施しました。

子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターを中心に、 妊娠中からメンタルヘルスの支援を 電話や訪問により実施し、安心して 出産・育児ができるよう支援しました。

また、妊娠届出の際に、子育て世代包括支援センターの役割、出産後のフォロー体制や相談窓口をまとめた資料を配布し妊娠期から子育て期を通して支援していくことを周知しました。

プレパパ教室の中で産後うつ、マタニティブルーへの家族でできる予防方法や早期発見方法についてお伝えしました。

妊娠8か月時電話訪問等(リスク 無)延件数:372件

要支援妊婦電話訪問延件数:

171 件

要支援妊婦訪問指導延件数:

33 件

不在等で電話や訪問で直接お話できなかった場合には、手紙を出すことで100%のフォローを実施しました。

子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターを中心に、 妊娠中からメンタルヘルスの支援を 電話や訪問により実施し、安心して 出産・育児ができるよう支援しました。

また、妊娠届出の際に、子育て世代包括支援センターの役割、出産後のフォロー体制や相談窓口をまとめた資料を配布し妊娠期から子育て期を通して支援していくことを周知しました。

プレパパ教室の中で産後うつ、マ タニティブルーへの家族でできる予 防方法や早期発見方法についてお伝 えしました。

妊娠8か月時電話訪問等(リスク無)延件数:377件

要支援妊婦電話訪問延件数:

409 件

要支援奸婦訪問指導延件数:

11 件

不在等で電話や訪問で直接お話できなかった場合には、手紙を出すことで100%のフォローを実施しました。

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)
2・産婦全員に乳児家庭全戸	【健康増進課】			
赤ちゃん訪問や産後健診時の際に エジンバラの健康状態の性康を関連を選び、心受いいのででででででででででででででででででででででできます。 まずいでででできますが、まずいでででできます。 まずいでできますが、まずいででできます。 まずいでできますが、まずいででできます。 は、、は、、は、、は、、は、は、、は、は、、は、は、、は、は、は、は、は、は	赤ちっけいでは、 ででが、 ででがなが、 ででがは、 ででは、 ででは、 ででがは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でで	またい。 赤ちうは、 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	までは、 ででがままになどを ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででがままになどを ででは、 ででは、 ででは、 ででがままになどを ででは、 ででは、 ででがままい。 ででは、 ででがままい。 ででがまままい。 ででがまままい。 ででがまままい。 ででがまままい。 ででがままままでは、 ででがまままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままできでがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがままでは、 でがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまでがまで	赤ちゃら では、

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

3・こころと体の悩みや不登校の相談体制の充実

【教育センター】

不安や悩みをもつ児童生徒が前向 きに学校に登校できるように、学校 や保護者との連携を図りながら、教 育相談員8人が専門性を活かし相談 活動を展開しました。

【相談回数】5,018回

【相談内容】

○不登校: 3.860 回 ○集団不適応:96回

○対人行動:113回

○いじめ:9回 ○進路:30回

○特別支援:608回 ○就学相談:181回 ○その他:121回

また、学校教育相談員(1人) は、主に学校運営や教職員に関する 相談活動を展開しました。

【相談回数】227回

不安や悩みをもつ児童生徒が前向 きに学校に登校できるように、学校 や保護者との連携を図りながら、教 育相談員8人が専門性を活かし相談 活動を展開しました。

【相談回数】 5.425 回

【相談内容】

○不登校: 2.629 回 ○集団不適応: 358回 〇対人行動: 111 回 ○いじめ: 6 回 ○進路: 67 回 ○特別支援: 612回 ○就学相談: 333 回 ○その他: 102回

また、学校教育相談員(1人)に よる学校運営や教職員に関する相談 活動やSNSによる相談活動を展開 しました。

- ○学校教育相談員による相談
- · 相談回数: 327 回
- ○SNSによる相談(新規事業)
 - ・相談等の件数 36件

不安や悩みをもつ児童生徒が前向 きに学校に登校できるように、学校 や保護者との連携を図りながら、教 活動を展開しました。

【相談回数】 5.593 回 【相談内容】

3.985 回 ○不登校: ○学校生活·集団不適応:

○対人行動: ○いじめ: ○進路:

○家庭 50 回 ○障がい・発達 ○就学相談:

○その他:

また、学校教育相談員(1人)に よる学校運営や教職員に関する相談 活動やSNSによる相談活動、日本 語が困難な児童生徒に対し日本語指 導を展開しました。

- ○学校教育相談員による相談
- · 相談回数: 376 回
- ○SNSによる相談
 - ・相談等の件数 43件
- ○日本語指導人数
 - · 児童 10 人 · 生徒 7 人

不安や悩みをもつ児童生徒が前向 きに学校に登校できるように、学校 や保護者との連携を図りながら、教 活動を展開しました。

【相談回数】 5.181 回 【相談内容】

○不登校: 3.669 回

300 回 ○対人行動:

72 回 〇いじめ: 2回 〇家庭 27 回 〇家庭

○障がい・発達 577 回 〇特別支援:

315 回 ○ 就学相談: 96 回 ○その他:

> また、学校教育相談員(1人)によ る学校運営や教職員に関する相談活 動やSNSによる相談活動、日本語 が困難な児童生徒に対し日本語指導 を展開しました。

- ○学校教育相談員による相談
- ·相談回数:414 回
- ○SNSによる相談
- ・相談等の件数 26件
- 〇日本語指導人数
 - · 児童 16 人 · 生徒 2 人

市スクールソーシャルワーカー派 遣により、児童生徒及び保護者の生 活環境等の相談と環境へのアプロー チも含めた支援を行いました。

- ○スクールソーシャルワーカーによ る相談回数
 - ·児童生徒·保護者 683 回

・ケース会議 94回

不安や悩みをもつ児童生徒が前向 きに学校に登校できるように、学校 や保護者との連携を図りながら、教 育相談員 11 人が専門性を活かし相談 | 育相談員 11 人が専門性を活かし相談 | 育相談員 11 人が専門性を活かし相談 活動を展開しました。

> 【相談回数】 4.503 回

【相談内容】

○不登校: 3.134 回

196回 ○学校生活・集団不適応: 272回 ○学校生活・集団不適応: 129 回 385 回 ○対人行動: 460 回

11 回 ○いじめ: 0 回 8 回

89 回 | ○障がい・発達 48 回

361 回 〇特別支援: 364 回 314 回 ○就学相談: 320回

53 回 ○その他: 40 回

> また、学校教育相談員(1人)によ る学校運営や教職員に関する相談活 動やSNSによる相談活動、日本語 が困難な児童生徒に対し日本語指導 を展開しました。

- ○学校教育相談員による相談
- · 相談回数: 146 回
- ○SNSによる相談
 - ・相談等の件数 47件
- ○日本語指導人数
- · 児童 22 人 · 生徒 4 人

市スクールソーシャルワーカー派 遣により、児童生徒及び保護者の生 活環境等の相談と環境へのアプロー チも含めた支援を行いました。

- ○スクールソーシャルワーカーによ る相談回数
 - ・児童生徒・保護者 1,195 回
 - ・ケース会議 101 回

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在) 4・うつや精神疾患に関する相談、個別支援 自立支援協議会主催の市民向け精 神障がいセミナー「心の病は突然 やってくる 病とともに地域で暮ら す」を開催しました。当日は、精神 保健福祉士を配置し、精神疾患に関 する相談窓口も設置しました。 日時: 6月19日(火) 13 時半~15 時 場所:馴柴コミュニティセンター

令和元年度 令和2年度 活動実績及び成果 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在) (令和2年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

【障がい福祉課】

茨城県主催のゲートキーパー指導 者養成講座研修会に参加し、希死念 慮がある方に対する対応の仕方につ いて学びました。

日時: 令和元年8月22日 場所:精神保健福祉センター

9月の自殺予防週間には、メンタ ルヘルス相談会を行い、保健師、精 神保健福祉士が相談者の悩みに寄り 添い、時間をかけて対応することが

日時:令和元年9月11日(水) 午後1時~4時

場所:中央図書館2階鑑賞室

参加人数:2人

日時:令和元年9月12日(木) 午前 10 時~正午

参加人数:1人

平成31年3月に自殺対策計画「龍 場所: 市役所附属棟2階会議室 ケ崎市いのち支える自殺対策計画 ~ 生きる喜びを実感できるまち~ 」 を策定しました。

龍ケ崎市見守りネットワーク協力

者、協力団体を対象に「見守り活動

と自死予防の推進のために」を開催

し、自殺につながる精神疾患の気づ

き方や声かけの仕方などを学んでも

場所:龍ケ崎市文化会館 小ホール

日時:平成31年2月8日(火)

10 時~11 時半

参加人数:84人

らいました。

参加人数:65人

精神保健福祉十・社会福祉十・保 健師がそれぞれの立場から、本人や 家族、近隣住民からの精神疾患に関 する相談に電話・窓口で随時対応 し、相談内容に応じては、関係機関 と連携を取りながら、支援しまし

様々な相談に対応できるように、 各種精神保健対策関連の研修へ参加 しました。

できました。

随時、社会福祉課の窓口、電話で 精神疾患に関する相談に対応し、必

要に応じて他課や関係機関と連携を 取り個別支援を行いました。

3月の自殺予防月間にメンタルへ ルス相談会を企画し、広報で周知を しましたが、新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため、中止しまし

9月の自殺予防週間には、メンタ ルヘルス相談会を行いましたが、相 談者は来所されませんでした。

日時:令和2年9月14日(月) 午後1時30分~4時

場所:附属棟1階第会議室

傾聴ボランティア 31 人にゲート キーパー講座を実施し、自殺の危険 因子や対応のポイントについての講 義を行いました。

日時:令和2年11月5日(木) 午後1時30分から3時

場所:附属棟1階会議室

随時、社会福祉課の窓口、電話で 精神疾患に関する相談に対応し、必 要に応じて他課や関係機関と連携を 取り個別支援を行いました。

様々な相談に対応できるように、 各種精神保健対策関連の研修へ参加 しました。

9月の自殺予防週間にメンタルへ ルス相談会を実施しました。

日時:令和3年9月16日(木) 午前9時30分~午後3時

場所:附属棟1階

3月の自殺対策強化月間にメンタ ルヘルス相談会を実施しました。

日時: 令和4年3月18日(金) 午後1時30分~午後3時

場所:附属棟2階

シルバーリハビリ体操指導員、民 生委員・児童委員に対して 12 月~3 月にゲートキーパー講座を計7回実 施しました。

参加人数 延べ 142 人

随時、社会福祉課の窓口、電話で 精神疾患に関する相談に対応し. 必 要に応じて他課や関係機関と連携を 取り個別支援を行いました。

3月の自殺対策強化月間にメンタ ルヘルス相談会を実施しました。

日時:令和5年3月20日(月) 午前 10 時~午後 4 時

場所:附属棟1階

ケアマネジャー、教員、龍ケ崎市 社会福祉協議会職員等に対して7月 ~3月にゲートキーパー講座を計4 回実施しました。

参加人数 延べ 171 人

随時、社会福祉課の窓口、電話で 精神疾患に関する相談に対応し、必 要に応じて他課や関係機関と連携を 取り個別支援を行いました。

取り組み分野	(2) 高齢者の健康							
重点目標	・社会貢献活動等に参加するなどして、外出の機会を増やす取り組みを行なう。 ・高齢者自らが、自主的、かつ継続的に介護予防に取り組める体制づくり。							
成果指標	実績					(%)		
	目標値(令和3年度)(2021年度)		平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)	
	① 元気アップ体操指導員の人数	45 人	39 人	45 人	41 人	41 人	39 人	
	① シルバーリハビリ体操指導士数	80 人	76 人	81 人	78 人	78 人	70 人	
	② 傾聴ボランティア数	40 人	35 人	37 人	34 人	33 人	29 人	
	③ 元気アップ体操延べ参加者数	7,000 人	7,121 人	6,292 人	3,106 人	4,629 人	6,815 人	
	④ いきいきヘルス体操教室延べ参加者数	25,000 人	19,492 人	18,745 人	5,841 人	6,425 人	13,195 人	

具体的取り組み

①社会貢献活動への参加

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)			
1 元気アップ体操指導員中央研修会の開催 【健康増進課】							
元気アップ体操指導員への支援として健康運動指導士による研修会を2か月に1回開催しました。年間予定に基づき健康運動指導士から筋力トレーニングや有酸素運動などの詳細な指導を受けました。全6回 176人参加	元気アップ体操指導員への支援として健康運動指導士による研修会を2か月に1回開催しました。年間予定に基づき健康運動指導士から筋カトレーニングや有酸素運動などの詳細な指導を受けました。全5回 108人参加3月開催予定の研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。	元気アップ体操指導員への支援として行う健康運動指導士による研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から4回(7・9・11・3月)開催し、筋カトレーニングなどの詳細な指導を受けました。108人参加	元気アップ体操指導員への支援として健康運動指導士による研修会を開催しました。開催回数:4回(7月・11月・1月・3月)参加者数;105人新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、5月及び9月の研修会は中止しました。	元気アップ体操指導員への支援と して健康運動指導士による研修会を 開催しました。 開催回数:6回(5月・7月・9 月・11月・1月・3月) 参加者数;147人			

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)			
2・元気アップ体操指導員養成	2・元気アップ体操指導員養成講座の開催 【健康増進課】						
元気アップ体操指導員養成講座を2年に1回実施しており、平成29年度に開催したため、次回は平成31年度(2019年)に開催する予定です。	令和元年度元気アップ指導員養成 講座を開催しました(10月~12月 全10回開催)。 修了人数:10人	元気アップ体操指導員養成講座を 2年に1回実施しており、令和元年 度に開催したため、次回は令和3年 度(2021年)に開催する予定です。	元気アップ体操指導員養成講座を開催しました。(全5回・11月~12月) 前回までとの変更点は、講習を全 5回としたことです。(1回の講習が半日から1日となりました。) 修了人数:3人	元気アップ体操指導員養成講座を 2年に1回実施しており、令和3年 度に開催したため、次回は令和5年 度(2023年)に開催する予定です。			
3・シルバーリハビリ体操指	導士養成講座の開催			【健康増進課】			
シルバーリハビリ体操指導士養成は、1級指導士3人が講師となり、3級指導士養成講座を開催しました。 講座終了後、6人の方が指導士会に入会しました。 (シルバーリハビリ体操指導士会員数:76人)	令和元年度3級指導士養成講座を開催しました。 講座終了後、4人の方が指導士会に入会しました。 (シルバーリハビリ体操指導士会員数81人)	1級シルバーリハビリ体操指導士 養成講座が開催され、4人の指導士が 受講をしましたが、新型コロナウイル ス感染症感染拡大防止のため、県立 健康プラザ会場の実習が中止となり ました。プラザでの実習が再開次第、 受講再開予定です。 令和2年度3級指導士養成講座を 開催予定でしたが、新型コロケイルス感染症感染拡大防止のため、中 止となりました。来年度秋以降に実 施予定です。	人受講していましたが、1人体調不良により、受講中断となり、修了者は3人となりました。 3級指導士養成講座は、上記の新	令和4年度3級指導士養成講座を 開催しました。 5人受講し、講座終了後、3人の 方が指導士会に入会しました。 (シルバーリハビリ体操指導士会 員数70人)			

②自主的、かつ継続的に介護予防に取り組む体制づくり

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)
4.健康ウォーキング講座				【健康増進課】
かまたいでは、 のは、 のは、 のは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	大のでは、 、のでは、 大のでは、 、のでは、 大のでは、 、のでは、	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全講座を中止としました。	「健幸ウオーキング講座」を5月 ~6月を3月に開発した。 「日本での会別では、1年のでは	「健幸ウォーキング講座」を5月 ~6月及び11月に開催し、ウォーキングの選問である。 市内が開催しての講話を 市内が開催してのはないです。 「第1回(5月~6月)] 開催(1回) 1回中止 参加が、1回中止 参加が、10回(今日)] 開催(1月)] 開催(1月)] 開催(1月)] 開催(1月)] 開催(1月)] 開催) 第2回(今日) 1日) 1日) 1日) 1日) 1日) 1日) 1日) 1日) 1日) 1

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)
5.思い出を語ろうかい				【福祉総務課】
グループ回想法「思い出を語ろうかい」を傾聴ボランティアが中心となり8会場9教室で実施しました。 [実施場所]総合福祉センター・交流サロンりゆう・元スクエアカスミ龍ケードスクエアカスミ龍ケ中里店・地域福祉会館・石引サロン・ウエルシア龍ケ崎緑町店	傾聴ボランティアの方への活動支援を行いました。 また、新規会場の増設についても、ボランティアの方と検討します。既存の教室への参加等で周知を図りました。 「傾聴ボランティア養成講座]開催日:11月29日・12月26日開催回数:2回参加番数(延べ):17人 「傾聴ボランティアすか」で別で同様で別がある。 「傾聴ボランティアする」を対していた。 「傾応が、これである。」では、アフォローアップ研修」 開催日:12月参加者数:25人	定例会(3回)・リーダー会(3回)を開催し、傾聴ボランティの方への活動支援を行います。また、既存の教室の参加者を増やした。 「傾聴ボランティア定例会]開催回数(延べ):83人 「傾唱数・ディアリーダー会]開催回数:2回参加者数(延べ):19人	定例会(1回)・リーダー会(3回)を開催し、傾聴ボランティの方への活動支援を行いました。また、既存の教室の参加者を増やしていくために、周知を図りました。コロ対を減らしてアウルでのでは、「側には、「側には、「側には、「側には、「側には、「側には、「側には、「側に	に関係を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でのの数では、ののでである。 では、ののでである。 では、ののでである。 では、ののでである。 では、では、ののでである。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で

6・いきいき健康倶楽部

【福祉総務課】

傾聴ボランティアが中心となり、 脳トレ(読み・書き・計算など)を 1 会場2 教室で実施しました。 [実施場所] 交流サロンりゅう

傾聴ボランティアが中心となり、 脳トレ(読み・書き・計算など)を 1 会場 2 教室で実施しました。 [実施場所] 交流サロンりゅう

傾聴ボランティアが中心となり、 脳トレ(読み・書き・計算など)を 1会場2教室で実施します。 「実施場所]

[実施場所] 交流サロンりゅう 傾聴ボランティアが中心となり、脳トレ(読み・書き・計算など)を1会場2教室で実施しました。

[実施場所]

交流サロンりゅう

コロナウイルス感染症拡大防止の ため、人数制限等を設けて実施しま した。

> 毎週 火・水で実施 76 回実施 236 人参加

コロナウイルス感染症拡大防止の ため、会場の利用人数制限があり、 脳トレ(読み・書き・計算など)を 「思い出を語ろうかい」の中で実施 しました。

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)
7・いきいきヘルス(シルバ-	ーリハビリ)体操教室の開催			【健康増進課】
いきいきヘルス(シルバーリハビ リ)体操をシルバーリハビリ体操指 導士会が主体となり、各コミュニ ティセンターや集会所等、45 会場 51 教室で実施しました。	シルバーリハビリ体操指導士会への活動支援を行います。各1 会場教室で実施しました。参加者数が少なをするともに、参加者数が少なが多といる会場をするといる会場をすると協力との取り組みを指導士会と協力にあました。7月にショッピングセンターサプラを会場に体験会を行い、8月から新規増設しました。実施回数:月2回参加者数:197人(8月~11月)	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、6月まよりましたが、7月より動きは、7月よりで可能な範囲で活動を再開しました。 しかし、令和3年1月から2月末にかけても活動体止となり、年度きませんでした。	新型コロナウイルス感染症感染拡 大防止のため、5月~6月末及び8 月~9月末ならびに令和4年1月~ 2月末にかけ活動休止しました。 昨年度に引き続き、体操教室での 活動や体操普及活動など、制限があ る中での活動となりました。	いきいきヘルス(シルバーリハビリ)体操をシルバーリハビリ体操指導士会が主体となり、各コミュニティセンターや集会所等、48 会場49 教室で実施しました。
8・元気アップ体操の開催				【健康増進課】
元気アップ体操指導員主体のもと、各コミュニティセンター等で実施しました。新たに2会場で開催されるようになりました。	元気アップ体操指導員主体のもとに各コミュニティセンター等で実施しました。新たに1会場で開催されるようになりました。	元気アップ体操指導員が主体となり、各コミュニティセンター等で 施しています。 今年度は新型コロナウイルス感染 症感染拡大防止のため、6月までは 活動自粛となりましたが7月より 染防止策を講じた上で可能な範囲で 活動を再開しました。	元気アップ体操指導員が主体となり、各コミュニティセンター等で実施しました。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、公共施設が休館等となり、8月~9月末にかけ活動自粛となりましたが10月より感染防止策を講じた上で可能な範囲で活動を再開しました。	元気アップ体操指導員主体のもと、各コミュニティセンターや集会所等、19 会場 28 教室で実施しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末まで)
(平成31平3月末現住)	(节和2年3月末先往)	(市和3平3月本先生)	(市和4平3月本党往)	(市和5平5月末まで)
			1	
9・食生活改善推進員による語	高齢者のための料理の知識や実践)	方法の普及活動		【健康増進課】
			A	
事業の見直しを行い、元気アップ	ロコモティブシンドローム・骨粗	ロコモティブシンドローム・骨粗	食生活改善推進員協議会は令和3	
体操参加者への料理講習会は廃止し	しょう症予防教室参加者へ栄養の講	鬆症予防教室参加者への試食は新型	年度より休会の結果、令和3年度を	
体操参加者への料理講習会は廃止しました。	しょう症予防教室参加者へ栄養の講 話・試食を行い、毎日の食事でカル	鬆症予防教室参加者への試食は新型 コロナウイルス感染症感染拡大予防	年度より休会の結果、令和3年度を もって龍ケ崎市食生活改善推進協議	
体操参加者への料理講習会は廃止しました。 ロコモティブシンドローム・骨粗	しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカルシウムを意識してとるように知識の	鬆症予防教室参加者への試食は新型 コロナウイルス感染症感染拡大予防 のため、中止としました。	年度より休会の結果、令和3年度を もって龍ケ崎市食生活改善推進協議 会は全国及び茨城県食生活改善推進	
体操参加者への料理講習会は廃止しました。 ロコモティブシンドローム・骨粗 しょう症予防教室参加者へ栄養の講	しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカルシウムを意識してとるように知識の 普及に努めました。	鬆症予防教室参加者への試食は新型 コロナウイルス感染症感染拡大予防 のため、中止としました。 会員より高齢者向けのテキスト	年度より休会の結果、令和3年度を もって龍ケ崎市食生活改善推進協議	
体操参加者への料理講習会は廃止しました。 ロコモティブシンドローム・骨粗 しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカル	しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカルシウムを意識してとるように知識の	鬆症予防教室参加者への試食は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、中止としました。 会員より高齢者向けのテキスト「シニアカフェ ドリル&メニュー」	年度より休会の結果、令和3年度を もって龍ケ崎市食生活改善推進協議 会は全国及び茨城県食生活改善推進	
体操参加者への料理講習会は廃止しました。 ロコモティブシンドローム・骨粗しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカルシウムを意識してとるように知識の	しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカルシウムを意識してとるように知識の 普及に努めました。	鬆症予防教室参加者への試食は新型 コロナウイルス感染症感染拡大予防 のため、中止としました。 会員より高齢者向けのテキスト	年度より休会の結果、令和3年度を もって龍ケ崎市食生活改善推進協議 会は全国及び茨城県食生活改善推進	
体操参加者への料理講習会は廃止しました。 ロコモティブシンドローム・骨粗 しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカル	しょう症予防教室参加者へ栄養の講話・試食を行い、毎日の食事でカルシウムを意識してとるように知識の 普及に努めました。	鬆症予防教室参加者への試食は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、中止としました。 会員より高齢者向けのテキスト「シニアカフェ ドリル&メニュー」	年度より休会の結果、令和3年度を もって龍ケ崎市食生活改善推進協議 会は全国及び茨城県食生活改善推進	

基本方針3 健康を支え守るための社会環境の整備

取り組み分野	(1)健康づくり支援						
重点目標		食生活改善推進員の数を増やす ボランティアの育成・地域活動の推進					
成果指標					実績		(%)
	目標値(令和3年度)	(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	①食生活改善推進員数	38 人	39 人	35 人	15 人	15 人	_
	②がん予防推進員数	50 人	50 人	50 人	48 人	48 人	39 人

具体的取り組み							
①・ボランティアの育成、地域	活動の推進						
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)			
1・食生活改善推進員の養成、石	研修会の開催 アルマン アルファイ			【健康増進課】			
食生活改善推進員向けの研修会を 5回開催しました。 親子料理教室向けの研修会と、茨城食文化伝承事業の研修会を実施	食生活改善推進員向けの研修会を 2回開催しました。 親子の料理教室向けの研修では、 子どもの頃から濃い味に慣れてしま	食生活改善推進員向けの研修会を 3回開催しました(うち1回は書面 開催)。 1回目については新型コロナウイ	食生活改善推進員協議会は令和3 年度より、休会していますが、会員 向けの研修会を1回開催しました。 女子学養大学講師経験者を講師に招				

し、推進員全体のスキルアップを図 りました。

開催回数 4 回 延べ参加者 120 人

うと体への負担も大きく、将来生活 |家族で減塩を心がけることの必要性 |についてとレシピを配布しました。| を伝達しました。

茨城食文化伝承事業のための研修 毎日の食事にどのように取り入れれ ば効率よく栄養を摂取できるか、また。 た野菜の持つ多くの力について伝達 しました。

開催回数2回 延べ参加人数57人

ルス感染症の流行により中止とし、 習慣病のリスクも高まるので今から │代わりに龍ケ崎市民健康状態の現状 │をしていただき、現会長により会の

研修会は2回開催しました。防災 た。 士兼管理栄養士の資格を持っている 会では、地域で穫れた新鮮な野菜を|講師より、災害時の食事の作り方や 食べ方について教示いただきまし

> また、大塚製薬株式会社の管理栄 養士よりコロナに負けない免疫を高 める食事について教示いただきまし

開催回数3回 延べ参加人数76人

Ⅰ回目については新型コロナワイ |女子宋養天字講師経験者を講師に招 いて、学校現場の食育について講話 歴史について話をしていただきまし

> また、龍ケ崎市食生活改善推進協 議会は令和3年をもって全国及び茨 城県食生活改善推進員協議会を退会 しました。

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
2・がん予防推進員の養成、研	研修会の開催			【健康増進課】
現会員向けに6月に研修会を開催しました。「胃がん医療機関検診」についての説明、意見交換会を実施しました。参加者17人(推進員:50人)県主催のがん予防推進員養成講座に9人の方が参加しました。市民の参加を増やすために、市広報紙などで参加者を募集しました。(市広報紙10月号に掲載)	がん予防推進員の中央研修会を、6月に実施しました。がん検診ととれるとでではました。がの後さと中ででは、チラシの配布等を通していたの健診受診勧奨を依頼しました。内容:・市が実施するがん検診につい体診・乳がんせルフチェックデモン・がん予防推進員によるがん体験・乳がんセルフチェックデモントレーション(講師:看護学生)研修会欠席者には、エを受けるでは、一般会欠の配布を依頼しました。参加者:19人(推進員数:55人)	例年実施している、がん予防推進員の中央研修会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止としました。 その際、がん検診が7月から実施予定の周知用チラシを作成し、推進員の通知に同封しました。 県の疾病対策課主催のがん予防推進員養成講習会は中止。	がん予防推進員の中央研修会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。	がん予防推進員の中央研修会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。 県の疾病対策課主催のがん予防推進員養成講習会 1名参加

基本方針4 生活習慣及び社会環境の改善

取り組み分野	(1) 栄養・食生活					
重点目標	・生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進 ・食育等を通じた子どもの健康づくり ・20 歳代・30 歳代を中心とした若い世代への食育の推進					
成果指標				実績		(%)
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	①全出生数中の低体重児の割合(2,500g 未満) 9.0%	10.5	8.2	8.1	5.9	7.1
	② 1 歳 6 か月児健康診査のカウプ指数 18.6 以上の割合 3.0%	1.7	3.0	0.9	2.4	3.1
	③身体測定結果において肥満である児童生徒の割合 児童:6.0%(6 年生:7.0%) 生徒:9.0%(3 年生:7.0%)	児童: 7.9% (6 年生 10.0%) 生徒: 10.0% (3 年生: 8.4%)	児童: 8.3% 生徒:11.3%	児童:11.0% 生徒:13.0%	児童:10.5% 生徒:12.5%	児童:13.9% 生徒:13.2%
	④20 歳~60 歳代男性の肥満の割合 28.0% (国:H34 28.0%)	_	_	_	37.2	_
	⑤40歳~60歳代女性の肥満の割合 19.0% (国: H34 19.0%)	_	_	_	20.7	_
	⑥20 歳代女性のやせの割合(BM18.5 未満)11.0%(国:H34 20.0%)	_	_	_	14.8	_
	⑦65 歳~74 歳の BMI≦20 の割合 15.0%以下	14.0	18.2	16.6	19.1	
	⑧主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上している人の割合 81.0%	_	_	_	73.4	_
	⑨乳製品を毎日たべている人の割合 51.0%	_	_	_	51.9	_
	⑩毎日朝食を食べていると答えた児童生徒の割合 95.0%以上	児童:95.4 生徒:92.5		新型コロナ ウイルスの 為実施なし	児童:95.3 生徒:93.0	児童:90.0 生徒:90.6
	①朝食を欠食する人の割合(20 歳代) 男性:20% 女性 25%	_	_	_	男性:41.7 女性:39.3	_
	⑫朝食を欠食する人の割合(30歳代) 男性:40% 女性 15%	_	_	_	男性:25.0 女性:17.8	_
	③26 週頃の妊婦健康診査のヘモグロビン 11 g /dl 未満の割合 (貧血の早期発見) 35.0%	40.2	41.9	34.4	35.0	39.6
	⑭26 週頃の妊婦健康診査の血糖値 100 mg/dl 以上の割合(妊婦糖尿病の早期発見)(再掲)33.0%	42.4	45.6	39.9	41.7	43.4

⑮離乳食教室(5~6か月)の参加率	40.9%		35.0	38.2	29.2	28.2	35.2
⑯野菜などを植付け(栽培)・収穫・調理の 園・認定こども園数 18 施設)体験型食育を行っ	た保育園・幼稚	18 施設	18 施設	18 施設	21 施設	18 施設
⑪児童生徒1人当たりの給食食べ残し量	児童:35.0 g	生徒:40.0 g	児童:21.8g 生徒:40.8g	児童:30.5g 生徒:43.5g	児童:26.6g 生徒:36.6g	児童:32.5g 生徒:40.6g	児童:34.9g 生徒:48.6g
⑱学校給食での塩分摂取量	小学校:2.5 g	中学校:3.0g	小学校: 2.7 g 中学校: 3.1 g	小学校: 2.4 g 中学校: 2.9 g	小学校: 2.1 g 中学校: 2.9 g	小学校:2.4g 中学校:2.8g	小学校:2.3g 中学校:2.7g
⑨「地産地消」を知っていると回答した割合 小学6年生:66.5%		%	_	_	_	小学 6 年生: 78.7% 中学 3 年生: 91.6%	_
②学校給食における地場産品を使用する割合	50.0%		74.3	69.8	55.2	68.7	68.6

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成 (令和3年3月末ま
1 ・母子健康手帳交付時に妊娠	最前の BMI を把握し保健指導	
ました。 また、糖尿病の家族歴がある方に ついては、糖尿病についての保健指 導を行い、生活習慣病の発症予防に 努めました。	BMI を確認し、日常生活(特に食生活)においての保健指導を実施しました。また、糖尿病の家族歴がある方については、糖尿病が与える影響についての保健指導を行い、生活習慣病の発症予防に努めました。妊娠届出数:451 BMI18.5 未満:37人(8.2%) BMI 25.0 以上:40人(8.7%)	BMI を確認し、日常生活等においてのの保証のでは、日常生活等にないでは、

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

【健康増進課】

まに食 実施し

る方に 保健指 予防を 管理の いまし

368 件

6) %)

矢歴に 手帳を 重話に 養指導 手帳を 化を図

BMIを確認し、日常生活(特に食 生活)においての保健指導を実施し しました。

また、糖尿病の家族歴や妊娠糖尿 病歴、高齢出産の方については、糖 尿病についての保健指導を行い、生 活習慣病の発症予防を目的に、妊娠 前期からの体重管理の必要性につい て周知啓発を行いました。

妊娠届数(転入者含む):394人 BMI 18.5 未満: 31 人(7.9%) BMI 25.0 以上: 56 人(14.2%)

さらに、お食事手帳を配布し、管 理栄養士が面談や電話にて、お食事 手帳に基づいた栄養指導を行いまし た。

また、栄養指導を実施した方につ いては、医療機関に報告し医療機関 との連携強化を図りました。

お食事手帳配布数:177人 栄養指導者数:159人

妊娠前の BMI を確認し、日常生活 (特に食生活)においての保健指導 を実施ししました。

妊娠届数(転入者含む):394人 BMI 18.5 未満: 38 人(9.6%) BMI 25.0 以上: 77 人(19.5%)

リスク妊婦 (BMI 25.0 以上、BMI 18.5 未満、糖尿病家族歴、妊娠糖尿 病既往、妊娠高血圧症候群既往、40 歳以上)については、管理栄養士が 妊娠中の様々なリスクを抑えるため に、妊娠前期からの体重管理の必要 性についてお食事手帳を利用し、周 知啓発を行いました。

また、栄養指導を実施した方につ いては、医療機関に報告し医療機関 との連携強化を図りました。

お食事手帳配布数:167人 栄養指導者数:138人

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

2 ・ 各乳幼児健康診査における食事指導

【健康増准課】

各幼児健診時(1歳6か月、3歳 5か月)に、問診票に基づいて、管 理栄養十による食事指導を実施しま した。

3~4か月児健診では、離乳食の 集団栄養指導の際に、保護者が1日 3食バランスよく食べるために、野 菜を取り入れやすいポイントを指導 しました。

1歳6か月児健診では、生活リズ ムを整え、1日の栄養を3食と間食 で補うためのポイントを指導してい ます。その中で、甘いものの摂取が 児の体に与える影響についてもお話 ししました。

各乳幼児健診時(3~4か月、1 歳6か月、3歳5か月)に、「塩分 チェックシート」を保護者に記入し てもらい、家庭での減塩の動機づけ を行いました。塩分量が多い保護者 に対しては、管理栄養士から個別指 導を実施しました。

保護者の塩分チェックシートの点 数に応じた食事指導及び児の年齢に あった食事について、管理栄養士が 集団及び個別にて指導を実施しまし た。

健診受診者保護者の塩分摂取平均: 11.2g(全国平均 9.9g)

〈全国平均参考文献:平成29年国民健 康・栄養調査結果の概要より>

各乳幼児健診時(3~4か月児・ 1歳6か月児・3歳5か月児の全 員) に、問診票に基づき管理栄養十 による食事指導を保護者に実施しま Lt-.

2歳6か月児歯科健診・4歳眼の 健診については、必要に応じて個別 による食事指導を行いました。

3~4か月児健診では、離乳食 の集団栄養指導の際に、保護者が1 日3食バランスよく食べるために、 野菜を取り入れやすいポイントを指 導しました。

また、母親の妊娠中の経過を確認 し、糖や蛋白などがみられた場合、 産後気をつけることについて説明し ました。

1歳6か月児健診では、生活リズ ムを整え、1日の栄養を3食と間食 で補うためのポイントを指導してい ます。その中で、甘いものの摂取が 児の体に与える影響についてもお話 ししました。

各乳幼児健診時(3~4か月、1 歳6か月、3歳5か月)に、「塩分 チェックシート」を保護者に記入し てもらい、家庭での減塩の動機づけ を行いました。塩分量が多い保護者 に対しては、管理栄養十から個別指 導を実施しました。

保護者の塩分チェックシートの点 数に応じた食事指導及び児の年齢に あった食事について、管理栄養士が 集団及び個別にて指導を実施しまし

健診受診者保護者の塩分摂取平

新型コロナ感染対策として、健診 時間の短縮を図るため、問診により 栄養指導が必要と判断した保護者に 対して、各乳幼児健診において、管 理栄養士が栄養指導を行いました。

また、健診日に指導が受けられな い方については、こどもの健康相談 を利用して、栄養指導を行いまし

1歳6か月児健診は、離乳食完了 となる時期で、食習慣の基本となる 時期であることから、食事に関する チラシを作成し配付しました。

また、併せて、保護者記載の塩分 チェック表を基に、保護者への塩分 摂取について保健指導を行いまし

1歳6か月児健診、3歳5か月児 健診時、すべてのお子さんに対し て、歯科衛生士がおやつや甘い飲み 物等についての保健指導を行いまし

健診受診者保護者の塩分摂取 平均:10.9g(全国平均9.9g) <全国平均参考文献:平成29年国民 健康・栄養調査結果の概要より>

乳幼児への食事指導だけでなく、 妊娠中及び出産後の母親の尿検査や 血圧の値等も確認し、個々にあった 保健指導を実施しました。

3~4か月児健診ではグループご 集団講話を実施しました。

実施者数:309 人

母子健康手帳の記録から妊娠中の 経過を確認し、必要な方には食事に│別での指導を実施しました。母子健 ついての指導を個別に実施しまし、康手帳の記録から妊娠中の経過を確 た。塩分チェック表で塩分の過摂取 | 認し、必要な方には食事についての が考えられる方や血圧高値の保護者」指導を個別に実施しました。塩分 には減塩等の指導を個別に実施しましましまで塩分の過摂取が考えら した。

6~7か月健診(コロナ感染症拡 大の影響で本来集団健診であった3 ~4か月児健診を医療機関で受診し た児対象) では離乳食初期のポイン トの確認と、今後の流れについて管 理栄養士による集団講話を実施しま

実施者数:22人

食事形態や適量が分かるように、 月齢による食品の見本を提示しまし た。離乳食に関する資料を配布しまり月児の食事のポイント」の資料を配 した。妊娠中や産後の様子で必要と一布しました。 思われたものには、管理栄養士が個 別面談にて栄養指導を実施しまし

1歳6か月児健診では、計測記録 に管理栄養士が入り、カウプ指数と 問診票の食事に関する項目を確認 し、 栄養相談が必要とされる対象者 を抽出、保健指導の時間を利用して 食事、卒乳、生活リズムなどについ て、対象児に適した指導を実施しま した。健診受診者全員に「1歳6か 月児の食事のポイント」の資料を配 布しました。

配布数:369部

3~4か月児健診では管理栄養十 とに管理栄養士が「離乳食開始のポーが「離乳食開始のポイント」「保護 イント」「保護者の食事」に関する「者の食事」に関する集団講話を実施 しました。

実施者数:325 人

集団講話後、質問がある方には個 れる方や血圧高値の保護者には減塩 等の指導を個別に実施しました。

1歳6か月児健診では、計測記録 に管理栄養士が入り、カウプ指数と 問診票の食事に関する項目を確認 し、栄養相談が必要とされる対象者 を抽出、保健指導の時間を利用して 食事、卒乳、生活リズムなどについ て、対象児に適した指導を実施しま した。健診受診者全員に「1歳6か

配布数: 355 部

2歳6か月児歯科健診(医療機関 委託)では、返却された問診票にて 食事や食べ方の相談希望がある方や フォローが必要と思われる児の保護 者に管理栄養士が雷話指導を実施し ました。食事バランス、偏食や丸飲 みなどの問題点について口腔の成長 に合わせた指導を実施しました。

実施数:49件

3歳5か月児健診では、1歳6か 月児健診と同様に、計測記録に管理

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末まで)
	均:11.0g(全国平均 9.9g) 《全国平均参考文献:平成 29 年国 民健康・栄養調査結果の概要より〉		要食力者まみに 月栄れ間り施 診対みフた 均た月「記機多はし 平く健 (問がる導偏口ま 、記が健やた 6らりつ実 量高3かをの分保を 分1の)の要士バ点導件 健に栄出食児 数上の活て 塩た健、シ、しし個 護全文結 (問がる導偏口ま 、記が健やた 6らりつ実 量高3かをの分保を 分1の)をで食いま対が 保(できな)を食腔し 1録必指量指 かれスい施 が値~月保減摂健実 摂1の)の実やのた 歳に要導、導 月たクてし 全で4)護塩取師施 取り令概)をできるの生数5診が健やた 6らりつ実 量高3かをの分保を 分1の)をできるの生変によりで生を 児児をりま 国あかに者の量まし 関てや護し飲長 か理さ時活実 健に鑑しし 平る 、に動がたま 民	栄養な対象は 大きな対象との生を がよいないでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、はいいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

3 ・児童生徒の健康に関する知識の普及啓発

【指導課·健康増増進課】

体位測定や健康診断結果などを参考にした生活習慣の指導を行い、自らの健康について考える意識付けを行いました。

また、定期健康診断や歯科検診結果など、健康に関する情報を児童生徒及び保護者に提供し、家庭における生活改善を通じて、肥満やむし歯の予防の推進を図りました。

(参考)スポーツ庁「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より

対象:龍ケ崎市立小学校5年生 龍ケ崎市立中学校2年生

・やせ傾向: 小学生男子 2.3%

茨城県 2.3% 小学生女子 3.7% 茨城県 2.0% 中学生男子 2.1% 茨城県 2.4% 中学生女子 3.4%

茨城県 3.2%

·肥満傾向:小学生男子 10.1% 茨城県 13.2%

> 小学生女子 10.0% 茨城県 10.1% 中学生男子 11.3% 茨城県 9.5% 中学生女子 6.5% 茨城県 8.0%

市の肥満傾向は、中学2年生男子 を除き、県平均を下回っておりま す。

「ヘルシースクール(小児生活習慣病予防教室)」【新規事業】の企画書を作成し以下の内容について教室

体位測定や健康診断の集計結果などを参考にした生活習慣の指導の充実を図り、自らの健康について考える意識付けを行いました。また、定期健康診断や歯科検診の結果など、健康に関する情報を児童生徒及び保護者に積極的に提供し、家庭における生活改善を通じて、肥満やむし歯予防の推進を図りました。

(参考)スポーツ庁「令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査」より

対象:小学5年生、中学2年生

・痩身傾向:市 小学生男子 3.5% 県 " 2.1% 市 小学生女子 1.4% 県 " 1.9% 市 中学生男子 2.4% 県 " 2.5%

市 中学生女子 5.2% 県 " 3.3%

·肥満傾向:市 小学生男子 10.7% 県 " 13.9%

市 小学生女子 7.5% 県 " 9.7%

市 中学生男子 11.1% 県 " 10.6% 市 中学生女子 6.3%

県 " 8.9% 男女を比較すると、男子の方が肥

満傾向が高く、中2年生男子の肥満 児の割合は県平均を上回っていました。

「ヘルシースクール(小児生活習 慣病予防教室)」を市内小中学校に 実施しました。 新型コロナウイルス感染の状況から、今年度は予定されていた時期よりも遅れてではありますが全校で無事健康診断等が実施できました。

体位測定や健康診断の集計結果などを参考にした生活習慣の指導の充実を図り、自らの健康について考える意識付けを行いました。

また、定期健康診断や歯科検診の 結果など、健康に関する情報を児童 生徒及び保護者に積極的に提供し、 家庭における生活改善を通じて、肥 満やむし歯の予防を推進しました。

※今年度、スポーツ庁「令和元年 度全国体力・運動能力、運動習慣等 調査」なしのためデータなし

新型コロナウイルス感染防止のため、集団健康教育は、実施しませんでした。そのため、今年度の小児生活習慣病予防の取り組みとして、個別指導を充実させました。

学校の内科健診において、肥満や やせと判断されたお子さんに対して 栄養相談のお知らせを作成し、対象 となったお子さんの保護者に、学校 体位測定や健康診断の集計結果などを参考にした生活習慣の指導の充実を図り、自らの健康について考える意識付けを計画的に行うよう指導しました

また、定期健康診断及び歯科検診の結果や学校保健委員会における医療従事者からの助言など、健康に関する情報を児童生徒及び保護者に積極的に提供し、家庭における生活改善を通じて、肥満やむし歯予防の推進を図っています。

(参考)スポーツ庁「令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査」より

対象:小学5年生、中学2年生

· 痩身傾向: 市 小学生男子 3.3% 県 " 2.0%

市 小学生女子 2.6% 県 " 1.9% 市 中学生男子 4.2% 県 " 2.3%

市 中学生女子 2.0% 県 " 2.9%

· 肥満傾向: 市 小学生男子 16.5% 県 " 16.9%

市 小学生女子 12.5% 県 " 11.1% 市 中学生男子 10.9% 県 " 11.8%

市 中学生女子 12.0%

学校の内科健診において、肥満ややせと判断されたお子さんに対して栄養相談のお知らせを作成し、対象となったお子さんの保護者に、学校から配付していただき、希望者に個

体位測定や健康診断の集計結果な どを参考にした生活習慣の指導の充 実を図り、自らの健康について考え る意識付けを計画的に行うよう指導 しました

また、定期健康診断及び歯科検診の結果や学校保健委員会における医療従事者からの助言など、健康に関する情報を児童生徒及び保護者に積極的に提供し、家庭における生活改善を通じて、肥満やむし歯予防の推進を図っています。

(参考)スポーツ庁「令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調 査」より

対象:小学5年生、中学2年生

· 痩身傾向: 市 小学生男子 1.8%

県 " 2.2% 市 小学生女子 0.6% 県 " 2.3%

原 " 2.3% 市 中学生男子 4.4% 県 " 2.4%

市 中学生女子 2.6% 県 " 3.2%

·肥満傾向:市 小学生男子 17.4%

市 小学生女子 12.7%

県 " 13.8% 市 中学生女子 7.7% 県 " 10.0%

学校の身体測定とその後の内科健診において、肥満ややせと判断された児童・生徒に対して栄養相談のお知らせを作成し、保護者宛てに、学校から通知をしてもらい、希望者に

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在) を実施しました。 ① 事前に食事記録表、当日の健康 チェックシートを使用しての自分の 振り返り ② 生活習慣病と動脈硬化との関連に ついて ③ 間食、飲み物のカロリーをクイズ 形式で理解し、間食と肥満の関係、 肥満と血管への影響について 【実施場所】 小学校1か所 中学 校1か所 平成 30 年 12 月 20 日 龍ケ崎西小 学校6学年 60人に実施 平成31年2月5日 愛宕中学校2 つことができました。集団では、全 学年 62 人に実施 【成果】 健康教室後のアンケートより 「生活習慣病について知ることがで と思いました。 きた」 小学校:88.3% 中学校:79% 「生活習慣病になりたくないと思っ

小学校:83% 中学校:74.2%

一番印象に残ったこと 「塩や脂、 糖を多くとると血管を傷つけるこ と」 小学校 68.3%

中学校 71%

家族に伝えたいこと「きちんとした 食事をしてください」「生活習慣病 は怖い」「甘い飲み物は砂糖が多く 入っている」などの意見を聞くこと ができました。

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

生活習慣病と動脈硬化や間と飲 み物のカロリーについて、また、体 に及ぼす影響について講話を行いま

【実施学校】

- ・龍ケ崎西小(集団・個別)
- · 愛宕中学校(集団)
- 松葉小(個別)
- · 城西中(個別)
- 八原小(集団)

昨年度は、集団指導のみでした が、今年度は、個別での関わりを持 体的な指導となりますが、個別では 保護者も一緒に関わることができる ため自宅での継続的な関りができる

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

から配付していただきました。

今後、栄養相談に申し込みのあっ たお子さん及び保護者に対して、電 話や面談にて管理栄養士が栄養相談 を実施しました。初回指導後3か月 後に再度電話や面談にて、継続的に 支援しました。また、栄養相談の結 果については、学校に報告し学校と の連携を図りました。

栄養相談希望者数:肥満 18 人 やせ 2人

肥満度が改善した者:15人 やせが改善した者: 1人

小児科医から肥満ややせのお子さ んの栄養相談の依頼を受けて、管理 栄養士が面談し栄養指導を実施する 「栄養指導連携事業」を開始しまし た。3件の依頼があり、栄養指導を 行いました。結果は、主治医に報告 し連携しながら小児生活習慣病予防 に取り組んでいます。

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

別栄養相談を実施しました。

栄養相談に申し込みのあったお子 さん及び保護者に対して、電話や面 談にて管理栄養十が栄養相談を実施 し、初回指導後3か月後に再度電話 や面談にて、継続的に支援しまし

また、栄養相談の結果について は、学校での保健指導に活用してい ただけるよう、情報共有を図りまし

栄養相談希望者数:肥満 32 人 やせ 14人

肥満度が改善した者:19人 やせが改善した者:9人

小児科医から肥満ややせのお子さ んの栄養相談の依頼を受けて、管理 栄養士が面談し栄養指導を実施しま した。指導結果については、主治医 に報告し連携しながら小児生活習慣 病予防に取り組める体制をとってい ます。

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

個別栄養相談を実施しました。

チェックシートを用いて食習慣、 運動習慣を振り返ってもらった後、 成長曲線を使って身長と体重の望ま しいバランスについて説明をしまし た。対象者に合った食事量を提示 し、日頃の食事と比較することで改 善点に自ら気付けるように促しまし た。フードモデルを本人の手に乗せ るなど、子どもにもわかり易い指導 を工夫しました。

対象者や保護者が取り組むべき目 標を決めてもらい、3か月後を目安 に取り組みの確認を電話や面談で行 いました。

また、相談内容やその結果につい ては、学校での保健指導に活用して もらえるよう、情報共有を図りまし

栄養相談希望者数:肥満 60 人

やせ 15 人

肥満度が改善した者:40人 やせが改善した者:8人

小児科医から肥満ややせの子ども の栄養相談の依頼を受け、管理栄養 士が面談で栄養指導を実施しまし た。指導結果については主治医に報 告し、連携しながら小児生活習慣病 予防に取り組める体制をとっていま す。

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)
4. 健康相談や結果説明会等で	で食事指導			
健康相談を実施しました 健康相談:12回 移動健康相談:1回 健康相談実施者数:78人 医師より栄養指導にの依頼があるをを持ちたに管理栄養者に変しません。 相談性数:9人	健康相談・移動健康相談があまれる。 健康相談・移動健康相談がある。 健康相談実施日以外にも相談がある。 健康相談実施日以外にも相談者:4 1人 医師からの指示ができました。 のの指示ができまして活用した。 に糖尿病はたすででは頼いた。 を発養相談実施者数:12人	健康相談は健診開始後の6月から実施しています。健康相談があった場合には随時対応しています。健康相談・移動健康相談実施者数:120人 医師からの指示カロリー等に基づいた食事指導を実施しました。 医師からの栄養指導 名人	医師からの栄養指導依頼に基づい	健康相談は4月より通年で行い、 今年度より特定の日程を設けずに通 年で随時対応しました。 健康相談実施者:138人 医師からの指示カロリー等に基づいた食事指導を実施しました。 医師からの栄養指導依頼に基づいた栄養相談実施者数:6人

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末まで)

5・特定保健指導における食事指導

【健康増進課】

特定保健指導栄養教室で食事につ いて指導を行いました。

基本編では、血管内皮とバランス の良い食事について保健師より講話 を実施しました。

対象者の食事には個人差があるた め、管理栄養士より個別の食事指導 を行っています。

応用編ではグループワークを行 い、お互いの生活改善できたとこ ろ、できなかったところを話し合 い、メタボ改善に向けてグループ間 で意識づけを行っています。

また、管理栄養士による講話や試 食も提供し、食生活に関する正しい 知識を学ぶ場となっています。

また、血圧、血糖、脂質等の検査 値を改善するための具体的な栄養指 導を実施しました。

特定保健指導初回(個別)295人 栄養教室基本編(8回) 42人 栄養教室応用編(3回) 29人

特定保健指導栄養教室で食事につ いての指導を行いました。

血糖改善コースでは Hb A1c5.6% 以上の方を対象に糖尿病についての 説明と食事についてのアドバイスを 行いました。

血圧改善コースでは血圧について の説明、食事での減塩のポイントに ついて説明をしました。

体験コースでは1食分の食事を提 供し、カロリーダウンのポイント や、食物繊維の増やし方など説明を 行いました。

特定保健指導初回

血糖改善コース(2回)・・9人 血圧改善コース(2回)・・14人 体験コース (2回)・・22人 (1回は平成30年度対象者10人 含む)

新型コロナウイルス感染拡大防止 個別栄養相談として行いました。

食生活を振り返り、何をどのくらい「について指導をしました。また、思 食べれば良いかなど指導をしまし い出し法により、前日の行動記録を |た。また、特定保健指導初回面接の | 作成し、それを基に生活や食事の習 |際に管理栄養十が担当した対象者に|慣の見直し、バランスや分量、食べ 関しては、食材の選び方や間食につ│方などの改善について考えてもらい |いてなど対象者に合わせて指導を行|ました。食品の量をイメージできる いました。

特定保健指導初回(個別)222人 個別栄養講座 3 人

特に生活習慣の見直しの必要な積 のため、集団栄養教室でなく、全て |極的支援の方を対象に個別栄養指導 を実施しました。事前に対象者に 媒体等を使用し、参加者と一緒に一合った栄養量を算定し食事の摂り方 ようフードモデル等の媒体を使用 し、食事指導を行いました。

> 特定保健指導初回個別:302人 うち管理栄養士実施:156人 生活習慣病健診保健指導初回個別:16 人 うち管理栄養士実施: 7人 個別栄養指導: 9人

特に生活習慣の見直しの必要な積 極的支援の方を対象に、個別栄養指 導を実施しました。事前に対象者に 合った栄養量を算定し、食事の摂り 方について指導をしました。

また、思い出し法により前日の行 動記録を作成し、それを基に生活習 | 慣のふり返りを行い、栄養のバラン スや食事の適量、食べ方などのアド バイスを行いました。食品の量をイ メージできるよう、フードモデル等 の媒体を使用して指導を行いまし た。

特定保健指導初回個別:266人 うち管理栄養士実施:85人 生活習慣病健診保健指導初回個別:12 人 うち管理栄養士実施:5人 個別栄養指導:11人

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
6・食生活改善推進員の料理語	講習会でバランスのとれた食事の(たり方指導		【健康増進課】
食生活である。 食生活である。 会生調子である。 大・理 さいました。 でいました。 でいました。 でいました。 でいまでである。 でいまでである。 でいずでである。 をはま子科食のできる。 でいずでである。 をはま子科食のできる。 をはま子科食のできる。 をはま子科食のできる。 をはま子科食のでは、34 人人、2 年上ののは、34 年上ののは、34 年上ののは、34 年上ののは、34 年上ののは、35 年上ののは、35 年上ののは、36 年上ののは、	食生活改善推進員による主食・料理 講習のそろったメニューの制催しました。 男性の財理教室では、ポリ袋で簡単に一品では、ポリ袋ででした。 (大学学では、ポリ袋ででした。 (大学学では、ポリ袋ででした。 (大学学校学校のは、1000年の (大学学校の)、1000年の (大学校の)、1000年の (大学校の)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校学校)、1000年の (大学校) (大学校)、1000年の (大学校) (大学校) (大学校) (大学校) (大学校) (大学校) (回、伝達講習会4回、骨粗しょう症 予防教室1回、特定保健指導栄養教 室7回を予定していましたが、調理 実習は新型コロナウイルス感染症の 感染リスクが高いため、中止としま した。 そのため、今年度はシルバーリハ ビリ体操指導士会テキストを配付し ました。食文化伝承事業は茨城の伝	龍ケ崎市食生活改善推進協議会は全 国及び茨城県食生活改善推進員協議 会を退会しました。	

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

7・特定保健指導時に野菜の摂取量や食塩についての説明、個人にあった食事量の情報提供

【健康増准課】

特定保健指導栄養教室で食事のバ ランス・塩分のとり方・食物繊維・ 主食の量について指導しました。

基本編では、血管内皮とバランス の良い食事について保健師より講話 を実施しました。対象者の食事には 個人差があるため、管理栄養士より 個別の食事指導を行っています。

応用編ではグループワークを行 い、お互いの生活改善できたとこ ろ、できなかったところを話し合 い、メタボ改善に向けてグループ間 で意識づけを行っています。

また、管理栄養士による講話や試 食も提供し、食生活に関する正しい 知識を学ぶ場とともに、血圧、血 糖、脂質等の検査値を改善するため の具体的な栄養指導を実施しまし た。

特定保健指導初回(個別) 295人 栄養教室基本編(8回) 42人 栄養教室応用編(3回) 29人

特定保健指導栄養教室で食事につ いての指導を行いました。

血糖改善コースでは Hb A1c5.6% 以上の方を対象に糖尿病についての 説明と食事についてのアドバイスを 行いました。

血圧改善コースでは血圧について の説明、食事での減塩のポイントに ついて説明をしました。

体験コースでは1食分の食事を提 供し、カロリーダウンのポイント や、食物繊維の増やし方など説明を 行いました。

特定保健指導初回(個別)・218人 血糖改善コース(2回)・・9人 血圧改善コース(2回)・・14人 体験コース (2回)・・22人 (1回は平成30年度対象者10人 会よ:)

新型コロナウイルス感染拡大防止 個別栄養相談として行いました。

食生活を振り返り、何をどのくらい は、一緒に日々の生活を振り返り、 食べれば良いかなど指導をしまし「何をどのくらい食べれば良いか、個 |た。また、特定保健指導初回面接の |人に合った量の情報提供を行いまし 際に管理栄養十が担当した対象者にた。 関しては、食材の選び方や間食につ いてなど対象者に合わせて指導を行 特定保健指導初回個別:302人 いました。

特定保健指導初回(個別)222人 個別栄養講座 3人

特定保健指導初回時に、対象者の のため、集団栄養教室でなく、全て 健診データに紐づけながら、野菜を 食べてほしい理由や日安量について 媒体等を使用し、参加者と一緒に一話をしました。個別栄養相談時で

> うち管理栄養士実施:156人 生活習慣病健診保健指導初回個別:16 人 うち管理栄養士実施: 7人 個別栄養指導:9人

特定保健指導初回時に、対象者の 健診データに紐づけながら、減塩の 必要性や、野菜を食べたい理由と1 日にとりたい日安量について話をし ました。

継続支援の個別面接では、管理学 養士が一緒に生活習慣の振り返りを 行い、対象者にふさわしい食事量が どのくらいなのかを説明しました。

特定保健指導初回個別: 266 人 うち管理栄養士実施:85人 生活習慣病健診保健指導初回個別:12 人 うち管理栄養士実施:5人 個別栄養指導:11人

8・1日に必要な野菜 350g の普及啓発

【健康増進課】

特定保健指導や健康相談時・糖尿 病の講演会に1日に必要な野菜の量 について指導を行いました。

糖尿病の講演会後に、管理栄養士 による個別の食事指導を実施しまし た。フードモデルを用いて食事のイ メージがつくようにしました。

特定保健指導や糖尿病講演会、へ ルス講演会、健康相談時に1日に必 要な野菜の量のフードモデルを提示 しました。

特定保健指導・健康相談等を利用 して1日に必要な野菜の量について フードモデルや手ばかり法などを利 用してわかりやすく情報提供をしま した。

特定保健指導・健康相談等を利用 して1日に必要な野菜の量について 資料やフードモデルなどを利用し、 情報提供しました。また、生野菜だ けでは野菜は食べにくいため、調理 方法なども踏まえて話しをしまし

特定保健指導・健康相談の場等に おいて、資料やフードモデルなどを 用いて1日に食べたい野菜の目標量 について情報提供をしました。

日々の食事に手軽に野菜を取り入 れてもらえるよう、簡単野菜レシピ の資料を作成しました。

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

9.食生活改善推進員による「適塩」メニュー料理講習会の開催

【健康増進課】

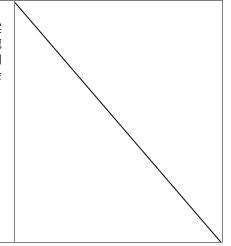
食生活改善推進員の調理講習会では1食あたり塩分2.5g~3.0gのメニューで料理講習会を実施しました。

伝達講習会 5 回: 42 人 親子料理教室 2 回: 26 人 茨城食文化伝承事業 3 回: 32 人 男性の料理教室 2 回: 16 人 生涯骨太クッキング 4 回: 34 人 生活習慣病予防のための減塩推進ス キルアップ事業 1 回: 85 人 骨粗しょう症予防教室 2 回: 85 人 特定保健指導料理講座 3 回: 29 人 情報記等での食育活動 3 回: 160 今年度も食生活改善推進員による 講習会として

引き続き1食あたり塩分3g以下のメニューで「適塩」を周知し適正な塩分周知をしていきます。

親子料理教室4回、茨城食文化伝 承事業4回、生涯骨太クッキング4 回、伝達講習会4回、骨粗しょう症 予防教室1回、特定保健指導料理講 座7回を予定していましたが、調理 実習は感染リスクが高いため、中止 としました。

令和3年度より休会していますが、今後の活動について話し合い実施した結果、令和3年度をもって龍ケ崎市食生活改善推進協議会は全国及び茨城県食生活改善推進員協議会を退会しました。



平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

10・乳幼児健康診査において生活習慣に関する保健指導

【健康増准課】

各乳幼児健診時(3~4か月、1歳 6か月、3歳5か月)に、問診票に 基づいて、管理栄養士による食事指 導を実施しました。

また、「塩分チェックシート」を 保護者に記入してもらうことと併せ て、健診会場では、血圧測定を実施 しました。

それをふまえ家庭での減塩の動機 づけを行いました。

塩分量が多い保護者に対しては、 管理栄養士から個別指導を実施しま した。

健診受診者保護者の塩分摂取 平均: 11.2g (全国平均 9.9g) <全国平均参考文献:平成29年国民健 康・栄養調査結果の概要より>

各乳幼児健診時(3~4か月、1歳 6か月、3歳5か月)に、問診票に 基づいて、管理栄養士による食事指 導を実施しました。

2歳6か月児健診、4歳眼の健診 では、状況に応じて管理栄養士の個 別指導を実施しました。

また、「塩分チェックシート」を 保護者に記入してもらうことと併せ て、健診会場では、血圧測定を実施 しました。

「塩分チェックシート」を記入す ることで食生活習慣を振り返ること ができ、家庭での減塩の動機づけを 行うことができました。

塩分量が多い保護者に対しては、 管理栄養士から具体的な個別指導を 実施することができました。

健診受診者保護者の塩分摂取 平均: 11.0g (全国平均 9.9g) <全国平均参考文献:平成29年国民 | 健康・栄養調査結果の概要より> 健康・栄養調査結果の概要より>

新型コロナ感染対策として、健診 時間の短縮を図るため、問診により 栄養指導が必要と判断した保護者に 対して、各乳幼児健診において、管 理栄養士が栄養指導を行いました。

また、健診日に指導が受けられな い方については、こどもの健康相談 を利用して、栄養指導を行いまし

1歳6か月児は、離乳食完了とな る時期で、食習慣の基本となる時期 であることから、食事に関するチラ シを作成し配布しました。

また、併せて、保護者記載の塩分 チェック表を基に、保護者への塩分 摂取について保健指導を行いまし

健診受診者保護者の塩分摂取 平均: 10.9g(全国平均 9.9g) <全国平均参考文献:平成29年国民

1歳6か月児健診、3歳5か月児 健診時、すべてのお子さんに対し て、歯科衛生士がおやつや甘い飲み 物等についての保健指導を行いまし

乳幼児への食事指導だけでなく、 妊娠中及び出産後の母親の尿検査や 血圧の値等も確認し、個々にあった 保健指導を実施しました。

新型コロナ感染対策として、健診 時間の短縮を図るため、健診対象児 全員ではなく保健師・管理栄養士が 問診票の結果から必要と判断した保 護者に管理栄養士が栄養指導を実施 しました。

また、健診日に指導が受けられな い方については、こどもの健康相談 を利用して、管理栄養士による栄養 指導を行いました。離乳期の児およ び保護者には、離乳食の内容や進め 方、食事環境の整え方、母乳やミル クについて指導しました。幼児期の 児および保護者には生活習慣、摂食 や咀嚼の問題点を抽出し、改善のた めの指導を実施しました。

実施者数:幼児10人 乳児3人 小児期からの生活習慣が将来の生 活習慣病に繋がっていくことから、 バランスのよい食事、望ましい間食 (飲み物を含む)の取り方、生活リ ズムの整え方等を伝えて参りまし

保護者の平均塩分摂取量が全国平 均に近づきましたが、まだ高値であ るため、各乳幼児健診時(3~4か 月、1歳6か月、3歳5か月)に、 保護者に「塩分チェックシート」へ の記入をお願いし、家庭での減塩の 動機づけを行いました。結果、塩分 摂取量が多い保護者に対しては、保 健師および管理栄養士から個別指導 を実施しました。

健診受診者保護者の塩分摂取 平均:10.4g(全国平均10.1g) <全国平均参考文献: 令和元年国民 健康・栄養調査結果の概要より>

新型コロナ感染対策として、健診 時間の短縮を図るため、健診対象児 全員ではなく保健師・管理栄養士が 問診票の結果から必要と判断した保 護者に管理栄養士が栄養指導を実施 しました。

また、健診日に指導が受けられな い方等については、こどもの健康相 談を利用して、管理栄養士、歯科衛 生士、保健師が保健指導を行いまし

実施者数:幼児6人 乳児9人 小児期からの生活習慣が将来の生 活習慣病に繋がっていくことから、 バランスのよい食事、望ましい間食 (飲み物を含む)の取り方、生活リ ズムの整え方等を伝えました。

保護者の平均塩分摂取量が全国平 均に近づきましたがまだ高値である ため、各乳幼児健診時(3~4か 月、1歳6か月、3歳5か月)に、 「塩分チェックシート」を保護者に 記入してもらい、家庭での減塩の動 機づけを行い、健診会場では血圧測 定を実施しました。塩分摂取量が多 い保護者に対しては、保健師または 管理栄養士が個別指導を実施しまし

健診受診者保護者の塩分摂取 平均: 10.5 g (全国平均 10.1g)

<全国平均参考文献:令和元年国 民健康・栄養調査結果の概要より>

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

11.「給食だより」「食育だより」による朝食の重要性の啓発

【学校給食センター】

毎月発行している給食だよりに、 機会を捉えて朝食についての内容を 掲載しました。(5回掲載)

特に5月発行分には、朝食を食べ た時と食べなかった時の体の変化 や、どんな朝食を食べると良いかの 献立例を掲載し、朝食の重要性を啓 発しました。

また、栄養教諭の所属する学校に おいては、学校の実態を踏まえた食 育だよりを発行し、朝食におすすめ のレシピの紹介なども行いました。 (食育だよりによる啓発3回)

毎月発行している給食だよりに、 規則正しい食生活を送ることの大切 さを掲載しました。学習や運動と関 連付けた内容を盛り込むことで、児 童生徒及び保護者の関心を高めるよ うにしました。(诵年)

とくに長期休業前に発行する給食 だよりには、朝食の重要性について のコーナーを作り、啓発を行いまし

また、栄養教諭の所属する学校で は、学校の実態を踏まえた食育だよ りを発行し、簡単に作れる朝食メ ニューの紹介をしました。

毎月発行している給食だよりに、 夏休み前後など機会を捉えて朝食に ついての内容を掲載しました。(通

また、栄養教諭の所属する学校で は、学校の実態を踏まえた食育だよ りを発行し、朝食の重要性や望まし い食生活の啓発を行いました。

○給食だよりの内容で朝食について 触れた回数

小学校:4回 中学校:6回

毎月発行している給食だよりに、 朝食に関する内容を掲載していま す。特に5月号では、朝食の重要性 について特集しました。

また、栄養教諭の所属する学校で は食育だよりにおいても朝食に関す る内容を掲載しました。

○給食だよりの内容で朝食について 触れた回数

小学校:2回 中学校:4回

毎月発行している給食だよりで. 朝食について触れています。特に5 月号では、朝食をメインテーマとし て特集しました。

また、市内小中学校に年4回発行 している食育だより春号においても 朝食について掲載しました。

○給食だよりの内容で朝食について 触れた回数

小学校:4回 中学校:6回

12 ・ 高校牛へ食事指導パンフレット送付

日本脳炎予防接種の積極的勧奨対 象者(高校3年生)668人に対し て、予診票送付時に、生活習慣病予 防 (糖尿病) についての資料を作成 し同封しました。また、外食や中食 における食事のポイントについての 資料を同封し、生活習慣が見直せる ようにしました。

県立竜ケ崎南高等学校3年生85 人を対象に、「生活習慣病予防につ いて」の講話及び「コンビニエンス ストアを利用してのバランスのとれ た食事」について試食を交えながら 健康教育を行いました。

日本脳炎予防接種の積極的勧奨対 象者(高校3年生)798人に対し て、予診票送付時に、朝食の必要性 についての資料を作成し同封しまし

また、外食や中食における食事の ポイントについての資料を同封し、 生活習慣が見直せるようにしまし

日本脳炎予防接種の積極的勧奨対 うに情報提供しました。

日本脳炎予防接種の積極的勧奨対 象者(高校3年生)674 人に対し、 象者(高校3年生)204 人に対し、 象者(高校3年生)594 人に対し、 予診票送付時に、食生活に関する資│予診票送付時に、食生活に関する資│予診票送付時に、龍ケ崎市の健康課 料を同封し、生活習慣が見直せるより料を同封し、生活習慣が見直せるより題を取り入れた、食生活に関する資 うに情報提供しました。

日本脳炎予防接種の積極的勧奨対 料を同封し、生活習慣が見直せるよ うに情報提供しました。

【健康増准課】

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

13・特定保健指導における食事指導

【健康増進課】

特定保健指の栄養教室で食事につ いて指導を行いました。

基本編では、血管内皮と食事につ いて保健師より講話があり、管理学 養十より個別の食事指導を行いまし

応用編ではグループワークを行 い、お互いの生活改善できたとこ ろ、できなかったところを話し合 い、メタボ改善に向けてグループ間 で意識づけを行いました。

また、管理栄養士による講話や試 食も提供し、食生活に関する正しい 知識を学ぶ場となっています。

特定保健指導初回(個別)295人 栄養教室基本編(8回) 42 人 栄養教室応用編(3回) 29 人

特定保健指導栄養教室で食事につ いての指導を行いました。

血糖改善コースでは Hb A1c5.6% 以上の方を対象に糖尿病についての 説明と食事についてのアドバイスを 行いました。

血圧改善コースでは血圧について の説明、食事での減塩のポイントに ついて説明しました。

体験コースでは1食分の食事を提 供し、カロリーダウンのポイント や、食物繊維の増やし方など説明を 行いました。

特定保健指導初回(個別)218人 血糖改善コース(2回)・・9人 血圧改善コース(2回)・・14人 体験コース (2回)・・22人 (1回は平成30年度対象者10人 含む)

新型コロナウイルス感染拡大防止 個別栄養相談として行いました。

食生活を振り返り、何をどのくらい「について指導をしました。また、思 食べれば良いかなど指導をしまし い出し法により、前日の行動記録を |た。また、特定保健指導初回面接の│作成し、それをもとに生活や食事の| |際に管理栄養十が担当した対象者に|習慣の見直し、バランスや分量、食 関しては、食材の選び方や間食につ |いてなど対象者に合わせて指導を行|いました。食品の量をイメージでき いました。

特定保健指導初回(個別)222人 3人 個別栄養講座

特に生活習慣の見直しが必要な積 のため、集団栄養教室でなく、全て 極的支援の方々を対象に個別栄養指 導を実施しました。事前に対象者に 媒体等を使用し、参加者と一緒に一合った栄養量を算定し食事の摂り方 べ方などの改善について考えてもら るようフードモデル等の媒体を使用 し、食事指導を行いました。

> 特定保健指導初回個別:302人 うち管理栄養士実施:156人 生活習慣病健診保健指導初回個別:16 人 うち管理栄養士実施:7人 個別栄養指導:9人

特に生活習慣の見直しの必要な積 極的支援の方を対象に、個別栄養指 導を実施しました。事前に対象者に 合った栄養量を算定し、食事の摂り 方について指導をしました。

また、思い出し法により前日の行 動記録を作成し、それを基に生活習 | 慣のふり返りを行い、栄養のバラン スや食事の適量、食べ方などのアド バイスを行いました。食品の量をイ メージできるよう、フードモデル等 の媒体を使用して指導を行いまし

特定保健指導初回個別:266人 うち管理栄養士実施:85人 生活習慣病健診保健指導初回個別:12 人 うち管理栄養士実施:5人 個別栄養指導:11人

④妊娠期から離乳期における食育の推進のための取り組み					
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)	
14・母子健康手帳交付時の面接やプレ・ママ教室での講義、妊娠中の電話等による貧血・妊娠糖尿・妊娠高血圧予防についての栄養指導 【健康増進課】					
個々に合わせた日常生活(特に食生活)においての保健指導を行いました。 また、糖尿病の家族歴がある方については、糖尿病につの保健指導を行い、生活習慣病の発症予防に努めました。 ①全出生数中の低体重児の割合(2、500g 未満): 9.4% ③26 週頃の妊婦健康診査のヘモグロビン11g/dl未満の割合(貧血の早期発見) 40.2% ④26 週頃の妊婦健康診査の血糖値100 mg/dl以上の割合(妊婦糖尿病の早期発見)(再掲) 42.4%	個々に合わせた日常生活(特に食生活)においての保健指導を行いました。 また、糖尿病の家族歴がある方については、糖尿病が体に及ぼす影響についての保健指導を行い、生活習慣病の発症予防に努めました。 ①全出生数中の低体重児の割合(2、500g未満):7.6% ③26週頃の妊婦健康診査のヘモグロビン11g/dl未満の割合(貧血の早期発見)41.5% (4)26週頃の妊婦健康診査の血糖値100 mg/dl以上の割合(妊婦糖尿病の早期発見)(再掲)45.8%	集団ではプレーニックを表示を表示に対した後事にでは、管理では、管理では、管理では、管理では、では、対した後事にのが、では、対した後事に、は、対して、、を、は、が、では、が、では、が、では、が、では、が、では、が、では、が、では	往歴、妊娠高血圧症群既往歴のあ布 方には、は、質理栄養、 し、可能な限り管理栄養、 で行いました。交付当ので、 ででで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	母子健康手帳交付時に、15.5、18.5、18.5、18.5、19.6、19.5、19.5、19.5、19.5、19.5、19.5、19.5、19.5	

平成30年度		
活動実績及び成果		
(平成31年3月末現在)		

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

15・乳児家庭全戸訪問時に母親の栄養指導

【健康増進課】

妊娠糖尿病や、貧血を指摘された 方については、日常生活(特に食生 活)においての保健指導・栄養指導 を行い、生活習慣病の発症予防に努 めました。

妊娠糖尿病や、貧血を指摘された 方、蛋白尿が出ていた方について は、日常生活(特に食生活)におい ての保健指導・栄養指導を行い、生 活習慣病の発症予防に努めました。

妊娠期において、妊娠糖尿病や、 貧血を指摘されていた産婦には、日 常生活(特に食生活)においての保 健指導を行いました。また、 妊娠糖 尿病歴のある産婦には、 経過観察の ために受診勧奨を行い、生活習慣病 の発症予防に努めました。

妊娠期において、妊娠糖尿病や貧 血を指摘されていた産婦には、1日 3 食バランスの良い食牛活を心がけ るよう保健指導を行いました。

また、妊娠糖尿病歴のある産婦に は、経過観察のために受診勧奨を行 い、糖尿病の発症予防に努めまし

訪問時に母子健康手帳の内容を確 認し、妊娠糖尿病や貧血に関する受 診の経過と今後の診療予約状況を確 認しました。3~4か月児健診時に 結果を確認し、未受診の場合は受診 勧奨を行いました。

妊娠期において、妊娠糖尿病や貧 血を指摘されていた産婦には、1日 3食バランスの良い食牛活を心がけ るよう保健指導を行いました。

また、妊娠糖尿病歴のある産婦に は、経過観察のために受診勧奨を行 い、糖尿病の発症予防に努めまし

訪問時に母子健康手帳の内容を確 認し、妊娠糖尿病や貧血に関する受 診の経過と今後の診療予約状況を確 認しました。3~4か月児健診時に 結果を確認し、未受診の場合は受診 勧奨を行いました。

16・離乳食教室において適塩の大切さの普及

【健康増進課】

離乳食期の栄養が、成人になって からの肥満、2型糖尿病、高血圧等 と関連があることが、最近多く報告 されています。乳幼児期に培われた 味覚や食事の嗜好は、その後の食習 慣にも影響を与えることから、児の 味覚発達のため、素材そのものの味 を覚えさせることの大切さを話しま した。

離乳食期の栄養が、成人になって からの肥満、2型糖尿病、高血圧等 と関連があることが、最近多く報告 されています。

乳幼児期に培われた味覚や食事の 嗜好は、その後の食習慣にも影響を 与えることから、児の味覚発達のた め、素材そのものの味を覚えさせる ことの大切さを話しました。

離乳期の栄養が、味覚や食事の基 した。

4月・5月の離乳食委教室は、新 別相談も実施しました。

対象者(6~7か月児):401人 離乳食教室参加者数:117人

(29.2%)

|礎になること、また、その後の食習 | 生活の基礎になること、また、その | 生活の基礎になること、また、その 慣に影響を与えることから、児の味 後の食習慣に影響を与えることか 後の食習慣に影響を与えることか 覚の発達のため、素材そのものの味│ら、児の味覚の発達のため、素材そ│ら、児の味覚の発達のため、素材そ を覚えさせることの大切さを伝えまのものの味を覚えさせることの大切のものの味を覚えさせることの大切 さを伝えました。

また、食材の選び方や調味料の使また、食材の選び方や調味料の使 型コロナウイルスの感染拡大防止の い方、ベビーフードを使用する際の い方、ベビーフードを使用する際の ため集団指導は中止となったため、「注意点や親の食事から取り分けをス」注意点や親の食事から取り分けをス 予約者にリーフレットを郵送し、個 ムーズにする方法などについても伝 ムーズにする方法などについても伝 えました。簡単な天然出汁のとり方しまました。簡単な天然出汁のとり方 のデモンストレーションを実施しまのデモンストレーションを実施しま L.t..

> 8月は新型コロナウイルス感染症 対象者(6~7か月児):318人 緊急事態宣言発令のため、教室を中 離乳食教室参加者数:112人 止し、資料の郵送(5人)と個別指 (35.2%) 道(1人)で対応しました。 離乳食教室参加者数:84人

離乳期の食事が、味覚や今後の食 離乳期の食事が、味覚や今後の食 さを伝えました。

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

17・保育園・幼稚園・認定こども園での野菜などを植付け(栽培)・収穫・調理の体験型食育

【保育課】

敷地内の畑にさつま芋の苗を植 え、水やりなどの世話をしました。 秋に収穫した後は、ホットプレート で焼いて食べました。また給食の汁 物に使い、保育所みんなで収穫の喜 びを味わうことができました

秋には近隣ハウスのぶどう狩り体 験をしてたわわに実ったぶどうを喜 んで食べました。

4月の年長児が参加したいちご狩 りでは、収穫したいちごで「いちご みるく」を作って食べました。7月 には年長児がかき氷を作って食べた り、メグミルク工場を社会科見学し ました。8月には3、4、5歳児が 自分たちで育てた野菜(トマト、 ピーマン、ナス)を給食に入れて食 べました。年長児は育てたゴーヤで サラダを作って食べました。9月に はマクドナルド食育講座を保育所の 全児で受けました。

年長児は、その日の献立の材料を 自分たちが交替で3色食品群に分類 して表示することで、食品への関心 が高まりました。

敷地内にさつま芋(年長児)とト マトの苗(年中児・年少児)を植 え、水やりなどの世話をしました。

夏から秋に白分たちで収穫をし、 トマトはそのまま食べてみたり、さ つまいもは給食で、味噌汁や蒸しパ ンに加えてもらいました。

自分たちで苗を植え、収穫等体験 することで食に対する興味・関心を 高めました。

12月に、年長児が食べ物の働き やバランスの良い食事の大切さ等に ついて、出前カスミ 5 ADAY 食育体 験学習を受けました。その後、給食 献立表を見てホワイトボード上で、 3大栄養素に食品を分けて表示する 作業をクラスの当番を中心として毎 日行い食品への関心を高めていきま L.t.

今年度については、茨城県の食育 農業体験推進事業を活用し、農業指 導者の協力を得ながらさつま芋の苗 を植え、四角豆のグリーンカーテン やミニトマトの苗等の水やりをし、 ミニトマトについては牛のまま、さ つま芋や四角豆については収穫した ものを給食の味噌汁に加えてもらい ました。

自分たちで苗を植え、水やりをし 収穫体験することで食に対する興 味・関心を高めました。

昨年度と同様に、農業指導者の協 力を得ながら、年長クラスの児童が 5月に畑にさつまいもの苗植えを 行った。

また、グリーンカーテンについて は、昨年度の四角豆の生育が遅く、 夏場に一面に覆われなかったので、 本年度はゴーヤのグリーンカーテン にしたところ、りっぱに生育した。

その他、ミニトマトの鉢植えにも 取り組んだ。

いずれの作物も秋にたくさん収穫 ができ、子ども達や保護者の方に提 供し、喜んでいただいた。

その他、企業の食育講座(出前) をしてもらうことで了承を得たが、 結果的には、新型コロナウイルスの 影響で中止となってしまった。

18 ・ 食物アレルギー対応、ノロウイルス等による感染症対策

【学校給食センター】

食物アレルギーによる誤食防止の ため、市養護教諭との連携を図り、 食物アレルギー児童生徒の管理デー タを作成し学校・給食センター・市 教育委員会で正確な情報の共有化を 行いました。

また、8月の給食主任会では、食 物アレルギー対応の取組状況の研修

食物アレルギーによる誤食防止の ため、市養護教諭との連携を図り、 食物アレルギー児童生徒の管理デー タを作成し、学校・給食センター・ 市教育委員会で正確な情報の共有化 を行いました。

また、6月の養護教諭部会と8月 の給食主任会において、食物アレル

食物アレルギーによる誤食防止の ため、市養護教諭との連携を図り、 食物アレルギー児童生徒の管理デー タを作成し、学校・給食センター・ 市教育委員会で正確な情報の共有化 を行いました。

また、ノロウイルス等による感染 症対策として「学校給食における食

食物アレルギーによる誤食防止の ため、市養護教諭との連携を図り、 食物アレルギー児童生徒の管理デー タを作成し、学校・給食センター・ 市教育委員会で正確な情報の共有化市教育委員会で正確な情報の共有化 をしました。

10 月の給食主任会は中止となった |ため、ノロウイルス等による感染症 | について養護教諭部会や教育委員会

食物アレルギーによる誤食防止の ため、市養護教諭との連携を図り、 食物アレルギー児童生徒の管理デー タを作成し、学校・給食センター・ をしました。

また、食物アレルギーマニュアル

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
会を開催し、養護教諭にも参加してもらい、各学校の取組と課題について協議し、情報を共有しました。 ノロウイルス等による感染症対策として、12月の給食主任会で「学校給食における感染症マニュアル(龍ケ崎市教育委員会発行)」を活用した研修を行い、給食センターと学校で共通理解を図りながら安全な給食提供に努めました。	ギー (コンタミネーション) についての情報共有の場を設け、正しい知識と理解を深めることができました。	中毒予防対策マニュアル」において「給食当番の衛生管理点検票」及び「嘔吐物の処理方法」について改正し、11月の給食主任会で変更点について各学校と共通理解を図りました。12月の給食主任会では嘔吐物処理や配膳時の注意点について確認しました。 2月の給食主任会では次年度に向けて食物アレルギー対応に必要な書類の提出について確認しました。	対策については書面で協力を依頼しました。 1月14日の養護教諭部会ではアレルギー面談の際の注意点について確認しました。またアレルギー資料(配合表)の取り扱いが印刷配付からHP閲覧へ変更となる旨を伝え、関係保護者への周知をお願いしました。	等を交えて協議検討を行い、新センター稼働に合わせてマニュアルの改訂をする予定です。 10月の給食主任会では、ノロウイルス等による感染症対策について給食時の嘔吐物処理や給食当番等の健康観察について確認しました。
19・給食訪問時の栄養指導の	」 D充実(適塩・残さず食べることの	の指導等)	I	【学校給食センター】
栄養の時間になって、 ・学校小いまでするになって、 ・学校の時間になって、 ・学校でははいいでするになって、 をでいるには、 ・学校では道具理状でした。 ・小学校では道具理状でした。 ・小学校では道具理状でした。 ・小学ではではでした。 ・の給え理せいたでするとを、 ・の栄養がでした。 ・の栄養がでした。 ・の栄養がでした。 ・の栄養がでした。 ・の栄養ができるがですがですがですがですがですがですがです。 ・ででするとをもいた。 ・の栄養がではないが、 ・でのなとをもいますがですがですがですがですがですがですがです。 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	栄養教諭・学を特別である。 が給食の時間になっていた。 ・一学校のでは、 ・一学校ではは、 ・一学校ではは、 ・一学校のの一でである。で、 ・一学校ではは、 ・一学校ではは、 ・一学校ではは、 ・一学では、 ・一学では、 ・一学では、 ・一学では、 ・一学では、 ・一の学を表して、 ・一の学を表して、 ・一の学のカルトで、 ・一の力とを、 ・一の力と、 ・一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、栄養教諭および調理員の給食訪問は中止しました。 給食時間ではなく、授業時間に栄養教諭が各学校を訪問し食に関する指導を行いました。 ○授業を行ったクラス数:20 クラス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、栄養教諭および調理員の給食訪問は中止しました。 栄養教諭による食に関する指導を授業時間の中で行い、好き嫌いせず食べることや健康によい食事の摂り方について指導しました。 ○授業を行ったクラス数:42 クラス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、栄養教諭および調理員の給食訪問は中止しました。 栄養教諭による食に関する指導を授業時間の中で行い、好き嫌いせず食べることや健康によい食事の摂り方、おやつの食塩量について指導しました。 ○授業を行ったクラス数:46 クラス

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

20.かみかみ給食メニューの提供

【学校給食センター】

6月4日の「虫歯予防デー」や11 月8日の「いい歯の日」に「かみか みメニュー」を提供した他、平成26 年度の「かみかみメニュー」をテー マに募集した「親子でつくる給食献 立」の入賞作品を提供しました。

○親子でつくる給食献立「かみかみ メニュー | 提供回数 (4~3月) 小学校: 9回、中学校: 7回

6月4日から始まる「歯と口の健 康週間」や11月8日の「いい歯の 日」を中心に、親子でつくる給食献 立の「かみかみメニュー」や噛み応 えのある食材を使った給食メニュー を提供しました。

親子でつくる給食献立「かみかみ メニュー | 提供回数 (4~3月) 小学校:4回、中学校:3回

6月4日から始まる「歯と口の健 康週間」や11月8日の「いい歯の 日」を中心に、親子でつくる給食献 立の「かみかみメニュー」や噛み応 えのある食材を使った給食メニュー を提供しました。

○かみかみメニュー提供回数

・小学校:8回、中学校:8回

6月4日から始まる「歯と口の健 康週間 | や11月8日の「いい歯の 日」を中心に、親子でつくる給食献 立の「かみかみメニュー」や噛み応 えのある食材を使った給食メニュー を提供しました。

- ○かみかみメニュー提供回数
- ・小学校5回、中学校12回

4月18日の良い歯の日、6月4日 から始まる「歯と口の健康週間」や 11月8日の「いい歯の日」を中心 に、親子でつくる給食献立の「かみ かみメニュー」や噛み応えのある食 材を使った給食メニューを提供しま した。

○かみかみメニュー提供回数 ・小学校8回、中学校10回

21・子育てふれあいセミナーでの食育指導

【学校給食センター】

子育てふれあいセミナーでは、小 学1年生の保護者を対象に給食セン ターの見学会を実施し、給食ができ るまでの調理工程や衛生管理、地場 産物を活用した給食献立の取り組み などを紹介しました。

また、「成長期における食育」を テーマに小学生のうちに身に付けて ほしい食習慣や食事のマナーについ ても説明し、保護者から「参加して よかった」「子どもにも伝えたい」 などの感想が寄せられました。

子育てふれあいセミナーでは、小 学校1年生の保護者を対象に給食セ ンターの見学とともに、スライドを 用いて給食ができるまでの調理工程 や衛牛管理、地産地消の取り組み、 アレルギー対応について紹介しまし

また、「適塩・減塩」をテーマに 減塩の必要性や給食における減塩の 工夫、家庭でできる減塩・適塩方法 について説明しました。保護者から は「汁ものから味の濃さを、気を付 けていきたい」「子どもにも伝えた い」などの感想が寄せられました。

新型コロナウイルス感染症感染拡 大防止のため、給食センターの見学 会を伴う子育てふれあいセミナーは 中止しました。

子育てふれあいセミナーでは、小 学校1年生の保護者を対象に、給食 ができるまでの調理工程や衛生管 理、地場産物の活用、食物アレル ギー対応など龍ケ崎市学校給食にお ける取組を紹介しました。

また、栄養教諭より「減塩・適 塩」について講話を行いました。 〇参加人数:市内小学校低学年保護 者 40 人

子育てふれあいセミナーでは、小 学校1年生の保護者を対象に、給食 ができるまでの調理工程や衛生管 理、地場産物の活用、食物アレル ギー対応など龍ケ崎市学校給食にお ける取組を紹介しました。

また、栄養教諭より減塩・適塩 と、家庭で心がけてほしい小学生に 必要な栄養について講話を行いまし

〇参加人数:市内小学校低学年保護 者 20 人

22 ・ 親子で作る給食献立の募集及び提供、レシピを市公式ホームページで公開

【学校給食センター】

本年度の龍ケ崎市教育の日推進事 業『親子でつくる給食献立』におい て、「まごわやさしい」健康に良い 食材を使ったメニューを募集し、応 募総数 933 件の中から入賞作品(10 作品)を選出し、学校給食のメ ニューに取り入れました。

本年度の龍ケ崎市教育の日推進事 業『親子でつくる給食献立』におい て、「いばらきの旬を味わうメ ニュー」として茨城県の食材を生か したメニューを募集し、応募総数 901 件の中から入賞作品(8作品) を選出しました。

新型コロナウイルス感染症感染拡 大防止に伴い、『親子でつくる給食 献立』の募集を中止いたしました。

昨年度の「いばらきの旬を味わう メニュー」における入賞作品やさら に過去の入賞作品については、順次 学校給食に取り入れました。

新型コロナウイルス感染症感染拡 大防止に伴い、今年度も『親子でつ くる給食献立』を中止しました。

過去の入賞作品については、順次 学校給食に取り入れるとともに給食 献立表に明記しました。

○提供回数

新型コロナウイルス感染症感染 拡大防止に伴い、今年度も『親子で つくる給食献立』を中止しました。

令和2年までの過去の入賞作品に ついては、学校給食に継続的に取り 入れています。

○提供回数

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
○提供月(2月・3月)		○提供回数 ・親子でつくる給食献立総数 小学校:26回、中学校:22回 ・いばらきの旬を味わうメニュー 小学校:12回、中学校:9回	小学校 23 回、中学校 30 回	小学校 18 回、中学校 16 回
23・バランスのとれたおい!	しい給食の提供			【学校給食センター】
栄養バランスのとれた給食を提供するため、家庭で不足しがちなおいシウムや鉄・食物繊維がとれるよいに献立を工夫し作成しました。また、リクエスト献立・行事食・世界の料理・日本の郷土料理、第2子でつくる給食献立の入れるなど、見二十二に取り入れるなどもらえるが興味をもって食べてもらえるが、関連をもつて食べてもらに献立を工夫しました。〇児童生徒1人当の給食食べ残し量児童:30.7g、生徒:42.1g	栄養バランスのとれた給食を提供するため、家庭で不足しがちなよりいか鉄、食物繊維がとれるように献立作成をしました。中学校では、給食訪問時に残さいの多いおかずや嗜好調査を実施し、献立作成に反映しました。リクエスト献立や行事食、世界の料理、日本の郷土料理、親子童生はの入賞作品もらえるように工夫しました。〇児童生徒1人当の給食食べ残し量児童:30.5g、生徒:43.5g	栄養バランスのとれた給食を提供するため、家庭で不足しがちなカルシウムや鉄、食物繊維がとれるように献立作成をしました。 リクエスト献立や行事食、世界の料理、日本の郷土料理、親子でつくる給食献立の入賞作品等、児童生徒が興味をもって食べてもらえるように工夫しました。	栄養バランスのとれた給食を提供するため、家庭で不足しがちなカルシウムや鉄、食物繊維がとれるように献立作成をしました。 リクエスト献立や行事食、世界の料理、日本の郷土料理、親子でつくる給食献立の入賞作品等、児童生徒が興味をもって食べてもらえるような工夫をしました。	栄養バランスのとれた給食を提供するため、家庭で不足しがちなカルシウムや鉄、食物繊維がとれるように献立作成をしました。 リクエスト献立や行事食、世界の料理、日本の郷土料理、親子でつくる給食献立の入賞作品、生徒が考えたメニューの提供等、児童生徒が工夫をしました。

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月現在)

24・地元農産物の消費拡大、PR

【農業政策課】

現行の事業を継続しながら、平成 30年4月8日から運用開始したたつ ト (移動販売含む)や店頭で販売し のこ産直市場において、地元の新鮮 野菜を販売し、地産地消の推進に努 めました。

また、たつのこマルシェや秋の収 穫祭においても、農産物の PR に努め 消の推進を図りました。 ました。

たつのこ産直市場におけるイベン ている地元生産者の新鮮野菜につい て、市のメール配信や市の公式 Facebook・Twitter・インスタグラム | 等を活用し、周知 PR を行い、地産地 | (Facebook・Twitter・インスタグラ

また、毎月第3日曜日に開催して いる「日曜朝市やさい村」について も市のメール配信や市公式 SNS 等で 周知 PR し、消費拡大を図りました。

たつのこ産直市場における店頭で のPRや時季に応じたフェア開催等 による地元農産物の消費拡大を図る ほか、市役所正面玄関での農産物販 売、市広報紙や市公式SNS

ム等)の活用、地元農産物をメイン 食材としたレシピ集の配布などによ り、地元農産物をPRし、地産地消 を推進しました。

たつのこ産直市場の運営及び出張 販売、時季に応じたフェアの開催の ほか、食と農のアンバサダーを活か し、更なるレシピ考案を図り、イン フルエンサー協力のもとレシピの周 知を図りました。市広報紙や市公式 SNS等の活用により、地元農産物 のPRと消費促進に取り組みまし

令和3年度は、当市ブランド米の 種類と特徴についてまとめたパンフ レットを作成・配布し、地産地消を 推准しました。

たつのこ産直市場の店頭及び出張 販売、食と農のアンバサダーによる 旬の野菜を活用したレシピの提案、 市広報誌や市公式 SNS (Facebook・ Twitter・インスタグラム等) の活用 により、地元産農産物の PR と地産地 消の促進に取り組みました。

また、飲食店と連携した市内産農 産物を活用したメニューの提供や市 外イベント及び都内ラジオに出演し 農産物の PR を行い、更なる消費拡大 を図りました。

25・学校給食における地場産物の計画的な活用

【学校給食センター】

JA 竜ケ崎市や龍ケ崎市商工会と連 携し、毎月第3日曜の翌调の「茨城 をたべよう Week」や、11 月の地産 地消強化月間を中心に、学校給食に 地場産物を積極的に取り入れまし

また、給食献立表や給食カレン ダーを家庭に配布し、地場産物を紹 介しました。

- ○11 月の地場産物 (茨城県産・龍ケ 崎市産)の活用率:74%
- ○龍ケ崎トマトの提供:

小学校 11 回、中学校 14 回

JA 水郷つくばとの連携を図り、毎 月第3日曜の翌调の「茨城をたべよ う Week I や 11 月の地産地消強化月 間を中心に、学校給食に地場産物を 積極的に取り入れました。

また、給食献立表には年間を通 して当月使用予定の地場産物を明記 し、紹介しました。

○11 月の地場産物 (茨城県産・龍ケ 崎市産)の活用率:61%

○12 月の地場産物 (茨城県産・龍ケ 崎市産)の活用率:70%

○龍ケ崎トマトの提供回数: 小学校2回、中学校6回

JA 水郷つくばとの連携を図り、毎 月第3日曜の翌调の「茨城をたべよ う Week I や 11 月の地産地消強化月 間を中心に、学校給食に地場産物を 積極的に取り入れました。

また、給食献立表には年間を通し て当月使用予定の地場産物(龍ケ崎 市産及び茨城県産)を明記し、紹介 しました。

○11 月の地場産物 (茨城県産・龍ケ 崎市産) の活用率:67.2%

○12 月の地場産物 (茨城県産・龍ケ 崎市産)の活用率:43.4%

○龍ケ崎トマトの提供回数:小学校 1 回

○「茨城たべよう Week」には月平均した。 14.2 品目の地場産物を使用しまし た。

JA 水郷つくばとの連携を図り、毎 月第3日曜の翌週の「茨城をたべよ│月第3日曜の翌週の「茨城をたべよ う Week | や 11 月の地産地消強化月 う Week | や 11 月の地産地消強化月 間を中心に、学校給食に地場産物を間を中心に、学校給食に地場産物を 積極的に取り入れました。

また、給食献立表には年間を通し て当月使用予定の地場産物(龍ケ崎 て当月使用予定の地場産物(龍ケ崎 市産及び茨城県産)を明記し、紹介 市産及び茨城県産)を明記し、紹介 しました。

○11 月の地場産物(茨城県産・龍ケ 崎市産)の活用率:67.4%

○龍ケ崎トマトの提供回数:小学校 3回、中学校3回

〇毎月の「茨城をたべよう Week」に

JA 水郷つくばとの連携を図り、毎 積極的に取り入れました。

また、給食献立表には年間を通し しました。

○11 月の地場産物(茨城県産・龍ケ 崎市産)の活用率:70.8%

○龍ケ崎トマトの提供回数:小学校 6回、中学校5回

〇毎月の「茨城をたべよう Week」に 平均 13.7 品目の地場産物を使用しま | 平均 14.5 品目の地場産物を使用しま した。

> ○地場産物のみを使用した給食「い ばっぺごはんの日」を11月4日と2 月10日に実施しました。

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月現在)
26.『茨城を食べようメニュ	ュー』の募集・提供			【学校給食センター】
毎月第3日曜日の翌週の「茨城をたべようWeek」を中心に「茨城をたべようメニュー」を提供しました。また、平成29年度の親子でつくる給食献立「豚肉・トマトを使ったメニュー」での入賞作品を給食で提供しました。 ○豚肉・トマトを使った親子でつくる給食献立の提供回数 小学校:17回、中学校:15回	毎月第3日曜日の翌週の「茨城をたべようWeek」を中心に「茨城をたべようメニュー」を提供しました。また、平成29年度の親子でつくる給食献立「豚肉・トマトを使った親子でしました。 ○豚肉・トマトを使った親子でくる給食献立の提供回数 小学校:5回、中学校:7回 今年度の親子でつくる給食献立においては「いばらきの旬を味わうーが集まりました。	毎月第3日曜日の翌週の「茨城をたべようWeek」を中心に地場産物を積極的に活用したメニューを提供しました。 昨年度の親子でつくる給食献立「いばらきの旬を味わうメニュー」の茨城の食材を生かした入賞作品を給食で提供しました。 ○いばらきの旬を味わうメニューの提供回数・小学校:12回、中学校:9回		毎月第3日曜日の翌週の「茨城をたべようWeek」や地産地消強化月間である11月を中心に、茨城県産の食材を積極的に活用したメニューを提供しました。また、地場産物のみを使用した給食である「いばっぺごはん」を11月と2月に実施しました。〇11月茨城をたべようWeekにおける地場産物(茨城県産・龍ケ崎市産)の活用率:70.8%
27・小学生を対象に農作物の定植・収穫体験の実施 【農業政策				【農業政策課】
八原小学校2年生146人が、大根の収穫体験に参加し、農産物の生育について学び、食に対する関心・地産地消意識の促進を図りました。 実施日:播種9月12日 収穫11月14日	市民協働事業「ひまわり迷路&ひまわり油づくり事業」の中で、馴馬台小学校児童 45 人が栽培体験に参加し、農作物の生育を学び、食への関心や地産地消の意識を高めました。 【ひまわり栽培体験】 ・種まき体験:5月20日 ・種収穫体験:9月10日 ・栽培行程課外授業:12月11日	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、農業体験の実施に至りませんでした。	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、農業体験の実施に至りませんでした。	農業政策課単独での事業実施はありませんでした。

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月現在)				
28・公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団による農作物収穫体験の実施								
市内生産者の協力のもと、農産物収穫体験を実施して食と農りました。 【落花生の促進を図りました。 【落花生の説明、収穫体験】 日時:10月8日/場所:泉町/内容:落花生の説明、収穫体験、参加 [レンコンの説明、収穫体験] 日時:10月20日/場所:大徳町/内容・レンコンの説明、ココンの説明、ココンの説明、レンコンの説明、日時:11月11日/場所:農業公園豊作村/内容:大根板等】 日時:11月11日/場所・農業公園豊作村/内容:大袋(3本/袋)	容: 落花生の説明、収穫体験、茹で落花生試食/実績:9組19人参加[レンコン掘り体験] 日時:10月20日/場所:大徳町/内容:レンコンの説明、収穫体験、レンコン御飯やレンコンサラダ試食/実績:7組12人参加	日付:10月4日/場所:泉町/内容:落花生の説明、収穫体験、ボッチ作り体験/実績:15組32人参加[レンコン掘り体験]	[サツマイモ収穫体験] 日付:10月 30日/場所:豊作村/ /実績:26組 58人参加	36 組 97 人参加 [ブルーベリー収穫体験] 日付:7月/場所:貝原塚町/実 績:11 組 27 人参加 [落花生・サツマイモ収穫体験] 日付:10月/場所:板橋町/実績: 71 組 160 人参加 [レンコン掘り体験] 日付:11月/場所:大徳町/実績: 11 組 27 人参加 [サツマイモ収穫体験] 日付:10月30日/場所:豊作村/ /実績:当日自由参加				

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月現在)

29・「日曜朝市やさい村」の周知拡充

【農業政策課】

平成30年度以降も毎月第3日曜日 に上町商店街通りに面したにぎわい 広場にて「日曜朝市やさい村」を開 催し、毎月旬の新鮮野菜を生産農家 自ら販売し、地産地消の推進に努め ました。

開催回数:12回

毎月第3日曜日に上町商店街通りに面したにぎわい広場にて「日曜朝市やさい村」を開催しました。地元生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜などの販売やたつのこ産直市場の出張販売も実施し、新鮮卵などの販売を行いました。

開催回数:11回

毎月第3日曜日に上町商店街通り に面したにぎわい広場にて「日曜朝 市やさい村」を開催しました。

生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜 などの販売やたつのこ産直市場の出 張販売を推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症 対策等の影響により、開催回数は8 回となりました。

開催回数:8回

毎月第3日曜日に上町商店街通り に面したにぎわい広場にて「日曜朝 市やさい村」を開催しました。

生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜 などの販売やたつのこ産直市場の出 張販売を推進しました。

事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、開催可否を判断し、6回の実施となりました。(コロナ中止:5回、雨天中止:1回)

毎月第3日曜日に上町商店街通りに面したにぎわい広場にて「日曜朝市やさい村」を開催し、生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜などの販売を推進しました。

また市広報誌、市公式 HP で開催の周知を行い、うち 2 回開催した特別イベントではそれに加えて新聞折込も活用し、さらなる集客を図りました

開催回数:10回

30・給食指導や食育指導において地産地消の考え方と大切さを指導(食育を窓口として地産地消の考え方や大切さを指導)

【指導課】

学校においては、保健主事、給食主任、養護教諭等が中心となって、 関係職員との連携を図りながら、給 食指導および食に関する指導の全体 計画のもと校内の推進体制を整えて います。食に関する全体計画は全校 確実に作成されておりました。

地産地消の大切さについても、国 や県、市の方針に基づいて、給食委 員会の児童生徒を中心に、給食セン ターから出される献立表を活用しな がら地産地消に興味をもたせる活動 に取り組みました。 学校においては、保健主事、給食 主任、養護教諭等が中心となって、 関係職員との連携を図りながら、給 食指導および食に関する指導の全体 計画のもと校内の推進体制を整えて います。食に関する全体計画は全校 確実に作成されておりました。

地産地消については、社会科や家庭科の学習で大切さを学び、国や県、市の方針に基づいて、給食委員会の児童生徒を中心に、給食センターから出される献立表を活用しながら地産地消に興味をもたせる活動に取り組みました。

各学校においては、栄養教諭、給食主任が中心となり、関係職員と導携を図りながら「食に関する指導した。 全体計画」を作成するよう指導し、全学校で作成できました。特に、児童生徒の発達段階に応じた場果的な指導及び「食に関する指導の年間指導計画」に基づき、各教職員の専門性を活かした指導を行うよう指導しました。

地産地消については、社会科や家庭科の学習で、国や県、市の方針に基づいて、給食委員会の児童生徒を中心に、給食センターから出される献立表を活用しながら地産地消に興味をもたせる活動に取り組むよう指導しました。

各学校においては、栄養教諭、給 食主任が中心となり、関係職員と連 携を図りながら「食に関する指導の 全体計画」を作成しました。特に、 児童生徒の発達段階に応じた効果的 な指導及び「食に関する指導の年間 指導計画」に基づき、各教職員の専 門性を活かした指導を行いました。

地産地消については、社会科や家庭科の学習で大切さを学びました。 給食委員会の児童生徒を中心に、給食センターから出される献立表を活用しながら、地産地消に興味をもたせる活動に取り組みました。

また、市の事業である「いばっぺ ごはんの日」には、栄養教諭が作成 した動画を視聴し、地産地消につい ての知識が深められるよう指導助言 しました。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月現在)
31.茨城の食材を使用した料	斗理講習会の開催			【健康増進課】
茨城食文化伝承事業として 10 月に 4 回実施しました。 ・白菜とレンコン入りひき肉の重ね	習会を10~11月に4回実施しました。	茨城食文化伝承事業として 10 月に3回実施する予定でしたが、調理実習は新型コロナウイルス感染症のリスなが高いなれた。	止のため、料理講習会を実施しませんでした。また、令和3年度をもっ	
蒸煮	・刻みレンコンの棒餃子	スクが高いたため中止としました。	て龍ケ崎市食生活改善推進協議会は	
・長ネギの和風マリネ	・茄子とかぼちゃのサラダ	代わりに茨城の郷土料理のレシピの	全国及び茨城県食生活改善推進員協	
・サツマイモとりんごのきんとん	・小松菜とにんじんのヨーゲルト	配付をおこないました。	議会を退会しました。	

レシピを配布部数:80 部

味噌和え

が参加しました。

健センターで実施し、延べ40人が参文間コミセンで実施し、延べ36人

保健センター、城ノ内・大宮・北

龍ケ崎・西・久保台コミセン、保

加しました。

取り組み分野	(2) 身体活動・運動					
重点目標	・日常生活の中で、意識的にからだを動かす人を増やす					
成果指標		実績		実績	(9	%)
	目標値(令和 3 年度)(2021 年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	① 学校の授業以外にスポーツや趣味などで 60 分以上体を動かす(週 2 回以上)の割合 小学 6 年生 70.0% 中学 3 年生 60.0%	_	_	_	小学 6 年生:60.2% 中学 3 年生:56.1%	_
	② 体力テスト結果において県平均を上回った種目数 児童 2種目 生徒 4種目	児童 0 種目 生徒 1 種目	児童 0 種目 生徒 0 種目	新型コロナ ウイルスの 為実施なし	児童 0 種目 生徒 0 種目	児童4種目 生徒0種目
	③ 体力測定で総合評価 A または B の児童生徒の割合 児童 男:60.0%以上 女 60.0%以上 生徒 男 60.0%以上 女 60.0%以上	児童 男:49.4% 女:54.7% 生徒 男:49.5% 女:74.8%	児童 男: 44.0% 女: 51.2% 生徒 男: 43.7% 女: 71.9%	新型コロナ ウイルスの 為実施なし	児童 男:40.2% 女:47.0% 生徒 男:42.9% 女:63.8%	
	④ 運動部活動に参加していると答えた生徒の割合 モニタリング	_	_	_	_	_
	⑤ 日常生活における歩数の増加(7,000 歩以上) 10 ポイント増	_	_	-	20~64歳 男性:35.8% 女性:28.8% 65歳以上 男性:30.9% 女性:26.8%	_
	⑥ 運動習慣者の割合の増加 (1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している者)10ポイント 増	_	_	-	20~64歳 男性:21.3% 女性:18.1% 65歳以上 男性:41.5% 女性:34.5%	_
	⑦ スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数 8、800 人	8,285 人	8,756 人	2,297 人	2,835 人	3,727 人
	⑧ スポーツイベント教室の述べ利用者数(指定管理者) 51,000 人	47,895 人	42,541 人	27,456 人	29,070 人	35,854 人
	⑨ 総合型地域スポーツクラブ会員数 800 人	423 人	456 人	400 人	278 人	373 人
	⑩ スポーツクラブ等に加入している市民の割合 20%			_	11.3%	_

① ニュースポーツ教室・大会の述べ参加者数	1,200 人	1,137 人	1,339 人	34 人	新型コロナ ウイルスの 為実施なし	262 人
⑫ いきいきヘルス(シルバーリハビリ)体操教室述べ	ド参加者数 25,000 人	19,492 人	18,745 人	5,841 人	6,425 人	13,195 人
③ 元気アップ体操延べ参加者数	7,000 人	7,121 人	6,292 人	3,106 人	4,629 人	6,815 人
⑭ てくてくロードを歩いた延べ人数	2,300 人	1,176 人	974 人	1,063 人	649 人	487 人

①体力づくりの推進

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

1・体力テストや陸上記録会の実施

【指導課】

体力テストについては、市内全小 中学校で5月に実施しました。各校 とも前年度の結果に基づいた「体力 アップ推進プラン」「体力アップ1 校1プラン」を作成し、課題となる 種目や調査内容の改善に向けた取組 を推進しています。

平成30年度における「体力テスト 総合評価 A+B の割合」は小学校で男 子 49.4%、女子 54.7%、中学校で男 子 49.5%、女子 74.8%でした。

陸上記録会は小学校が5月16日 (水)、中学校が4月25日(水)に (水)、中学校が4月26日(金)に 実施されました。

体力テストについては、市内全小 中学校で5月に実施しました。各校 とも前年度の結果に基づいた「体力 アップ推進プラン」「体力アップ1 校1プラン」を作成し、課題となる 種目や調査内容の改善に向けた取組 を推進しました。

令和元年度における「体力テスト 総合評価 A+B の割合」は小学校で男 子 44.0%、女子 51.2%、中学校で男 子 43.7%、女子 71.9%でした。 陸上記録会は小学校が5月15日 実施されました。

本年度新型コロナウイルス感染拡 大防止のため体力テスト及び陸上記 録会は中止といたしました。

各校で体力テストと同じ種目を体 育の時間に実施し、来年度への意欲 付けとしました。

体力テストについては、感染防止 策を十分に講じながら実施しまし た。令和3年度における「体力テス ト総合評価 A+B の割合」は小学校 で男子 40.2%、女子 47.0%、中学校 | 女子 51.4%でした。 で男子 42.9%、女子 63.8%でした。

各小中学校における体力向上施策 については、体力テストの結果を受 け、「体力アップ推進プラン」およ び「体力アップ1校1プラン」の作 成を依頼し、学校教育活動全体を通 じた体力づくりが行われています。

陸上記録会は実施しておりませ 6

体力テストについて、令和4年度 における「体力テスト総合評価 A+B の割合」は、小学校で男子 36.1%、 女子 43.1%、中学校で男子 35.4%、

各小中学校における体力向上施策 については、「体力アップ推進プラ ン」および「体力アップ1校1プラ ン」の各校の実態や課題に応じた作 成を依頼し、学校教育活動全体を通 じた体力づくりが行われています。

陸上記録会は実施しておりませ h.

②部活動の活性化

平成30年度

活動生績及び成果

(平成31年3月末現在)
2 ・運動部の顧問教員の知識及び ・外部指導者の積極的な活用
顧問の指導に係る知識や技術の向上については、県教育委員会が主催する運動部活動指導者講習会に全中学校から職員が積極的に参加しました。 中学校部活動スポーツ指導者派遣
事業で、外部指導者の活用を図りました。派遣者数は次のとおりです。 ※外部指導者派遣数 13 人 (平成31年3月末現在) 【内訳】 愛宕中学校
・サッカー部・バスケットボール 部 各1人 城南中学校 剣道部・ソフトテニス部 各1人 城西中学校
卓球部・バスケットボール部 各 1 人 長山中学校 卓球部 1 人 中根台中学校
陸上部・柔道部・ソフトテニス 部 各1人 城ノ内中学校 弓道部・卓球部・ソフトテニス 部 各1人

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

び技術の向上

顧問の指導に係る知識や技術の向 上については、県教育委員会が主催 する運動部活動指導者講習会に全中 学校から職員が積極的に参加し、実 技研修会にも1人参加がありまし

> 龍ケ崎市体育協会ではスポーツ指 導者派遣事業として中学校部活動へ 外部指導者を派遣し、生徒の技術力 の向上を図りました。

外部指導者派遣数 9人 (令和2年3月末現在) 【内訳】

愛宕中学校

・バスケットボール部 1人 城南中学校

· 剣道部 1人

城西中学校

・ 卓球部 ・バスケットボール部 各1人

中根台中学校

- ·柔道部 ·陸上部 各1人 城ノ内中学校
- · 卓球部 · 弓道部
- ・ソフトテニス部 各1人

「NPO 法人クラブ・ドラゴンズ」に よるコンディショニングレクチャー 事業として中学校部活動へ専門的な トレーナーを派遣し顧問の指導力の 向上及び生徒の競技力の向上を図り ました。

(令和2年3月末現在)

【内訳】

現在派遣している指導者について は継続的に派遣を行い、新たな派遣 要望については体育協会等との連携 により、外部指導者の活用を促進し ました。

外部指導者派遣数 10人 【内訳】

城南中学校

· 剣道部 1人 長山中学校

・ソフトテニス部 1人 城西中学校

・卓球部・バスケットボール部・ 野球部 各1人

中根台中学校

・柔道部・陸上部・サッカー部 各 1 人

城ノ内中学校

・ 卓球部・ 弓道部 各 1 人

昨年度より、「NPO 法人クラブ・ド ラゴンズ! によるコンディショニン グレクチャー事業として中学校部活 動へ専門的なトレーナーを派遣し顧 問の指導力の向上及び生徒の競技力 の向上を図る事業を展開しています が、今年度はコロナウイルス感染症 の影響により実施を見送りました。

現在派遣している指導者について は継続的に派遣を行い、新たな派遣 要望についてはスポーツ協会等との 連携により、外部指導者の活用を促 進しました。

外部指導者派遣数 8人 【内訳】

長山中学校

- ・ソフトテニス部・卓球部 各1人 城西中学校
- ・卓球部・剣道部・野球部 各1人 中根台中学校
- ・サッカー部 各1人 城ノ内中学校
- ・卓球部・弓道部 各1人

「NPO 法人クラブ・ドラゴンズ」 と連携し、「中学校部活動コンディ ショニングレクチャー事業」として 中学校部活動に専門的なアスレ ティックトレーナの派遣を実施する 予定でしたが、昨年度に引き続き新 型コロナウイルス感染症の影響によ り実施を見送りました。

現在派遣している指導者について は継続的に派遣を行い、新たな派遣 要望についてはスポーツ協会等との 連携により、外部指導者の活用を促 進しました。

【指導課・スポーツ推准課】

外部指導者派遣数 11人 【内訳】

長山中学校

- · 卓球部 (男子) · 卓球部 (女 子)・ソフトテニス部 各1人 城西中学校
- ·卓球部·剣道部 各1人 中根台中学校
- ・サッカー部 1人 城ノ内中学校
- · 卓球部 (男子) · 卓球部 (女 | 子) ・ソフトテニス・バレーボール 各1人

龍ケ崎中学校

・ソフトテニス 1人

顧問の指導に係る知識や技術の向 上については、県教育委員会が主催 する運動部活動指導者講習会に全中 学校から職員が積極的に参加しまし

専門的な知識をもつ部活動指導員 を会計年度職員として雇用し、派遣 しました。

部活動指導員 1人 城ノ内中学校 陸上部

中	宇中学校:バスケットボール部 根台中学校:陸上競技部 西中学校:テニス部・バレー部・ 卓球部 剣道部		
城	バスケットボール部 プノ内中学校:弓道部 剣道部 陸上競技部		
	計 4中学校 11回		

③スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進

③スポーツ・運動を通じた健康		A == = 1 ±	A == = 1 ±	A # - 1 - 1
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
3・スポーツ教室・イベントの	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			【スポーツ推進課】
平成 31 年 3 月末現在の主なスポーツ教室・イベントの参加者数は次のとおりです。	令和2年3月末現在の主なスポーツ教室・イベントの参加者数は次のとおりです。	令和3年3月末現在の主なスポーツ教室・イベントの参加者数は次のとおりです。	令和4年3月末の主なスポーツ教室・イベントの参加者数は次のとおりです。	令和5年3月末の主なスポーツ教室・イベントの参加者数は次のとおりです。
スポーツ教室(指定管理者)の延べ 利用者数 47,895 人 市民スポーツレクリエーションまつ り参加者数 約2,500 人 市民スポーツフェスティバル参加者 数 3,245 人 市民ウォークラリー大会参加者数 297 人 ランニングクリニック 106 人 フィットネスウォーキング 延べ600 大 上記の教室・イベントほか 1,537 人	スポーツ教室(指定管理者)の延べ利用者数 42,541 人 市民スポーツ・レクリエーションま のり 約2,500 人 市民スポーツフェスティバル参加者 2,910 人 市民ウォークラリー大会 276 人 ランニングクリニック 118 人 ウォーキング教室 557 人 上記の教室 イベントほか 2,541 人	ランニングクリニック延 202 人ウォーキング教室延 321 人	利用者数 延 29,070 人	スポーツ教室(指定管理者)の延べ利用者数 延 35,854 人市民スポーツ・レクリエーションまつり 中止 市民スポーツフェスティバル参加者数 3,727 人ランニングクリニック 延 56 人ウォーキング講座 延 575 人サイクリング教室 延 15 人障がい者スポーツ支援事業 延 362 人ニュースポーツ推進事業 延 353 人

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

【スポーツ推進課】

4 ・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援

市広報誌、市公式ホームページなどに団員募集記事や各教室の記事を掲載し、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブを広く周知しました。

【団数·団員数】平成31年3月末現在

龍ケ崎市スポーツ少年団加盟 30 団体 約 700 人

総合型地域スポーツクラブ会員数423人

(スポーツ少年団の支援) 【民間バスの借上げ支援】

大会出場時に年1回を限度として民間バスの借上げを支援しました。 12件

【指導者養成講習会】

日時: 平成31年3月16日(土) 内容: ジュニアサッカーの実践練習

法とコーチング法 参加者数:12人 【活動拠点の支援】

体育施設の減免措置及び大会会場の 優先予約を実施しました。

(総合型地域スポーツクラブの支援)

【活動拠点の支援】

体育施設を優先的に貸出しました。 【交付金事業の支援】

市の交付金事業として2事業を実施しました。

- ・ランニングクリニック(11/3)参加者数 ···106 人
- ・フィットネスウォーキング講座… 通年開催 延べ 600 人

市広報誌、市公式ホームページなどに団員募集記事や各教室の記事を掲載し、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブを広く周知しました。

【団数・団員数・会員数】 令和2年3月末現在 龍ケ崎市スポーツ少年団加盟 31団体 約700人 総合地域スポーツクラブ会員数 456人

(スポーツ少年団の支援)

【民間バスの借上げ支援】

大会出場時に年1回を限度として 民間バスの借上げを支援しました。 12 件

【団員を対象とした講習会】

日時: 令和元年 11 月9日(土) 内容: コンディショニングレク チャー

参加者数: 3団体 41人

(総合型地域スポーツクラブの支援)

【活動拠点の支援】

体育施設を優先的に貸出しています。

【交付金事業の支援】

市の交付金事業として4事業を実施しました。令和2年3月現在の参加者数及び実施回数は次のとおりです

- ・ランニングクリニック 118人
- ・ウォーキング教室 延 557 人
- ・コンディショニングレクチャー 4 中学校 11 回
- · 小学生市陸直前合同練習会

少子化の進行に伴い、活動を縮小する少年団も見受けられますが、今後も継続して団員募集や活動拠点の確保を支援します。

【団数・団員数・会員数】 令和3年3月末現在 龍ケ崎市スポーツ少年団加盟 31団体 約700人 総合型地域スポーツクラブ会員数 400人

(スポーツ少年団の支援)

【民間バスの借上げ支援】

大会出場時に年1回を限度として 民間バスの借上げを支援しました。 5件

(総合型地域スポーツクラブの支援)

【活動拠点の支援】

体育施設を優先的に貸出しました。

【交付金事業の支援】

市の交付金事業として2事業を実施しました。令和3年3月現在の参加者数及び実施回数は次のとおりです。

- ・ランニングクリニック延 202 人
- ・ウォーキング教室 延321人
- ・コンディショニングレクチャー 加者 コロナウイルス感染症の影 す。 響により中止 ・・
- ·小学生市陸直前合同練習会

コロナウイルス感染症の影響により

響により中止

今年度より龍ケ崎市総合体育館外 13 施設の指定管理者であるたつのこ コロナ禍の影響による少年団活動 の制限や、少子化の進行に伴い、活 動を縮小する少年団も見受けられま すが、今後も継続して団員募集や活 動拠点の確保を支援します。

【団数・団員数・会員数】 令和4年3月末現在 龍ケ崎市スポーツ少年団加盟 31団体 約700人 総合型地域スポーツクラブ会員数 278人

(スポーツ少年団の支援)

【民間バスの借上げ支援】

大会出場時に年1回を限度として 民間バスの借上げを支援しました。

3件

(総合型地域スポーツクラブの支 と)

【活動拠点の支援】

たつのこまちづくりパートナーズ の構成員となったことにより、たつ のこフィールド・北文間体育館等で 安定した活動ができるようになりま した。

【交付金事業の支援】

市の交付金事業として6事業を実施しました。令和4年3月現在の参加者数及び実施回数は次のとおりです。

- ・ランニングクリニック延 170 人
- ・ウォーキング教室 延 226 人
- ・HOGU ストレッチ教室 延 379 人
- ・サイクリング教室 延 28 人
- ・グループオンライントレーニン グ 延 23 人

コロナ禍ではあるものの各競技ご との大会は徐々に再開し、少年団活 動もコロナ前に近づいてきました。 今後も継続して団員募集や活動拠点 の確保を支援します。

【団数・団員数・会員数】 令和5年3月末現在 龍ケ崎市スポーツ少年団加盟 30団体 約700人 総合型地域スポーツクラブ会員数 373人

(スポーツ少年団の支援)

【大会出場時貸切バス助成金】 大会出場時に年1回を限度として 民間バスの借上料を助成しました。 94

(総合型地域スポーツクラブの支援)

【活動拠点の支援】

スポーツサロン北文間館等が新た に開設されたことにより、幅広い年 齢層を対象とした教室が開催され、 安定した活動ができるようになりま した。

【交付金事業の支援】

市の交付金事業として6事業を実施しました。令和5年3月現在の参加者数及び実施回数は次のとおりです。

- ・ランニングクリニック延 56 人
- ・ウォーキング教室 延 272 人
- ・HOGU ストレッチ教室 延 575 人
- ・サイクリング教室 延 15 人
- ・障がい者スポーツ支援事業

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
	(50m/100m/800m/ボールスロー/走幅跳/走高跳) 5日間 194人	まちづくりパートナーズの構成員となったことにより、たつのこアリーナでの事業も増え、さらなる連携強化が図れました。	・障がい者スポーツ支援事業 延 165 人 ・コンディショニングレクチャー ・小学生市陸直前合同練習会 ※新型コロナウイルス感染 症の影響により中止	延 362 人 ・ニュースポーツ推進事業 延 353 人
5・ニュースポーツの推進				【スポーツ推進課】
ニュースポーツの研究として、スポーツ推進委員協議させるニューグループを対しました。 平成 31 年 3 月末現在の主な次のである。 平成 31 年 3 月末現在の主な次のである。 平成 31 年 3 月末現在の主な次のである。 ・エークラリー大会をです。・ニュクリーでは、アルー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	ニュポーツのでは、スンのでは、スンのでは、スンのでは、スンのでは、スンのでは、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型	不完まれる。 一、大会 一 、一、大会 一 、一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	龍ケ崎オリジナルのニュのを行い。 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)				
6 ・ロコモティブシンドロームについての講演会の開催 【健康増進								
10月と3月にロコモティブシンドローム・骨粗しょう症予防教室を開催しました。整形外科医による講演や保健師の予防運動、管理栄養士による講話・試食を実施しました。参加者40人(10月40人、3月45人)	10月9日(水)にロコモティブシンドローム・骨粗しょう症予防教室を開催しました。 整形外科医による講演や保健師の予防運動、管理栄養士による講話・試食を実施しました。 参加者数:23人 3月にも同様に開催しました。	3月3日(水)にロコモティブシンドローム・骨粗しょう症予防教室は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止となりました。	3月16日(水)にロコモティブシンドローム・骨粗しょう症予防教室は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止となりました。	3月にロコモティブシンドローム・骨粗しょう症予防教室を開催しました。 整形外科医による講演や保健師の予防運動、管理栄養士による講話とカルシウムを多く含む食品を実物で掲示し、今の摂取量にプラスして摂りたい食品の案内等を実施しました。参加者30人				
7・てくてくロードの紹介				【健康増進課】				
各コミュニティセンターなどで健幸ウォーキングマップの配布 市公式ホームページや市広報誌への掲載など、様々な機会を利用して、。13コースを完歩した方には完歩賞をとして賞状・缶しました。完歩賞交付者数:48人(延べ人数)	各コミュニティセンターなどで健幸ウォーキングでマップの配布 掲載への配布 掲載への表示に報えて、表々な機会を行いました。13コースを完歩した方には完歩り館優待券などを交付しました。完歩賞交付者数:52人(延べ人数)	各コミュニティセンターなどで健幸ウォーキングでマップの配布や掲載への記れ、様々な機会を行いました。13コースを完歩した方には完歩賞館では、また先着30人にはタッポまた先着30人にはタッポートの記さいました。完歩賞交付者数:50人(延べ人数)	した。	健幸ウォーキングマップの改訂を行い、名の配布を行いました。 また、の配式ホームページや会を行いました。 また、の掲載など、ロードの紹介を行いました。 13 コースを完歩した方には完かました。 13 コースを完歩した方には手ました。 ですがなどを交付者数:27 人(延べていました。 会を行いました。 完歩賞に、大力には元がなどを行いました。 には一半を行いました。 には、これを行いまた。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いました。 には、これを行いまと、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には				

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
8.元気アップ体操の紹介				【健康増進課】
市広報紙で元気アップ体操の紹介を行い、新たな参加者の募集を行いました。また、Facebook や出前講座で元気アップ体操の紹介を行いました。・特別養護老人ホームときわぎ(出前講座)	市広報紙等で元気アップ体操の紹介を行い、新たな参加者の募集を行うなど普及啓発を図りました。また、まいん「健幸」サポートセンターにおいて体験会を開催しました。	市広報紙で元気アップ体操の紹介を行い、普及啓発を図りました。 当初予定していたまいん「健幸」 サポートセンターにおける体験会は 新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止のため中止としました。	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体操教室も休止等が多かったことから、市広報紙等への掲載は見送りました。 次年度に向け、各会場のリーダーの方々に、参加状況や市広報紙への掲載希望の有無を確認しました。	市広報紙等で元気アップ体操の紹介を行い、新たな参加者の募集を行うなど普及啓発を図りました。
9.いきいきヘルス体操(シル	レバーリハビリ体操)の紹介			【健康増進課】
出前講座やイベント等を通じて、いきいきヘルス体操の紹介を行いました。また、市広報紙にて、シルバーリハビリ体操に関する紹介を行いました。 ・川原代ふれあい協議会 ・長寿大学 ・ふれ愛広場	市広報紙等によるシルバーリハビリ体操指導士会ならびに体操に会ならびに体操に会和2年3月号)。 出前講座やイベント時、相談を受けた際に、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市広報紙等によるシルバーリハビリ体操指導士会ならびに体操に関する紹介を行いました(市広報紙令和3年1月掲載)。また、10月にサプラスクエアと協働でイベントを行い、普及啓発を図りました。イベント人:北竜台公園でいきいきヘルス体操&サプラスクエアウォーキング参加者数:30人	サプラスクエア会場における体操は、1階フェスタコードが会場とがいることから、買い物を見学する等の姿を見受けられました。 多くの人が訪れる場所で活動をし、体操の普及啓発を図りサポーした。 その他、まいん「健幸」サポーしてなりまました。	サプラスクエア会場における体操は、1階では、1階では、1階では、1階では、1階では、1階では、1階では、1階で

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

10・特定保健指導における運動指導

【健康増進課】

有酸素編、筋トレ編、有酸素運動 と筋トレを組み合わせた上級編の3 つの内容に分け教室を実施しまし た。

- ・有酸素編 開催冋数7回 参加者 57人
- 筋トレ編 開催回数6回 参加者 56人
- 上級編 開催回数6回 参加者 29人

入門コース、有酸素コース、筋ト レコースの3つの講座を開催しまし た。運動習慣のない方から、継続し て運動をしている方まで、講話と実 技を組み合わせた内容を実施しまし

・入門コース

開催回数: 2回 参加者数: 22人

・有酸素コース

開催回数:1回 参加者数:6人

筋トレコース

開催回数:1回 参加者数:15人

ストレッチ編、シェイプアップ編 の2つのコースを用意し、運動習慣 のため、定員を10人と減らし、室内 ル別に2コースを用意し、初心者向 のない方から、やせようという気持 ウォーク編と椅子 de エクササイズ編 ちをお持ちの方までが、参加できる 2つのコースを実施しました。運動 内容を実施しました。

10 人としました。

・ストレッチ編

開催回数:10回 参加者数50人

・シェイプアップ編

開催回数: 9回 参加者数 38 人

新型コロナウイルス感染拡大防止 習慣のない方や足腰が悪く運動がで コロナ禍での実施のため、定員をきない方、やせようという方が参加 しました。

- ・室内ウォーク編 開催回数7回 参加者数28人 (延べ人数)
- ・イス de エクササイズ 開催回数7回 参加者数21人 (延べ人数)

対象者の運動習慣や運動強度レベ けの運動習慣コースと、運動習慣が ある方向けのダイエットコースを実 施しました。

- 運動習慣コース 開催回数6回 参加人数19人 (延べ人数)
- ・ダイエットコース 開催回数6回 参加人数29人 (延べ人数)

取り組み分野	(3) 飲酒						
重点目標	・適正な飲酒量などの知識を普及する						
成果指標					実績		(%)
	目標値(令和 3 年度)(2021 年度)		平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	① 妊娠中に飲酒している人の割合 0%		0.4	0	0.8	0.3	0.3
	② 飲酒の害を知っている児童生徒の割合	急性アルコール中毒 小学 6 年生 85.0% 中学 3 年生 95.0%	_	_	_	小学 6 年生 79.8% 中学 3 年生 97.3%	_
		アルコール依存症 小学 6 年生 80.0% 中学 3 年生 95.0%	_	_	_	小学 6 年生 83.5% 中学 3 年生 97.8%	_
		生活習慣病 小学 6 年生 70.0% 中学 3 年生 90.0%	_	_	_	小学 6 年生 70.7% 中学 3 年生 90.7%	_
	② 酒の適量を知っている市民の割合	50.0%以上	_	_	_	34.3%	_
	① 週3日以上かつ1日3合以上飲酒して 2.5% (男性 6.6%、女性 1.8%)	いる人の割合	_	_	_	男性:5.7% 女性:4.2%	_
	① γ-GTP 要指導・要医療者の割合 要指導者 8.0% 要医療者 2.0%		要指導者 10.5% 要医療者 3.8%	要指導者 9.2% 要医療者 3.8%	要指導者 9.7% 要医療者 4.5%	要指導者 9.7% 要医療者 4.6%	要指導者 9.2% 要医療者 3.0%

①未成年の飲酒をなくす取り組み

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

- 1・学習指導要領に基づく学習指導
 - ・飲酒の害に関する講演会の実施

【指導課】

飲酒の害については小学校第6学年と中学校第3学年で保健体育の保健分野で授業を行いました。

茨城県警職員や保健センター、少年サポートセンター、ライオンズクラブなどの人材を活用しての専門性を生かした工夫のある授業や学習を展開しました。

また、薬物乱用防止教室について も、茨城県警職員や少年サポートセンター、ライオンズクラブなどの人 材を講師として招聘し、小学校9 校、中学校6校で実施されました。 飲酒の害については小学校第6学年と中学校第3学年で保健体育の保健分野で授業を行いました。

また、全ての小中学校で薬物乱用 防止教室を、茨城県警職員や少年サポートセンター、ライオンズクラブ などの人材を講師として招聘して行われました。

その中で、飲酒の危険性などについても触れていただきました。

飲酒・喫煙を含めた薬物乱用防止 に係る指導は、全小中学校において 実施しました。

学校訪問を通して、専門性の高い 外部講師による学習会の開催を求 め、指導の実施状況を確認して、学 習指導要領に基づく学習の機会が提 供されるよう依頼しました。

新型コロナウイルス感染症の予防 を講じながら、全ての学校で実施で きました。 飲酒・喫煙を含めた薬物乱用防止 に係る指導は、全小中学校において 実施するよう指導しました。本年度 は専門性の高い外部講師を招き、15 校が対面での学習、2校がオンライ ンでの学習を実施しました。

また、指導の実施状況を確認して、教科領域の指導と関連付けて実施するよう指導しました。

飲酒・喫煙を含めた薬物乱用防止 に係る指導は、全小中学校において 実施するよう指導しました。本年度 は専門性の高い外部講師を招き、15 校が対面での学習を実施しました。

また、指導の実施状況を確認して、教科領域の指導と関連付けて実施するよう指導しました。

②妊娠中の飲酒をなくす取り組み

②妊娠中の飲酒をなくす取り組	み					
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)		
2・母子健康手帳交付時、プロ	2・母子健康手帳交付時、プレ・ママ教室時の保健指導 【健康増進課】					
母子健康手帳交付時にパンフレットを配布し、胎児への影響について指導しました。また、プレママ教室において、妊娠中の飲酒の影響について説明しました。妊娠届数:461人妊娠中飲酒している人:2人(0.4%)3~4カ月健診時アンケートで妊娠中飲酒していたと答えた人:3人(0.7%)プレママ教室(第1講座)参加者数:36人プレパパ教室参加者数:39人	母子健康手帳交付時にパンフレットを配布し、胎児への影響について指導しました。また、プレママ教室において、妊娠中の飲酒の影響について説明しました。妊娠届数:451人妊娠中飲酒している人:0人(0%)3~4か月児健診時アンケートで妊娠中飲酒していたと答えた人:4人(1.1%)プレママ教室(第1講座)参加者数:35人プレパパ教室参加者数:31人	妊娠中における飲酒の胎児への影響について、母子健康手帳交付時やプレママ教室時に指導しました。また、妊娠中の飲酒者に対する個別指導を実施しました。 妊娠届数:368人(転入者含む)妊娠中飲酒している人:3人(0.8%)3~4か月児健診時アンケートで妊娠中飲酒していたと答えた人:1人(0.2%)プレママ教室(第1講座)参加者数:20人プレパパ教室参加組数:29組	妊娠中における飲酒の胎児への影響について、母子健康手帳交付時やプレ・ママ教室及びプレ・パパ教室時に指導をしました。 妊娠届数:394人(転入者含む)妊娠中飲酒している人:0人3~4か月児健診時アンケートで妊娠中飲酒していたと答えた人:1人(0.3%)プレ・ママ教室(第1講座)参加者数:24人プレ・パパ教室参加組数:28組	妊娠中における飲酒の胎児への影響について、母子健康手帳交付時やプレ・ママ教室及びプレ・パパ教室時に指導をしました。 妊娠届数:394人(転入者含む)妊娠中飲酒している人:1人(0.3%)3~4か月児健診時アンケートで妊娠中飲酒していたと答えた人:0人プレ・ママ教室(第1講座)参加者数:16人プレ・パパ教室参加組数:37組		

③身体に負担をかけない飲み方の普及啓発

<u> </u>						
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)		
3 · 健康教室の実施 · 市広報紙やチラシ、ポスタ	3 · 健康教室の実施 市広報紙やチラシ、ポスターの配布 【健康増進課】					
糖尿病講演会で医師よりアルコールの適量について講話がありました。 実施回数:2回 参加者数:138人 特定保健指導や健康相談で多量飲酒者や γ-GT の高い方には適切な飲酒量の指導をしました。	特定保健指導初回面接・血糖改善コース・血圧改善コースでアルコールの1日の適量について講話をしました。	特定保健指導初回面接や個別栄養 相談、健康相談等でアルコールの適 量について情報提供しました。	特定保健指導初回面接や栄養相 談、健康相談等でアルコールの適量 について情報提供しました。	特定保健指導初回面接や栄養相 談、健康相談等でアルコールの適量 について情報提供しました。		
④多量飲酒者の割合を軽減する	取り組み					
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)		
特定保健指導初回面接や健康相談、栄養教室の保健指導において、多量飲酒者や γ - GT の高い方については、飲酒量や休肝日の重要性について個別指導を実施しました。	特定保健指導初回面接や血糖改善コース・血圧改善コースや健康相談等で1日のアルコールの適量について説明しました。	特定保健指導初回面接や健康相談を行うとともに、栄養の個別指導時に、多量飲酒者や γ - GT 高値等の血液検査値により指導の必要な方に、飲酒量を減らすことや休肝日の重要性について指導を実施しました。	特定保健指導初回面接や健康相談 時等の際に、多量飲酒者や γ - GT 高 値等の血液検査値により指導の必要 な方に、飲酒量や休肝日の重要性に ついて指導を実施しました。	特定保健指導初回面接や健康相談 時等の際に、多量飲酒者や γ - GT 高 値等の血液検査値により指導の必要 な方に、飲酒量や休肝日の重要性に ついて指導を実施しました。		

取り組み分野

重点目標

(4)喫煙

- ・受動喫煙を減らす
- ・たばこが健康に及ぼす影響についての知識を普及する

成果指標

				実績		(%)
目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)	
① 妊娠中にたばこを吸っていた人	の割合 4.6%	2.4	1.1	1.9	3.2	3.1
② 乳児のいる家庭で、父母がたばこを吸っている割合 父:30.0 母:2.0%		父:36.3% 母:4.5%	父:40.9% 母: 4.4%		父:37.1% 母: 8.6%	父:33.7% 母:5.6%
③ たばこの害について知っている 児童生徒の割合(がん、心疾患、歯周病)	がん 小学6年生 現状維持 中学3年生 現状維持	_	_		小学 6 年生 91.3% 中学 3 年生 99.3%	_
	心疾患 小学 6 年生 80.0% 中学 3 年生 90.0%	_	_	_	小学 6 年生 71.7% 中学 3 年生 88.9%	_
	歯周病 小学 6 年生 60.0% 中学 3 年生 85.0%	_	_	_	小学 6 年生 56.7% 中学 3 年生 83.2%	_
	副流煙 小学 6 年生 90.0% 中学 3 年生 現状維持	_	_	_	小学 6 年生 87.2% 中学 3 年生 98.1%	_
	赤ちゃんへの影響 小学6年生 現状維持 中学3年生 現状維持	_	_	_	小学 6 年生 94.3% 中学 3 年生 99.1%	_
④ 禁煙施設の認証数(建物内)	103	127		改正健康増進法の	成立により廃止	
⑤ 喫煙率 男性:23.0% 女	性:5.0%	_	_	_	男性: 19.3% 女性: 7.4%	_

①喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)			
1.喫煙習慣がある妊婦に対し	1.喫煙習慣がある妊婦に対し保健指導を実施						
母子健康手帳交付時に妊婦の喫煙 歴を確認し、喫煙習慣がある野みび受動喫煙について指導しました。 妊娠届出数:505人 母子手帳交付時喫煙者数(妊婦): 12人(2.4%)3~4か月児健診時アンケートで妊娠中喫煙していたと答えた人: 13人(3.1%)	母子健康手帳交付時に妊婦の喫煙 歴を確認し、喫煙別に対しておりではいて指導しました。 対しておりではないではいてはいる。 妊娠届数: 451 人 母子手は交付時、 母子手で性ををしていたと答えた人: 3~4か月児健診時アンケートで妊娠中喫煙していたと答えた人: 8人(2.1%)	の個別指導を実施しました。 また、必要に応じて禁煙外来の紹介をしました。 妊娠届数:368人(転入者含む) 母子手帳交付時喫煙者数(妊婦): 7人(1.9%) 3~4か月児健診時アンケートで妊娠中喫煙していたと答えた人: 8人(2.0%)	に を を を を を を を を を を を を を	昨年度に引き続き、でいます。 で書に関する情報や、いまなのの りの書に関する情報では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点			

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
2・プレ・ママ教室、プレ・/	パパ教室等で喫煙・受動喫煙につ		【健康増進課】	
プレ・ママ教室、プレ・パパ教室において、妊娠中の喫煙による胎児への影響についての保健指導をしました。また、加熱式タバコについての影響についてのいてのいでの影響についてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのいてのい	プレ・ママ教室、プレ・パパ教室において、妊娠中の喫煙による胎児への影響についての保健指導をしています。また、加熱式タバコについての影響についての情報も取り入れました。 プレママ教室(第1講座)参加者数:35人 プレパパ教室参加者数:31人	教室での講話だけでなく、平成31 年度から開始された、禁煙外来治療 費助成の周知を勧め、妊婦と同居する家族に対する禁煙指導を強化しました。 プレママ教室(第1講座)参加者 数:20人 プレパパ教室参加組数:29組	教室において、近娠中の保健指コに、近娠中の保健指コに、近極を行いて、近極を行い、変更にないの影響を行い、変更にないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	教室において、では、 の保健指すに、 をいてのように、 をいてのように、 をでした。 をでした。 でのようには、 をでいてのままで、 をでいてのままで、 のである。 でのようには、 でのようには、 でののである。 でのでのである。 でのでのでのである。 でのでのでのである。 でのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

3 ・家族に喫煙者がいる場合には、乳児家庭全戸訪問や乳幼児健康診査時に保健指導を実施

【健康増進課】

乳児家庭訪問や乳幼児健診時質問票により、家族に喫煙者がいた場合、乳幼児へのたばこの影響について説明しました。

乳児家庭訪問数: 426 件

乳幼児健診喫煙率

	母親 喫煙率 (%)	父親 喫煙率 (%)
3~4ヵ月建診	4.5	36.3
1歳6カ月健診	7.2	42.5
3歳5カ月児健診	9.6	41.9
合計	7.3	40.3

乳児家庭訪問や乳幼児健診時質問票により、家族に喫煙者がいた場合、乳幼児へのたばこの影響について説明しました。

乳児家庭訪問数:408件

乳幼児健診喫煙率

	母親 喫煙率 (%)	父親 喫煙率 (%)
3~4か月児健診	4.4	40.9
1歳6か月児健診	8.9	38.1
3歳5か月児健診	9.2	40.2
合計	7.7	40.1

乳児家庭訪問や乳幼児健診時質問票により、家族に喫煙者がいた場合、乳幼児へのたばこの影響について説明しました。

乳児家庭訪問件数:290件 (内、電話訪問58件)

※緊急事態宣言時は、家庭訪問せず電話応対実施。

乳幼児健診喫煙率

	母親 喫煙率 (%)	父親 喫煙率 (%)
3〜4か月児健診	4.2	35.2
1歳6か月児健診	8.4	42.1
3歳5か月児健診	10.8	42.3
合 計	8.1	40.0

乳児家庭訪問や乳幼児健診時質問票により、家族に喫煙者がいた場合、乳幼児へのたばこの影響について説明しました。

また、過去に喫煙歴のある産婦については、今年度より乳児家庭訪問において「再喫煙防止用」のチラシを配付し、出産後も継続して禁煙し続けることができるよう説明をしました。

乳児家庭訪問件数:318件 乳幼児健診喫煙率

	母親	父親
	喫煙率	喫煙率
	(%)	(%)
3~4か月児健診	7.1	39.3
1歳6か月児健診	8.4	39.0
3歳5か月児健診	9.9	33.8
合 計	8.6	37.1

乳児家庭訪問や乳幼児健診時質問票により、家族に喫煙者がいた場合、乳幼児へのたばこの影響について説明しました。

また、過去に喫煙歴のある産婦については、「再喫煙防止用」のチラシを配付し、出産後も継続して禁煙し続けることができるよう説明をしました。

乳児家庭訪問件数:316件

乳幼児健診喫煙率

	母親	父親
	喫煙率	喫煙率
	(%)	(%)
3~4か月児健診	5.6	33.7
1歳6か月児健診	7.9	34.9
3歳5か月児健診	9.0	38.1
合計	7.6	35.8

平成30年度
活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)

令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)

令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)

令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)

令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)

- 4・学習指導要領に基づく学習指導
 - ・たばこの害に関する講演会の実施

喫煙の害については、小学校第6 学年と中学校第3学年で保健体育の 保健分野で実施しています。

養護教諭と担任とのティーム・ ティーチングや茨城県警職員、少年 サポートセンターなどの人材を活用 しての専門性を生かした工夫のある 授業や学習を展開しています。

また、長期休業前には生活指導として再度確認しています。

喫煙の害については、小学校第6 学年と中学校第3学年で保健体育の 保健分野で実施しました。

養護教諭と担任とのティーム・ティーチングや茨城県警職員、少年サポートセンターなどの人材を活用しての専門性を生かした工夫のある授業や学習を展開しました。また、薬物乱用防止教室の際にもたばこの害について触れていただきました。

また、長期休業前には生活指導として再度確認しました。

飲酒・喫煙を含めた薬物乱用防止 に係る指導は、全小中学校において 実施しました。

学校訪問を通して、専門性の高い 外部講師による学習会の開催を求め たり、指導の実施状況を確認したり して、学習指導要領に基づく学習の 機会が提供されるよう依頼しまし た。

新型コロナウイルス感染症の予防 を講じながら、全ての学校で実施で きました。 飲酒・喫煙を含めた薬物乱用防止に係る指導は、全小中学校において実施するよう指導しました。今年度は専門性の高い外部講師を招き、15校が対面での学習、2校がオンラインでの学習を実施しました。

また、指導の実施状況を確認して、教科領域の指導と関連付けて実施するよう指導しました。

飲酒・喫煙を含めた薬物乱用防止 に係る指導は、全小中学校において 実施するよう指導しました。本年度 は専門性の高い外部講師を招き、15 校が対面での学習を実施しました。

また、指導の実施状況を確認して、教科領域の指導と関連付けて実施するよう指導しました。

5 ・歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員による喫煙禁止区域のパトロールを実施

【生活環境課】

【指導課】

市公式ホームページや広報紙等を活用し、公共の場所における歩行喫煙や喫煙禁止区域(佐貫駅前及び竜ヶ崎駅前)での喫煙等の禁止を周知するとともに、歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員2人による喫煙禁止区域等のパトロールを、概ね週6日(日曜・祝日・年末年始を除く)実施しました。

【喫煙禁止区域での喫煙による過料処分】

3人(H30.4.1~H31.3.31)

市ホームページや広報紙等を活用し、公共の場所における歩行喫煙禁止区域(龍ケ崎市駅前及び 竜ヶ崎駅前)での喫煙等の禁止を周知するとともに、歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員2人による喫煙系止区域等のパトロールを、概ね週6日(日曜・祝日・年末年始を除く)実施しました。

【喫煙禁止区域での喫煙による過 料処分】

4人 (H31.4.1~R2.3.31)

市公式ホームページや広報紙等を活用し、公共の場所における歩行喫煙や喫煙禁止区域(龍ケ崎市駅前及び竜ヶ崎駅前)での喫煙等の禁止を周知するとともに、歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員2人による喫煙禁止区域等のパトロールを、概ね週3日(日曜・祝日・年末年始を除く)実施しました。

【喫煙禁止区域での喫煙による過 料処分】

3人 (R2.4.1~R3.3.31)

市公式ホームページや広報紙等を活用し、公共の場所における歩行喫煙や喫煙禁止区域(龍ケ崎市駅前及び竜ヶ崎駅前)での喫煙等の禁止を周知するとともに、歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員2人による喫煙禁止区域等のパトロールを、概ね週3日(日曜・祝日・年末年始を除く)実施しました。

【喫煙禁止区域での喫煙による過料処分】

10 人 (R3.4.1~R4.3.31)

市公式ホームページや広報紙等を活用し、公共の場所における歩行喫煙や喫煙禁止区域(龍ケ崎市駅前及び竜ヶ崎駅前)での喫煙等の禁止を周知するとともに、歩きたばこ・ポイ捨て等防止指導員2人による喫煙禁止区域等のパトロールを、概ね週3日(日曜・祝日・年末年始を除く)実施しました。

【喫煙禁止区域での喫煙による過料処分】

3 人 (R4.4.1~R5.3.31)

- 6・禁煙認証施設についての周知・禁煙に関する健康相談の実施
 - ・健康診査結果説明会や市広報紙等での周知・地域、市民へのチラシやポスターの配布

【健康増進課】

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
公共施設や市歯科医師会等に対して、禁煙認証施設について周知し、申請を勧めました。昨年度末より4か所増の127か所となりました。未登録の学校より禁煙認証施設の申請があり、市内の全小中高の学校が禁煙施設となりました。禁煙に関する健康相談に随時対応しました。市役所庁舎内喫煙所には、喫煙が健康に及ぼす害についてのポスターやチラシを掲示しました。	健康相談において禁煙相談に応じました。 市役所掲示板や敷地内喫煙所に、 喫煙が健康に及ぼす害についてのポスターやチラシを掲示しました。 改正健康増進法施行に関連して市内コミュニティセンター喫煙所状況 を調査しました。今後市の施設の対応等を検討していきます。	改正健康増進法施行に伴い、公共施設の多くが原則敷地内禁煙とな廃止となりましたが、引き続き、喫煙が健康に及ぼす害について周知している特定屋外喫煙場所には、喫煙が健康・フェーのポスターやまっとを掲示しました。 健康相談において禁煙相談に応じています。	健康相談のほか、健診当日での禁煙相談を実施しました。 保健センターや市役所敷地内に設置されている特定屋外喫煙場所にポスターを掲示しました。 禁煙外来助成ポスターをショッピングセンター、禁煙外来実施医療機関に掲示を依頼しました。 チラシについては小中学校、市内保育所等でも配布していただきました。	健康相談のほか、健診当日での禁煙相談を実施しました。 保健センターにポスターを掲示しました。 禁煙外来助成ポスターをショッピングセンターやコミュニティセンター、禁煙外来実施医療機関に掲示を依頼しました。 チラシについては小中学校、市内保育所等でも配布していただきました。

②たばこをやめたい人及びその家族への支援

とうにはことでのたい人及びでの	/外,庆·V)又]友			
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
7・健康相談の実施・禁煙に	関する受療のための禁煙外来の周囲	知		【健康増進課】
月1~2回健康相談を実施しています。希望者には禁煙外来の周知をしました。 健康相談:21回 移動健康相談:2回 健康相談実施者数:140人 健診当日、禁煙希望者には禁煙指導をしました。	健康相談や健診当日の禁煙希望者に対し、禁煙指導を実施するとともに、対象者には禁煙外来を紹介しました。 健康相談・移動健康相談実施者数:51人 健診当日の禁煙指導:36人	健康相談は健診開始後の6月から 実施しています。健康相談実施日以 外にも相談があった場合には随時対 応しています。希望者には禁煙外来 を周知します 健康相談・移動健康相談実施者 数:120人 健診当日、禁煙希望者には禁煙指 導をします。 健診当日の禁煙指導実施者数:27人	健康相談や健診当日の禁煙希望者に対し、禁煙指導を実施するとともに、対象者には禁煙外来を紹介しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各コミュニティセンターでの移動健康相談は実施していません。 健康相談:74人 健診当日の禁煙指導実施者数:24人	健康相談や健診当日の禁煙希望者に対し、禁煙指導を実施するとともに、対象者には禁煙外来を紹介しました。昨年度に引き続き、新型コナウイルス感染症の拡大防止のため、各コミュニティセンターでの移動健康相談は実施していません。 健康相談:135人 健康相談:135人

③COPD(慢性閉寒性肺疾患)の知識の普及

$(3)COPD$ (慢性閉寒性肺疾患) σ)知識の普及			
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
8・地域・職域等へのチラシャ	やポスターの配布・健康相談の実施	施		【健康増進課】
・禁煙に関するポスターを各コミュニティセンターや市役所に掲示し、チラシの配布をしました。・中学生を対象とした加熱式たばこを含むたばこの害や COPD についての防煙教室マニュアルを作成し、市内中学校に周知をしました。 城西中学校及び愛宕中学校の1年生を対象に上記マニュアルに基づ時煙教室を実施しました。 3月26日に「COPDについて」のヘルス講演会を開催しました。講師:龍ケ崎済生会病院呼吸器内科宮崎邦彦先生参加者:49人	6月5日に「喫煙の害と禁煙について」のヘルス講演会を開催しました。 講師:龍ケ崎済生会病院呼吸器内科児玉孝秀先生 参加者:24人 愛宕中学校の1年生及び長山中学校1~3年生を対象に防煙教室を実施しました。 市役所掲示板や敷地内喫煙所に、喫煙が健康に及ぼす害についてのポスターやチラシを掲示しました。市ホームページに掲載されているCOPDについての記事を更新しました。	たばこの害や COPD についてのチラシやポスターを保健センターや市役所庁舎へ掲示しています。 健康相談において、希望者に禁煙指導を実施します。また、健診当日、禁煙希望者には禁煙指導をしています。 健診当日の禁煙指導実施者数:27人	たばこの害や COPD、禁煙外来についてのポスターの掲示を行うほか、健診当日に禁煙希望者へ保健指導を行いました。 健診当日の禁煙指導実施者数:24人また健診後は、禁煙指導をした方には、地区担当の保健師・管理栄養士が禁煙状況を確認しました。	

取り組み分野	(5) 休養					
重点目標	活動と休養のバランスがとれた生活を送ることができる人を増	やす				
成果指標				実績		(%)
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 2021 年)	令和 4 (2022 年)
	① よく眠れている児童生徒の割合 - 小学 6 年生:80.0% 中学 3 年生:80.0%		_	_	小学 6 年生 84.4% 中学 3 年生 76.8%	_
	② 1日あたり1時間以上ゲームをすると答えた児童生徒の割合 児童:53.0% 生徒:58.0%		項目変更	見 のため評価できず		_
	③ 1日あたり携帯電話やスマートフォンで1時間以上通話や メール、インターネットをすると答えた児童生徒の割合 児童:15.0% 生徒:50.0%					_
	④ 現在の睡眠に満足している人の割合 30%	_	_	_	24.9%	_

①睡眠による休養を十分とれていない者の減少のための取り組み

<u> </u>	いない者の減少のための取り組	الم		
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
1・チラシや市公式ホームペー	ージ等を活用し休養の重要性に関	する普及啓発(各小中学校等)		【指導課】
学校教・ では、「「マく」」では、「です」では、「です」では、「です」では、「です」です。 では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	全国学力・学習状況調査の児童によりでは、	各学校において「早寝、早起き、育をはん」の習慣ではのではのでは、3中学校では、3中学校では、3中学校でイン・ノータででは、3中学を通して、健会を提供して、一の啓にでするをです。できるできるできるできるです。できるでは、できるでは、できるできるできます。	ては、保健だより等で健康的な睡眠	を学校には、保護に、保護に、保護に、保護に、保護に、保護に、保護に、会が、できた。のでは、は、は、まず、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
2・睡眠に関する健康教室の実	≷施 地域、職域からの依頼に。	よる健康教育の実施専門家に	よる講演会の実施	【福祉総務課】
睡眠講演会「『健眠』のススメ〜 「健やかな眠り」の極意が見つかる 講演会〜」 開催日:9月3日 参加者数 60人 当課職員による睡眠講座を2回開 催しました。	専門家による睡眠講演会を開催しました。 睡眠講演会 「快暖のコツ〜高齢者の質の高い 睡眠を得るために〜」 開催日:9月9日 参加者:86人 また、市中央、 また、「睡眠の日」に合うわせてした。 書館にナナーを設営するアス感染症が、新型コーナウイルました。	専門家による睡眠講演会を開催する予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。	コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため講演会を中止し、YouTubeチャンネルによる公開講座に切りかえて実施しました。 228 回再生	3 1 3 3 3 1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 2 2 2 2 3 3 3 3

を行いました。

基本方針5 歯科口腔の健康維持

取り組み分野	(1) 歯科疾患の予防					
重点目標	全ての世代において歯科疾患の有病者を減らす					
成果指標		実績				(%)
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)
	① 妊娠期に歯科健診を受けたことがある産婦の割合 平成 28 年度実績より 10 ポイント増	50.0	44.7	44.2	52.5	54.9
	② むし歯のない3歳児の割合 85.0%以上	85.9	90.5	88.5	90.5	93.9
	③ フッ素塗布を受けたことがある3歳児の割合 93.0%	95.2	95.7	88.1	94.6	91.8
	④ 歯科検診においてむし歯のない児童生徒の割合 児童 73.0%(6 年生: 85.0%)生徒: 80.0%(3 年生: 80.0%)	児童 75.4% (6 年生:84.7%) 生徒:83.5% (3 年生:83.2%)	児童 75.6% (6 年生:84.5%) 生徒:84.8% (3 年生:83.8%)	児童:78.3% (6 年生:83.8%) 生徒:84.3% (3 年生:82.8%)	児童: 81.0% (6 年生:86.9%) 生徒: 86.2% (3 年生:86.0%)	児童: 79.0% (6 年生:84.3%) 生徒: 86.9% (3 年生:82.0%)
	⑤ 寝る前に歯をみがく児童生徒の割合 小学 6 年生:95.0% 中学 3 年生:95.0%	_	_	_	児童:90.8 生徒:87.8	_
	⑥ 昼食後歯をみがく児童生徒の割合小学 6 年生:80.0%中学 3 年生:30.0%	_	_	_	児童:27.0 生徒:35.2	_
	⑦ 定期的に歯科検診を受診した人の割合 現状維持	_	_	-	20~39 歳:28.6 40~64 歳:31.4 65 歳以上:42.1	-
	8 歯周疾患検診の受診率 30歳 9.0% 60歳 13.0% 40歳 9.0% 70歳 9.0% 50歳 10.0% 平均 10.0%	30 歳 8.3 40 歳 4.8 50 歳 8.1 60 歳 8.0 70 歳 12.4	30歳4.1 40歳6.8 50歳6.3 60歳10.0 70歳12.7	30 歳 6.1 40 歳 7.8 50 歳 9.4 60 歳 11.3 70 歳 11.2	30 歳 6.4 40 歳 9.2 50 歳 8.1 60 歳 12.1 70 歳 10.2	30歳4.6 40歳5.9 50歳6.5 60歳10.3 70歳6.3
	③ 歯周病を有する者の割合 37.0%	85.2	84.7	87.5	75.5	65.7
	⑩ 40歳で損失歯のない者の割合(市の歯科検診より)83.0%	80.4	82.4	86.1	89.6	98.0
	① 毎日1回は10分くらい歯磨きを行う人の割合 20~39歳 23.5% 40~64歳 29.4% 65歳以上 現状維持	_	_	_	20~39歳:28.340~64歳:32.265歳以上:47.0	_

② デンタルフロスや歯間ブラシを使用している人の割合		20~39 歳:23.8	
(ほぼ実践している人の割合)	_	 40~64歳:31.1	_
20~39 歳 17.1% 40~64 歳 31.6% 65 歳以上 現状維持		65 歳以上:40.1	

①妊娠期の歯科保健の推進					
平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)	
(十成31年3万术先红)	(节和2年3万术先生)	(节和5平5万术先红)	(节相4年3万术先生)	(节和5年5万术先红)	
1・妊娠中の口腔内の変化や、	歯周病の胎児への影響について	の説明、歯科健康診査受診勧奨		【健康増進課】	
母子健康手帳交付時に、すべての	母子健康手帳交付時に、歯科検診	母子健康手帳交付時に渡す健診受	母子健康手帳交付時に歯周疾患が	今年度より、母子健康手帳交付時	
妊婦に対し妊娠中はむし歯や歯周病	を受けるよう勧奨しました。	診勧奨チラシ作りを行いました。内	及ぼすリスクについてのチラシを配	に妊婦歯周疾患受診券と歯周疾患が	
などの病気が悪化しやすいことや、	プレ・ママ教室では、歯科衛生士か	容については歯科医師のアドバイス	付し、歯科健診受診勧奨を行いまし	及ぼすリスクについてのチラシを配	
歯周病は早産等の原因となることが	らの集団指導と希望者へは、口腔内	のもと作成し、また、出来上がった	た。また、産婦人科へもチラシの掲	付し、歯科健診受診勧奨を行いまし	
あること等について説明し、歯科健	のチェックを個別で行いました。	チラシについては、産婦人科5か所	示を依頼しました。	た。また、産婦人科へもチラシの掲	
診を受けるよう勧奨しました。	なお、産後は歯科受診率が急激に減	にも掲示してもらうよう依頼を行い		示を依頼しました。	
プレ・ママ教室でも同様に説明や	少してしまう傾向がみられていま	ました。	施し、希望者へは口腔内チェックを	プレ・ママ教室では集団指導を実	
勧奨を実施しました。	す。産後は受診に向けた環境づくり	プレ・ママ教室では、歯科衛生士	含め個別指導を行いました。	施し、希望者へは口腔内チェックを	
	(子どもの預け先の調整や外出支	の集団指導を行うとともに、口腔内	3~4か月健診では、保護者への	含め個別指導を行いました。	
母子健康手帳交付者数:461人	援)が難しくなることも多いため、	のチェックを希望者に個別指導を行	個別歯科指導を実施し、必要に応じ	3~4か月健診では、保護者への	
プレ・ママ教室(第1講座)参加者:	妊娠中にできる限り受診し、治療が	いました。	て受診勧奨を行いました。	個別歯科指導を実施し、必要に応じ	
36人	終了できるように働きかけを行いま	電子母子手帳や子育てきずなメー	母子健康手帳交付者数:353人	て受診勧奨を行いました。	
妊娠中に歯科検診を受診した割合:	した。また、3~4か月児健診時	ルを活用し、歯科保健についての情	(+転入者 41 人)	母子健康手帳交付者数:361人	
50.0%	に、母親への歯科指導を個別で実施	報を発信しました。	プレ・ママ教室(第1講座)参加	(+転入者 33 人)	
出産後に歯科検診を受診した割合:	し、妊娠中に歯科健診を受けていな	3~4か月児健診時に、母親への	_	プレ・ママ教室(第1講座)参加	
21.4%	い母親を中心に口腔内のチェック、	歯科指導を個別で実施し、妊娠中に	妊娠中に歯科検診を受診した割合:	者: 16人	
	必要に応じて受診勧奨を実施しまし	歯科健診を受けていない母親には、	52.5%	妊娠中に歯科検診を受診した割合:	
	た。	口腔内のチェックを実施しながら、	出産後に歯科検診を受診した割合:	54.9%	
	母子健康手帳交付者数:407人	必要に応じて受診勧奨を実施しまし	24.8%	出産後に歯科検診を受診した割合:	
	プレ・ママ教室(第1講座)参加者:	た。		23.8%	
	35人	母子健康手帳交付者数:335人			
	妊娠中に歯科検診を受診した割合: 44.7%	(十転入者 33 人)			
	1	プレ・ママ教室(第1講座)参加者: 22人			
	出産後に歯科検診を受診した割合: 21.3%	22 人 妊娠中に歯科検診を受診した割合:			
	Z 1.3/0	妊娠中に圏科快診を支診した割合: 44.2%			
		出産後に歯科検診を受診した割合:			

25.2%

②乳幼児、児童生徒のむし歯予防の推進

②乳幼児、児重生徒のむし圏方	的の推進			
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
2・乳歯萌出前から口腔機能の	の発達と健康に関する知識の普及	· 啓発		【健康増進課】
3~4か月児健康診立にお行う必要性、飲み物にはあるないのでは、またい	3~4か後のでは、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	3~4 後 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	3~4か後のでは、 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	3 本衛生 大のののののののののののののののののののののののののののののののののののの

平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
3・幼児健康診査時に歯みがる	き指導とフッ化物塗布を実施			【健康増進課】
1 歳6 かけい では、	1歳6か月児・ 3 歳5か月児健康を 4000 1歳5かがあれた。 1歳6かにあるがも指導である。 1歳6かにはいりでである。 1月間のは、1分割のでは、1分割のでは、10分割のでは、	までは、大きないので、大きないで、大きないので、大きないで、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないで、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないで、大きないでは、いいでは、大きないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	1歳6か計算 5 に 3歳年生 5 に 3歳 5 を 5 に 3歳 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5	1歳6か計画を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を

歳6か月歯科健診の未受診理由の把握や受診しての感想などを調査しま

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
	(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
			した。		
L					
	4・歯並びや顎の発達に影響す	する習癖に関する保健指導の実施			【健康増進課】
		1 4 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	1 5 0 5 0 10 0 5 5 5 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	1 4 6 4 9 9 9 4 5 4 9 19 19 19 19	1 4 0 4 0 10 0 4 0 4 0 10 10 10 10
Ī	1歳6か月児・2歳6か月児・3 歳5か月児健康診査において、指し	1歳6か月児・2歳6か月児・3 歳5か月児健康診査において、指	1歳6か月児・3歳5か月児健康 診査において、指しゃぶりや爪かみ	1歳6か月児・3歳5か月児健康 診査において、指しゃぶりや爪かみ	1歳6か月児・3歳5か月児健康 診査において、指しゃぶりや爪かみ
1	やぶりや爪かみ等歯並びや顎の発達	しゃぶりや爪かみ等歯並びや顎の発	等歯並びや顎の発達に影響する習癖	等歯並びや顎の発達に影響する習癖	等歯並びや顎の発達に影響する習癖

1歳6か月児・2歳6か月児・3歳5か月児健康診査において、指しゃぶりや爪かみ等歯並びや顎の発達に影響する習癖があった児については、歯科衛生士・保健師等が保護者に対して、対処方法について指導を実施しました。

1歳6か月児・2歳6か月児・3歳5か月児健康診査において、指しゃぶりや爪かみ等歯並びや顎の発達に影響する習癖があった児については、歯科衛生士・保健師等が保護者に対し、対処方法の指導を実施しました。

栄養士より乳幼児健診時に、噛むことの大切さを伝え、食事の形状などについて個別で指導しました。

1歳6か月児・3歳5か月児健康 診査において、指しゃぶりや爪かみ 等歯並びや顎の発達に影響する衛生 があった児については、歯科衛生 士・保健師等が保護者に対し、2歳6 か月児歯科健診においては、医療機 関にて上記と同様の指導を依頼いよ います。また、噛み合わせの悪が 子さんに対しては、市独自で作成し たリーフレットを配布しました。

栄養士より乳幼児健診時に、噛むことの大切さを伝え、食事の形状などについて個別で指導しました。

1歳6か月児・3歳5か月児健康 診査において、指しゃぶりや爪かみ 等歯並びや顎の発達に影響する習癖 があった児については、歯科衛生 士・保健師等が保護者に対し、2歳6 か月児歯科健診においては、医療しいます。また、噛み合わせの悪いお 子さんに対しては、市独自で作成したリーフレットを配布しました。

栄養士より乳幼児健診時に、噛むことの大切さを伝え、食事の形状などについて個別で指導しました。

1歳6か月児・3歳5か月児健康 診査において、指しゃぶ響するで、指しゃぶ響するで、指しゃぶ響するで見については、歯科衛生があった児については、歯科の指導を実施しました。2歳行りの指導を実施しまいた。医療機関にて上記と同様の指導を依頼しいます。また、噛み合わせの作りにす。また、噛み合わせの作りに対しては、市独自で作のよりに対しては、市独自で作のたりによりにある。

栄養士より乳幼児健診時に、噛む ことの大切さを伝え、食事の形状な どについて個別で指導しました。

5・健康に関する情報提供やむし歯の予防を推進

【指導課】

市内各校では保健だよりの発行を通して、児童生徒の実態を知らせたり、予防に係る各種情報を提供したりしています。また、校内では児童生徒による保健委員会の活動を通じた啓発活動に取り組んだり、給食後の歯磨きの励行を推進しました。

毎年度歯科検診を実施し、検査結果に基づいた治療勧告を保護者宛てに通知し対応にあたってもらうようにしていますが、受診完了率は5割を切っております。

各校では保健だよりの発行を通して、児童生徒の実態を知らせたり、 予防に係る各種情報を提供したりしました。また、校内では児童生徒による保健委員会の活動を通じた啓発活動に取り組んだり、給食後の歯磨きの励行を推進したりしましたが、大規模校の場合には給食後の歯磨さは困難なようです。

毎年度歯科検診を実施し、検査結果に基づいた治療勧告を保護者宛てに通知し対応にあたってもらうようにしていますが、受診完了率は5割を切っております。

今年度は給食後の歯磨きについては、密集防止とうがい時の飛沫防止の観点から、新しい生活習慣に慣れるまで中止としていました。学校の実態や感染拡大の状況を見ながら、歯磨きは再開しております。

養護教諭をゲストティーチャーとして活用する歯磨き指導、保健委員会の児童生徒による歯磨き普及活動、保健だよりによる家庭への啓発などの取組を通して、むし歯予防を推進しました。

学校訪問の際に、歯科検診等の結果を受けて、状況を見ながら受診するように依頼しましたが、受診完了率は5割を下回っております。

むし歯予防の推進のため、養護教諭をゲストティーチャーとして活用する歯磨き指導、保健委員会の児童 生徒による歯磨き普及活動、保健だよりによる家庭への啓発などに取り組みました。

学校における歯磨きについては、 学校医等の専門家の意見や最新の知 見に基づき、新型コロナウイルス感 染防止策を講じて、学校の実態に応 じて実施しています。

学校訪問の際に、歯科健診結果に 基づく受診勧告と受診完了報告の進 捗状況を確認し、受診率が高まるよ う各学校に改善を求めました。 むし歯予防の推進のため、保健委員会の児童生徒による歯磨き普及活動、保健だよりによる家庭への啓発などに取り組みました。

学校における歯磨きについては、 学校医等の専門家の意見や最新の知 見に基づき、新型コロナウイルス感 染防止策を講じて、学校の実態に応 じて実施しています。

歯科検診を実施し、検査結果に基づいた治療勧告を保護者宛てに通知しております。学校訪問の際に、歯科健診結果に基づく受診勧告と受診完了報告の進捗状況を確認し、受診率が高まるよう各学校に改善を求めました。

③歯周疾患検診及び事後指導の推進

②困问状忠快診及び事後拍等の	私向庆志快的及び事 後 拍导の推進										
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)							
6 ・歯周疾患検診の案内を ・未受診者への年度途中(実施 の受診勧奨通知及び未受診者への	アンケート調査の実施		【健康増進課】							
歯周疾患検診(医療機関検診)を 龍ヶ崎市歯科医師会の委託し、下記 対象者に個人通知の上、健診を実施 しました。 対象者:平成31年3月31日現在 で、30歳、40歳、50歳、60歳、 70歳に到達する方 実施期間:平成30年6月1日~平成 31年3月31日 11月には検診未受診者の方にはが きで受診勧奨をした。往復はが きによるアンケート調査は実施して おりません。 平成30年度実績 【対象者】 5,232人 【受診者】 418人 【受診本】 7.9%	歯周疾患検診(医療機関検診)を 龍ヶ崎市歯科医師会の委託し、下記 対象者に個人通知の上、健診を実施 しました。 対象者:令和2年3月31日現在で、 30歳、40歳、50歳、60歳、70歳 に到達する方 実施期間:令和元年6月1日~令和 2年3月31日 令和元年度実績 【対象者】 5,091人 【受診本】 432人 【受診率】 8.5%	歯周疾患検診(医療機関検診)は、例年6月から開始しての感染年7月10のをかり、実施期間は令和3年3月31日とします。対象者:令和3月年3月31日現在で、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳に到達する方未受診しない方へのアンケートを同封します。 【対象者】 5,054人 【受診率】 9.5%	歯周疾患検診(医療機関検診)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施期間は令和3年8月1日~令和4年3月31日とした。対象者:令和4月年3月31日現在で、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳に到達する方未受診理由を知るために、受診券に受診しない方へのアンケートを同封しました。7月末に対象者に受診券等の個別通知をしました。【対象者】 5,016人【受診者】 469人【受診率】 9.4%	歯周疾患の表に と、 を記 対象 と、 を記 対象 を に 医療機 医師 を に と、 を 記 対象 者 に の 受 が 係を が ま し に 年代の受 が 像 を が ま し た の 受 が 低 い た ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま							

【受診率】 22.7%

④歯周疾患検診等の予防に関する知識の普及・啓発

④歯周疾患検診等の予防に関す	る知識の普及・啓発			
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)
7・市広報紙・市公式ホーム	ページなどによる歯周病予防の啓	発		【健康増進課】
市広報紙6月号にて、歯周疾患検診や歯周病について掲載しました。	市広報紙に6月4日虫歯予防デー に合わせて歯周疾患検診の案内を掲載しました。	今年度は、市公式ホームページに 歯周疾患検診について掲載しまし た。	市広報紙6月号にて、歯周病について掲載しました。	市公式ホームページ、市広報紙6 月号に、歯周疾患検診の案内を掲載 しました。
8・歯科講演会の開催				【健康増進課】
歯科講演会の日程を調整し、平成 31年2月14日に開催しました。 講師:けやき歯科クリニック 参加者:40人	歯周病と生活習慣についての内容で歯科講演会を令和2年2月13日に開催しました。 講師:けやき歯科クリニック参加者: 44人	「幼児期から噛む力をつけるために」をテーマに講演会を行いました。 実施日:令和3年2月25日。 感染拡大予防のためリモートによる 実施。 講師:けやき歯科クリニック リモートのシステムの都合上、最大で20人までとなった。	「全身をむしばむ歯周病へロヘロコロリよりピンピンコロリ〜歯周病と糖尿病などの関係について〜」実施日予定日:令和4年2月10日。講師:けやき歯科クリニック講演会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。	「全身をむしばむ歯周病へロヘロコロリよりピンピンコロリ〜歯周病と糖尿病などの関係について〜」をテーマに講演会を行いました。実施日:令和5年3月2日。講師:けやき歯科クリニック参加者:11人
9・地元企業へのチラシの配				【健康増進課】
5月11日、つくばの里工業団地運営協議会にて、検診等についてのチラシを配布し、受診勧奨をしました。	5月 17 日つくばの里工業団地に て、禁煙外来助成制度や市のがん検 診に周知しました。また、ポスター 掲示を依頼し、受診勧奨しました。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施せず。歯周疾患検診は個人通知しました。	地元企業へのチラシの配布はせず、歯科健診協力医療機関にポスターの掲示を依頼しました。対象者には通知のほか、市公式ホームペー	地元企業へのチラシの配布はせず、歯科健診協力医療機関にポスターの掲示を依頼しました。対象者には通知のほか、市公式ホームページでも関切しました。

ジでも周知しました。

ジでも周知しました。

取り組み分野	(2) 口腔機能の維持の促進								
重点目標	生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられる人を増やす (6424・8020運動の推進)								
成果指標			(%)						
	目標値(令和3年度)(2021年度)	平成 30 (2018 年)	令和元 (2019 年)	令和 2 (2020 年)	令和 3 (2021 年)	令和 4 (2022 年)			
	① 60~64歳で24本以上自分の歯を持つ人の割合 60.0%	_	_	_	55.4	_			

①口腔機能の維持に関する知識の普及・啓発

山口腔域形の飛行に関する知識	00日及 百元								
平成30年度 活動実績及び成果 (平成31年3月末現在)	令和元年度 活動実績及び成果 (令和2年3月末現在)	令和2年度 活動実績及び成果 (令和3年3月末現在)	令和3年度 活動実績及び成果 (令和4年3月末現在)	令和4年度 活動実績及び成果 (令和5年3月末現在)					
1・市広報紙・市公式ホーム/	ページを活用し、歯の大切さの啓発	発、6424 運動*及び8020 運動*	の推進	【健康増進課】					
市広報紙6月号にて、歯周疾患検診や歯周病について掲載しました。	市広報紙に6月4日虫歯予防デーに合わせて歯周疾患検診の案内を掲載しました。	今年度は、がん検診とともに市公 式ホームページに掲載しました。	がん検診とともに市公式ホーム ページに掲載しました。市広報紙6 月号にて、歯周病について掲載しま した。	市公式ホームページ、市広報紙6 月号に、歯周疾患検診の案内を掲載 しました。					
2・歯科講演会の開催				【健康増進課】					
歯科講演会の日程を調整し、平成 31年2月14日に開催しました。	歯科講演会を令和2年2月13日実施しました。 講師:けやき歯科クリニック 参加者: 44人	「幼児期から噛む力をつけるために」をテーマに講演会を行いました。 実施日:令和3年2月25日。 感染拡大予防のためリモートによる 実施。 講師:けやき歯科クリニック リモートのシステムの都合上、最大 で20人までとなった。	「全身をむしばむ歯周病へロへロコロリよりピンピンコロリ〜歯周病と糖尿病などの関係について〜」実施日予定日:令和4年2月10日。講師:けやき歯科クリニック講演会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。	「全身をむしばむ歯周病へロへロコロリよりピンピンコロリ〜歯周病と糖尿病などの関係について〜」をテーマに講演会を行いました。実施日:令和5年3月2日。講師:けやき歯科クリニック参加者:11人					
3 · 口腔ケアに関する講演会等(出前講座、複合型介護予防事業)の開催(平成 29 年度より実施予定事業) 【福祉総務課】									

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果	活動実績及び成果
(平成31年3月末現在)	(令和2年3月末現在)	(令和3年3月末現在)	(令和4年3月末現在)	(令和5年3月末現在)
出前講座や介護予防事業の講座 (複合型介護予防講座等)において、口腔機能や口腔ケアに関する講話を行いました。 [出前講座] 実施回数2回:参加者数25人 [介護予防講座] 実施回数4回:参加者数82人	出前講座や介護予防講座(複合型 介護予防講座・上手な年の重ね方形 座等)において、回転をでに関する正しい知識 でででででででででででででのでは、 口腔ケアに関する正しい知識の 音及を図りました。 「出前講座」6月8月12月に実施。 実施回数3回参加者数53人 「介証を図数:3回参加者数:106人 「健口数:2回参加者数:23人	出前講座や介護予防講座(複合型 介護予防講座・上手な年の重ね方講 座等)において、口腔機能や嚥下機 能、口腔ケアに関する正しい知識の 及を図りました。 [介護予防講座] 実施回数:5回 参加者数:65 人 また、今年度の健口教室は、新型 コロナウイルス感染症感染拡大防止 のため、中止としました。	出前講座や介護予防講座(一体化介護予防講座[複合型介護予防事業含む]・上手な年の重ね方講座等)において、口腔機能や嚥下機能、口腔ケアに関する正しい知識の普及を図りました。 「出前講座] 1回 17人 [一体化(介護予防)] 13回 人 [上手な年の重ね方講座] 2回 18人	介護予防講座(一体化介護予防講座 [複合型介護予防事業含む]・上 手な年の重ね方講座等)において、 口腔機能や嚥下機能、口腔ケアに関 する講義を行い、口腔ケア等に関す る正しい知識の普及を図りました。 [一体化(介護予防)] 12回 149人 [上手な年の重ね方講座] 2回 34人

基本	取り組みの	指標	ベース値	目標値	課題	令和 5 年度の主な取組み	各年度(り目	目標値·実績値		
方針	分野	1 I IV	八區	口小佢	11小尺区	日祖の一及の工・各状態が	令和5年度	令和64 !	年度 令和7年度	令和8年度	
		乳児家庭全戸訪問	96.0%	98.0%以上		【乳幼児健診】	97%				
		3~4か月児健康診査受診率	97.2%	98.0%以上	○乳幼児健康診査受診率の増加○特定健康診査受診率の増加	●休日健診の実施(2回/年) ●未受診者への勧奨(電話・訪問など)	98%				
	<i>松</i> 妻	1歳6か月児健康診査受診率	97.9%	98.0%以上		【特定健診】	98%				
	健 康 管 理	3歳5か月児健康診査受診率	93.6%	95.0%以上		●健診未受診者理由アンケート ●アンケート結果に基づく対応	94%				
	理	特定健康診査受診率	32.3%	35.0%		●健診未受診者への訪問 ●未受診者勧奨通知の発送(7月·10月) ●集団検診予約について:コールセンター開始 ●検診の新たな申し込み方法の検討 ●休日の集団健診の実施	33%				
		しょっぱいものを食べ過ぎると血圧が高くなりやすいことに	74.9%	75.0%			_				
		ついて知っている児童生徒の割合	91.1%		〇メタボリックシンドローム該当者割合の減	●高血圧予防教室の開催(7月8日) ●糖尿病予防講演会の実施(2回/年)	_				
		3歳5か月児健診時の保護者の塩分チェックシートの点数	11.06 点	9.6 点	ーグ 〇高血圧重症化予防対象者(Ⅱ度高血圧		_				
		26 週頃の妊婦健康診査の血糖値 100mg/dl 以上の割合(妊娠糖尿病の早期発見)	45.6%	40.0%		・松本アイクリニック	44%				
		糖尿病腎症により新規に透析を導入される人数	19 人	10 人	上)の割合の減少	●土日の特定保健指導の実施	17人				
	循環	糖尿病有病者の割合(40-74歳)	9.0%		脂質異常症重症化予防対象者(LDL コ		9%以下				
定	器	高血圧重症化予防対象者(Ⅱ度高血圧以上)の割合	4.2%	減少	レステロール 180 mg/dl 以上)の割合の 減少	●乳幼児健診時に減塩の話をする (保護者の塩分チェックシート 14 点以上から管理栄養士の個別指導	3%以下				
別的な健康チ	循環器疾患·糖	糖尿病重症化予防対象者(HbA1c6.5%以上、治療中は7%以上)の割合	7.6%	減少		10 点~13 点保健師による個別指導) ●健診にて血圧や HbA1c、LDL コレステロールが高かった方に訪問等の個	7.6%以下				
	尿病	脂質異常症重症化予防対象者(LDL コレステロール 180 mg /dl 以上)の割合	4.7%	減少		別指導 ●BMI25 以上の方へ、適正体重についてチラシ等による情報提供	4.7%以下				
康チェック		メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合	8.8% (予備軍)	8.0%		●前年度、糖尿病·高血圧未治療者·中断者への医療機関受診勧奨通知の発送	8.6%				
クの推進		アグハリブブンコローム 計画研 改当省の前日	16.5% (該当者)	15%			16%				
進		特定保健指導対象者の割合	12.7%	減少			12%				
		特定保健指導の実施率	61.0%	60.0%			60%				
		胃がん検診受診率	10.7%	13.7%	○各がん検診受診率の増加	 ●肺がん検診未受診者に対する勧奨通知の発送(R6. 1月):国保のみ	11%				
		肺がん検診受診率	17.0%	20.0%		●ヘルス講演会「肺がんについて」の開催(7月6日)	18%				
		大腸がん検診受診率	11.7%	14.7%		●がん検診無料クーポン券の送付(5月下旬)●土日の集団検診(特定健診・婦人科検診)の実施	12%				
		乳がん検診受診率	16.4%	19.4%		●集団検診の予約について:コールセンター開始 ●乳幼児健診時に保護者にがん検診の周知(リーフレット作成)	17%				
	が	子宮頸がん検診受診率	17.4%	20.4%			18%				
	6	要精密検査受診率 胃がん	83.3%	86.3%以上			84%				
		肺がん	97.2%	98.0%以上			93%				
		大腸がん	97.9%	98.0%以上			83%				
		乳がん	93.6%	95.0%以上			92%				
	-	子宮がん	32.3%	35.0%			86%				

基本	取り組みの	指標	ベース値	目標値	課題	令和 5 年度の主な取組み	2	・年度の目	票值·実績值	
方針	分野	15 IV	八個	口小匠	DA AZ	日祖(一大文)工でが加い	令和5年度	令和6年	度 令和7年度	令和8年度
		[標準化死亡比](悪性新生物)	男性 0.97	現状維持			—			
			女性 0.99	現状維持			_			
		エジンバラ産後うつ病質問票で9 点以上だった割合	6.1%		○産後うつの予防	●育児不安等を抱える保護者への継続支援	5.8%			
		困った時に相談できる人がいない割合 小学6年生	6.5%	4.0%	〇適切な相談先等の周知	●母子保健に関する相談先一覧の配布	_			
	- J- J	中学2年生	6.3%	4.0%		●定期的な要支援妊産婦会議の開催(1 回/月) ●プレママ・プレパパ教室での産後うつに関する情報提供	_			
	こころの健康	悩みや不安を感じたときに、相談できる人がいない割合	18.3%	減少		●精神科受診が必要と思われる妊産婦を各関係機関につなぐ	_			
	健 康	最近 1 か月の間に、ストレスやイライラを感じたことがある人の割合	66.0%	60.0%		●対象者に合わせた相談先の紹介	_			
		気分[感情]障がい(躁うつ病を含む)の受療率	47.0	モニタリング			_			
元気		学校の授業以外にスポーツや趣味などで60分以上体を動かす児童生徒の割合(週2回以上) 小学6年生	60.2%	60.0%	などで 60 分以上からだを動かす(週2回以上)児童の割合」の増加 〇「日常生活における歩数、7,000 歩以上歩いている人の割合」の増加 〇運動習慣の定着化 〇すべての世代で自分に適した運動を	 こどもの運動習慣に関する周知(りゅうほー) ●特定保健指導における運動指導 ●健康相談における個別指導 ●スポレク、リレーマラソン時等に健康マイレージの周知・登録 ●乳幼児健診、特定健診時に健康マイレージの周知 ●コース型認知機能低下予防講座の開催(6コース/年) ●高齢者単発型介護予防講座の開催(週2日程度) ●40代・50代向けコース型運動講座の開催(計4回の2コース) 	_			
な 身		中学3年生	56.1%	60.0%			_			
元気な身体づく		日常生活において 1 日あたり 7,000 歩以上歩いている 人の割合 【20~64 歳】 男性	35.8%	40.0%			_			
ij		【20~64 歳】 女性	28.8%	35.0%			_			
ところの		【65歳以上】男性	30.9%	35.0%			_			
ろのよ	身休	【65歳以上】女性	26.8%	30.0%	〇生活活動の中で運動量を高める意識 の向上	●介護予防講座(運動講座)の開催(全8回の2コース)	_			
ケアの#	身体活動·運	1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以 上継続している人の割合 【20~64歳】男性	21.3%	30.0%	1000		_			
の推進	連 動	【20~64 歳】 女性	18.1%	25.0%			_			
		【65歳以上】男性	41.5%	50.0%			_			
		【65歳以上】女性	34.5%	45.0%			_			
		まいん「健幸」サポートセンター施設利用登録者数	300 人	600人			500 人			
		健幸マイレージ登録者	1,822 人	4,200 人			3,100 人			
	<u></u>	生活活動(通勤、買い物、掃除等)の中で、運動量を高める工夫をしている人の割合	_	70.0%			_			

基本	取り組み	指標	» 7 /±	口栖体	=m 85	△和 E 左连の→大阪知り	各年	度の目標値	直·実績値	
方針	の 分野	指 樣	ベース値	目標値	課題	令和 5 年度の主な取組み	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		よく眠れている児童生徒の割合 小学6年生	84.4%	85.0%			-			
		中学 3 年生	76.8%	80.0%	○「よく眠れている生徒の割合」の増加 ○SNS や動画の担聴 ゲーム等をする	●睡眠に関する講演会開催(1回/年) ●小中学生の保護者向けに SNS・動画等の視聴に関するアンケート結果	_			
	休養	LINE·Facebook·Twitter·Instagram などの SNS 利用や動画配信(YouTube など)視聴、ゲームなどを平日に 1日 2 時間以上行う児童生徒の割合 小学 6 年生	39.5%	現状維持	時間の改善	の周知 ●乳幼児健診時に睡眠に関する保健指導の実施	_			
		中学 3 年生	50.1%	現状維持			_			
		現在の睡眠に満足している人の割合	24.9%	30.0%			_			
元		妊娠中にたばこを吸っていた人の割合	1.1%	0%			1%			
なな		乳児のいる家庭で、父母がたばこを吸っている割合 父	40.9%	30.0%		 肺がんに関する講演会の実施(7月6日) 肺がん検診の受診勧奨はがきの送付 COPD についてりゆうほー掲載(5月号) 禁煙外来費用助成の実施 乳幼児健診受診者への禁煙指導 たばこに関する研修会に参加 喫煙についての健康相談の実施 妊婦への禁煙指導 	40%			
身体		母	4.4%	2.0%	○一ともの頃からの宗廷指導 ○他課や関係機関との連携		4%			
元気な身体づくりとこころのケアの推進		たばこの害について知っている児童生徒の割合(がん/心疾患/歯周病等) 【小学6年生】 がん	91.3%	95.0%			_			
<u>اح</u>		心疾患	71.7%	80.0%			_			
ال ال		歯周病	56.7%	60.0%	l l		_			
වි		副流煙	87.2%	90.0%		●養護教諭部会等で、保健センター実施の禁煙指導教室の紹介	_			
クア	喫 煙	赤ちゃんへの影響	94.3%	現状維持			_			
が推	注	【中学3年生】 がん	99.3%	95.0%			_			
進		心疾患	88.9%	80.0%			-			
		歯周病	83.2%	60.0%			_			
		副流煙	98.1%	90.0%			_			
		赤ちゃんへの影響	99.1%	現状維持			-			
		喫煙率 男性	19.3%	15.0%			_			
		女性	7.4%	5.0%			_			
		COPD についての周知・啓発 COPD の認知度	36.9%	50.0%			_			

基本	取り組みの	指標	ベース値	目標値	課題	令和 5 年度の主な取組み	各年	度の目標値	直·実績値	
方針	分野	1日 1示		日标旭	床.煜 	7年10年度の主な収組の	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		全出生数中の低体重児の割合(2,500 g未満)	8.2%	8.0%			_			
		身体測定結果において肥満である児童 児童	8.3%	7.5%]●毎日朝食を食べる習慣のない児童・ - 生徒の減少	●学校内科健診において肥満・やせであった児童・生徒のうち希望のあった児童・生徒に対し栄養相談を実施	_			
		生徒の割合生徒の割合生徒	11.3%	10.5%		●日本脳炎予診票発送時(18歳対象)にチラシを同封	_			
		20 歳~60 歳代男性の肥満の割合	37.2%	36.0%	増加 ●主食・主菜・副菜の揃った栄養バラン	●母子健康手帳交付時にリスク妊婦に対し保健指導を実施	_			
		40 歳~60 歳代女性の肥満の割合	20.7%	19.5%	●主艮・主来・副来の揃うた末養ハフン スの良い食事の普及啓発	●はは、通信を利用して情報発信●特定保健指導、健康相談等の際に食に関する適切な知識の普及	_			
		20 歳代女性のやせの割合(BMI 18.5 未満)	14.8%	14.0%		●幼児・学童期の肥満について:りゅうほーに掲載(8月号) ●乳幼児健診時の集団講話及び個別指導を利用しての食に関する適切 な知識の普及	_			
		65 歳~74 歳の BMI ≦ 20 の割合	18.8%	17.5%			_			
		主食·主菜·副菜を組み合わせた食事を 1 日 2 回以 上している人の割合	73.4%	75.0%			_			
		野菜を毎食食べている人の割合	69.9%	73.0%			_			
		離乳食教室(5 ~ 6 か月) の参加率	30.2%	33.0%			_			
	栄 養	毎日朝食を食べていると答えた児童生徒の割合 児童	94.0%	95.0%			_			
/7 . +		生徒	90.4%	95.0%			_			
康	食生活	朝食を欠食する人の割合(20 歳代) 男性	41.7%	40.0%			_			
的な	74	女性	39.3%	35.0%			_			
食		朝食を欠食する人の割合(30 歳代) 男性	25.0%	23.0%			_			
活		女性	17.8%	16.0%			_			
健康的な食生活の推進		食育についての取り組みを実施した認定こども園・幼稚園および保育所(園)の数	18 施設	18 施設			_			
Ų		11 月の「茨城を食べようweek」にて学校給食における 地場産物を使用する割合	68.8%	70.0%			_			
		食育について関心を持っている人の割合	73.3%	75.0%			_			
		食品ロス削減のために何らかの行動をしている人の割合	_	60.0%			_			
		「地産地消」を知っていると回答した児童生徒の割合 児童	78.7%	80.0%			_			
		生徒	91.6%	95.0%			_			
		妊娠中に飲酒しているの人の割合	0%	0%	○ 夕景勉添老(周3日以上かつ1日3 △	●特定保健指導、健康相談を利用した、正しい知識の啓発	0%			
		飲酒の害を知っている児童生徒の割合児童	79.8%	85.0%		● 特に体験は等、健康相談を利用した、正しい知識の合元	_			
	飲酒	飲酒の害	97.3%	95.0%以上	○飲酒の適量を知っている人の割合の		_			
	/=	いる児童 政党の割 アルコール依存症について 児童	83.5%	85.0%	[']		_			
		全 生徒	97.8%	95.0%			-			

基本方針	取り組み の 分野	指標	ベース値	目標值 	課題	令和 5 年度の主な取組み	各年度の目標値・実績値				
							令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
環境の整備を支え守	飲酒 的としたネット 健康づくりを目	週3日以上かつ1日3合以上飲酒している人の割合 男性	5.7%	5.0%			_				
		女性	4.2%	4.0%			—				
		飲酒の適量を知っている人の割合	34. 3%	35. 0%			_				
		健康づくりを目的とした活動に関わっている市民 の割合	_	5. 0%		●健康づくり推進員養成講座の開催(6月18日、9月)●がん予防推進員研修会の開催(7月6日)●県主催のがん予防推進員養成講座の参加者募集・参加	_				
		がん予防推進員数	39 人	42 人			39人				
		妊娠期に歯科検診を受けたことがある産婦の割合	44.7%	50.0%	○歯周疾患検診の受診率の増加	●プレ・ママ教室で歯周疾患検診の受診勧奨 ●ポスター作成、受診勧奨 ●乳幼児健診時のブラッシング指導・フッ素塗布・口腔機能発達について指導 ●歯周疾患健診のりゅうほー掲載(6月) ●歯周疾患検診受診のお知らせはがき、受診券の送付(6月) ●乳幼児健診時、30歳40歳の保護者に歯周疾患検診受診券を配布 ●健康診断結果に歯周疾患検診チラシを同封 ●歯科講演会の開催(1回/年)	25%				
		2 歳 6 か月児歯科医療機関健診受診率	64.1%	78.0%			78%				
	歯科疾患	むし歯のない 3 歳児の割合	90.5%	90.0%			90.5%以上				
		不正咬合のある3歳児の割合	11.4%	10.0%			11%				
		フッ素塗布を受けたことがある3 歳児の割合	95.7%	95.0%以上			95.5%以上				
		かかりつけ歯科医がある3歳児の割合	32.3%	45.0%			35.5%以上				
		歯科検診においてむし歯のない児童生徒の割合(治療 済も含む) 児童	75.6%	81.0%			_				
		生徒	84.8%	87.0%		●歯周疾患健診の電話・電子申込み	_				
歯科		寝る前に歯をみがく児童生徒の割合児童	90.8%	95.0%			_				
		生徒	87.8%	95.0%			_				
腔の健康維持		定期的に歯科検診を受診した人の割合 20~39歳	28.6%	30.0%			—				
健		40~64 歳	31.4%	34.0%			_				
康 維		65 歳以上	42.1%	45.0%			_				
持		歯周疾患検診の受診率 30歳	4.1%	5.0%			5.%				
		40 歳	6.8%	8.0%			6.5%				
		50 歳	6.3%	9.0%			7.5%				
		60 歳	10.0%	13.0%			11%				
		70 歳	12.7%	13.0%			7.5%				
		歯周病を有する人の割合	84.7%	80.0%			65.5%				
		40 歳で損失歯のない人の割合	82.4%	85.0%			95%				
		デンタルフロスや歯間ブラシを使用している人の割合 (「ほぼ実践している人」の割合) 20~39歳	23.8%	25.0%			_				
		40~64 歳	31.1%	35.0%							

	65 歳以上	40.1%	現状維持			_		
묘	60 ~ 64 歳で24 本以上自分の歯を持つ人の割合	55. 4%	60. 0%	旧隣白な老の割合の増加	●歯周疾患検診の受診勧奨 ●健口講座の実施 ●よく噛むことについての歯科便りを保健センター掲示・アプリ に配信(6月号)	56.5%		
	60 歳代における咀嚼良好者の割合	_	80. 0%			_		